DZ-HS303(S)/(A)形

取扱説明書

はじめに

撮る

ディスクナビゲーション機能

パソコンと接続する

その他

本機は、HDD、8cm DVD-RAM、8cm DVD-RW、8cm DVD-R、
8cm +RW、SD メモリーカードに対応しております。

このたびは、日立 DVD カメラをお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。
同梱のCD-ROM を開封する前に必ずP.178 をお読みください。

この取扱説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の
再生紙を使用しています。

この英文は、米国のUL規格に基づき安全上の注意を記載するものです。

Important Information

WARNING : To prevent fire or shock hazard, do not expose this unit to rain or moisture.

WARNING : To prevent fire or shock hazard, use the recommended accessories only.

CAUTION

RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN.

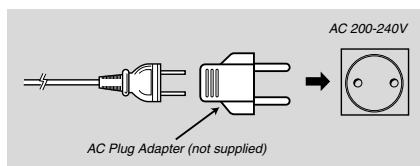
Identifications of caution marks

This symbol warns the user that uninsulated voltage within the unit may have sufficient magnitude to cause electrical shock. Therefore, it is dangerous to make any kind of contact with any inside part of this unit.

This symbol alerts the user that important literature concerning the operation and maintenance of this unit has been included. Therefore, it should be read carefully to avoid any problems.

CAUTION : TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK, DO NOT OPEN.
NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE.
REFER SERVICING TO QUALIFIED SERVICE PERSONNEL.

Note:

The AC adapter can be used around the world. An AC plug adapter is required in some foreign countries. If you need one purchase it from your Hitachi distributor.

In addition to the careful attention devoted to quality standards in the manufacture of your video product, safety is a major factor in the design of every instrument. But, safety is your responsibility too.
This page lists important information that will help to assure your enjoyment and proper use of DVD video camera/recorder and accessory equipment.

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

1 Read these instructions.

2 Keep these instructions.

3 Heed all warnings.

4 Follow all instructions.

5 Do not use this apparatus near water.

6 Clean only with dry cloth.

7 Do not block any ventilation openings. Install in accordance with the manufacturer's instructions.

8 Do not install near any heat sources such as radiators, heat registers, stoves, or other apparatus (including amplifiers) that produce heat.

9 Protect the power cord from being walked on or pinched particularly at plugs, convenience receptacles, and the point where they exit from the apparatus.

10 Only use attachments/accessories specified by the manufacturer.

11 Use only with the cart, stand, tripod, bracket, or table specified by the manufacturer, or sold with the apparatus. When a cart is used, use caution when moving the cart/apparatus combination to avoid injury from tip-over.

12 Unplug this apparatus during lightning storms or when unused for long periods of time.

13 Refer all servicing to qualified service personnel. Servicing is required when the apparatus has been damaged in any way, such as power-supply cord or plug is damaged, liquid has been spilled or objects have fallen into the apparatus, the apparatus has been exposed to rain or moisture, does not operate normally, or has been dropped.

14 The apparatus shall not be exposed to dripping or splashing and that no objects filled with liquids, such as vases, shall be placed on the apparatus.

15 The equipment (AC adapter/charger) shall be used near the socket-outlet and shall be easily accessible.

もくじ

UL 規格に基づく表示

はじめに

撮る

ディスクナビゲーション機能

パソコンと接続する

その他

本書で使用している記号について

本機に搭載されている機能のなかには、使用するHDD、DVDやカードによって、使用できる機能に制限があります。
ご使用になるHDD、DVDやカードがその機能に対応しているかどうかは、右上のマークで識別してください。

- HDD ：内蔵ハードディスク（HDD）
- RAM ：DVD-RAM
- RW VR ：DVD-RW（VRモード）
- RW VF ：DVD-RW（VFモード）
- R ：DVD-R
- +RW * ：+RW
- カード ：SDメモリーカード

* +RWは、DVD+RWと呼ばれることもあります。

本書内の画面について

実際にご覧になる映像とは異なる場合があることをご了承ください。

DZ-HS303(S)、DZ-HS303(A)について

DZ-HS303(S)とDZ-HS303(A)の違いは本体の色だけで、操作方法は同じです。本書ではそれぞれ、DZ-HS303と記載します。

HDDについてのご注意

ＨＤＤに録画したデータは保存してください

・ ＨＤＤに録画したデータの保護のため、データをＤＶＤに保存してください。本機でダビングすることをおすすめします。また、パソコンを使って、ＤＶＤに保存することもできます。
撮影したあとは、定期的に保存することをおすすめします。

本機に振動や衝撃を与えないでください

・ ＨＤＤが認識されなくなったり、記録、再生、ダビングができなくなる場合があります。
・ 特に、録画・再生・ダビング中や、アクセス／ＰＣランプが点灯・点滅している間は、本機に振動や衝撃を与えないでください。
・ 本機への振動が続いたり、本機の落下状態を検出した場合（☞P.73）は、本機のＨＤＤを保護するため、録画・再生・ダビングが停止します。

本機の温度にご注意ください

・ 本機の温度が高すぎたり、低すぎたりすると、正常に撮影／再生できないことがあります。
・ 本機の温度が高すぎたり、低すぎたりした場合に電源スイッチを「ＨＤＤ」に合わせると、ＨＤＤ保護のため、「高温／低温のためＨＤＤを使用できません。電源を切ってください。」というメッセージが表示されることがあります。そのような場合でも、電源スイッチを「ＤＶＤ」に合わせるとＤＶＤを使用できることがあります。ＨＤＤに記録する場合でも、予備のＤＶＤをお持ちになることをおすすめします。

高地などではご使用になれません

・ 本機は、海抜３，０００メートル以上などの気圧の低い場所では使用できません。ご注意ください。

磁石や磁気の強いものを近づけないでください

・ 本機に磁石や磁気の強いものを近づけると記録、再生、ダビングができなくなる場合があります。

不具合により、録画や再生ができなかった場合、HDDの記録内容の補償や損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。また、本機を修理した場合（HDD以外の修理も含む）にも同様です。あらかじめご了承ください。

こんなことができます

HDD、DVD のどちらでも撮影できます （☞ P.48、172）

HDD で約 3 時間、DVD では約 30 分の録画が可能です（FINE モード時）。

本機だけで 8cm DVD へボタン 1 つでかんたんにダビングできます （☞ P.87）

レコーダーやパソコンを使わなくても簡単にダビングできます。

動画から静止画を切り出すことができます （☞ P.79）

再生中の動画の一場面を、静止画としてカードに保存します。

再生途中でもすぐに撮影できます （☞ P.48、78）

テープのように撮影開始場所を探したり、頭出しする必要がありません。
再生を途中で止めて、そこから撮影を開始しても上書きされることはありません。

見たいシーンがすぐに再生できます （☞ P.77）

テープのように巻き戻す必要がありません。
見たいシーンを選んですぐに再生できます（ディスクナビゲーション機能）。

ディスクナビゲーション機能を使ってオリジナルムービーを作りましょう （☞ P.104）

いらない場面を削除したり、シーンを並べ替えたりして、自分だけのムービー作品を作ることができます（プレイリスト）。
HDDで編集した場合は、ダビング機能を使って、そのオリジナルムービーを簡単にDVDにできます。DVDを編集した場合でも、そのオリジナルムービーを再生して、他のレコーダーやビデオにかんたんにダビングできます。

パソコンを使ってオリジナル DVD を作成できます （☞ P.125）

同梱のCD-ROMに収録されているソフトウェアを使用して、オリジナルDVDを作成することができます。
作成したDVDは、DVDプレーヤー／レコーダーやDVD-ROMドライブで再生できます。

安全にお使いいただくために

注意事項の記載方法

本書では、本機を安全にお使いいただくためにご注意いただきたいことを、3段階に分けて記載しています。

 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重傷*1を負う危険が差し迫って生じることが想定される事項を説明しています。

 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重傷*1を負う可能性が想定される事項を説明しています。

 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害*2を負ったり、物的損害*3が発生したりする可能性が想定される事項を説明しています。

***1 重傷**　**失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。**

***2 傷害**　**治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど（高温・低温）、感電などを指します。**

***3 物的損害**　**家屋、家財、および家畜、ペットに関わる拡大損害を指します。**

重要な説明を示す記号

重要な説明が一目でわかるように、以下に示す記号を使用しています。

「注意」していただきたい内容を示します。	水ぬれ禁止 「水にぬらすことを禁止する」ことを示します。
してはいけない「禁止」行為を示します。	風呂、シャワー室での使用禁止 「風呂場やシャワー室などでの使用禁止」を示します。
分解禁止 「分解禁止」を示します。	「強制」記号です。必ず実行していただきたいことを示します。
「ぬれた手で扱うことを禁止する」ことを示します。	コンセントから必ず「電源プラグを抜く」ことを示します。

⚠ 危険

リチウム電池の取り扱いに注意する	リチウム電池を取り扱うときは、次のことを守ってください。 ・火や水の中に投入しない ・火に近づけたり、加熱しない ・ショートさせない ・鍵などの金属物と接触させない ・分解・改造しない ・衝撃を与えない ・高温場所（60℃以上）で使用しない 万一液漏れしたときは、よくふき取ってから新しい電池を入れてください。液が身体や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。	禁止
バッテリーパックの取り扱いに注意する	発熱・破裂・火災・液漏れなどの原因となるので、バッテリーパックを取り扱う際には、次のことを守ってください。 ・火のそばや炎天下で充電しない ・指定外のバッテリーパックを使用しない （専用バッテリーパック　型名：DZ-BP14S／DZ-BP14SJ／DZ-BP21SJ）	禁止

⚠ 警告

異常なときは使わない	煙が出ている、変なにおいがするなど異常なときは、ただちに使用を中止し、バッテリーパックやAC アダプター／チャージャーなどの電源を外してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。修理については、販売店にご相談ください。お客様による修理は危険ですから、絶対にお止めください。 本機を落としたりして強い衝撃を与えると、ケースが破損し、異常な状態になることがあります。	禁止
分解・改造しない、カバーを開けない	本機・ACアダプター／チャージャーを分解・改造すると、火災や感電の原因となります。カバーの内部には、電圧の高い危険な部分もあります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。	分解禁止
内部に異物を入れない	本機・AC アダプター／チャージャーの内部に水や金属類、燃えやすいものを入れないでください。火災や感電の原因となります。万一異物が内部に入った場合は、すぐに使用を中止し、バッテリーパックや AC アダプター／チャージャー・電源コードを外して販売店にご相談ください。	禁止

自動車などの運転中は使わない	自動車・オートバイ・自転車などの運転中に撮影や再生をしないでください。交通事故の原因となります。	禁止
歩きながら使うときは、周囲の状況に注意する	歩きながら使用すると、転倒や交通事故の原因となることがあります。また、不安定な場所での撮影は、転倒や転落などにより事故や大けがの原因となります。撮影するときは、周囲の状況に注意を払ってください。	
雷が鳴るときは使わない	屋外で使用中に雷が鳴り出したら、安全のため使用を中止してください。	禁止
AC アダプター／チャージャーを水にぬらさない	風呂場やシャワー室などの水のかかるところでACアダプター／チャージャーを使用しないでください。火災や感電の原因となります。	風呂、シャワー室での使用禁止
AC アダプター／チャージャーは電源コンセントの近くで使用する	ACアダプター／チャージャーは、電源コンセントの近くで使用してください。タンスの裏や机の下など、手の届きにくいところの電源コンセントには差し込まないでください。	
AC アダプター／チャージャーのケースを破損しない	万一落としたりしてケースを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。	
AC アダプター／チャージャーは風通しのよい広い所で使用する	ACアダプター／チャージャーは、風通しのよい広い所で使用してください。内部に熱がこもり、ケースが変形するだけでなく、火災・やけど・感電・故障のおそれがあります。周囲の風通しをさえぎるせまい場所や、物の近く、またはその中で使用しないでください。	
電源コードを破損しない	電源コードを破損しないよう、取り扱いの際は、次のことを守ってください。 ・刃物などで傷つけない ・ねじらない　・無理に曲げない ・重いものや角が鋭利なものをのせない ・加熱しない　・引っ張らない ・加工しない　・束ねない ・敷物などでおおわない 万一コードが破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。	禁止
電源プラグは完全に接続する	電源プラグの接続が不完全なまま使用すると、接触不良で発熱し、火災の原因となります。	

⚠ 警告

たこ足配線をしない	火災の原因となります。	禁止
電源プラグに異物を付着させない	電源プラグにほこりや汚れ、金属などの異物が付着したまま使用すると、発熱し、火災や感電の原因となります。異物が付着したときは、電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で異物を取り除いてください。	禁止
市販の電子式変圧器は使わない	海外旅行用に市販されている電子式変圧器に AC アダプター／チャージャーを接続しないでください。火災や感電の原因となります。	禁止
ショルダーストラップを首に巻きつけない	窒息の原因となります。	禁止
同梱品のビニール袋に注意する	同梱品が包装されているビニール袋をかぶると、窒息の原因となります。	
リチウム電池を放置しない	リチウム電池を取り外したときは、幼児の手の届かないところに保管してください。 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。 廃棄および保管するときは、テープなどで絶縁してください。 リチウム電池の廃棄方法につきましては各自治体により異なります。お住まいの地域の指示に従って廃棄してください。	

⚠ 注意

バッテリーパック、ショルダーストラップ、グリップベルトは正しく取り付ける	取り付けかたが不完全なまま使用すると、落下などにより、けがの原因となることがあります。	
水にぬらさない	本機に水を入れたり、ぬらしたりしないでください。故障の原因となります。雨天時、降雪時、海岸や水辺での使用時には、特にご注意ください。	水ぬれ禁止

レンズ・ビューファインダーを太陽光に向けない	レンズ・ビューファインダーを太陽光に向けたままにしておくと、集光により発熱し、火災の原因となることがあります。	禁止
航空機の中では使わない	航空機の中など、使用を制限または禁止されているところでは使用しないでください。本機の出す電磁波により、航空機の計器類に影響を及ぼすことがあります。	
幼児の手の届くところに置かない	DVD 挿入部のふたなどに手を挟まれて、けがの原因となることがあります。お子様が触らないようご注意ください。	手を挟まれないよう注意
内部の部品にふれない	DVD 挿入部のふたを開けて、中に指を入れたり、内部の部品にふれたりしないでください。けがの原因や故障の原因となることがあります。	禁止
不安定な場所で三脚を使わない	倒れてけがの原因となります。	禁止
三脚を付けたまま持ち運ばない	持ち運んでいるときの振動や衝撃により、三脚のねじがゆるんで本機が落下し、けがの原因となることがあります。	禁止
かゆみ・かぶれ・湿疹などに注意する	製品や同梱品の材質には充分な配慮をしておりますが、お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じることがあります。そのような場合は、ただちに使用を止め医師の診断を受けてください。	
本機を落とさない	ガラス部分が壊れ、けがの原因となることがあります。またバッテリーパックが破損すると、液漏れにより、けがや周囲の汚損の原因となります。	禁止
電源コードや接続ケーブルに注意する	電源コードや接続ケーブルに足を引っ掛けると、転倒したりけがの原因となることがあります。	
DVD の取り出しに注意する	DVD やバッテリーパックは、長時間使用すると高温になります。電源を切って十分時間が経ってから取り出すようにしてください。	
電源コードを引っ張って抜かない	コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。コンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。	禁止
ぬれた手でプラグの抜き差しをしない	AC アダプター／チャージャーのプラグを抜き差しするときは、ぬれた手で触らないでください。感電の原因となることがあります。	ぬれ手禁止

⚠注意

本機や電源コードを熱器具に近づけない	機器表面や部品が劣化するほか、火災や感電の原因になることがあります。	禁止
長期間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントにつないだまま長期間放置すると、火災の原因となることがあります。	
AC アダプター／チャージャーを振動の多いところに置かない	振動によって内部部品が破損すると、発熱し、火災や故障の原因となることがあります。	禁止
AC アダプター／チャージャーをほこりや湿気の多いところに置かない	内部にほこりや水分が入ると、火災や感電の原因となることがあります。	禁止
AC アダプター／チャージャーを油煙や湿気の当たるところに置かない	調理台や加湿器のそばに置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。	禁止
リチウム電池の向きに注意する	リモコンに電池を入れるときは、極性に注意してください。向きを間違えて入れると、電池の破裂や液漏れを招き、火災やけが、やけどなどの原因となります。万一液漏れしたときは、よくふき取ってから新しい電池を入れてください。液が身体や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。	
バッテリーパックやリチウム電池の保管場所に気をつける	直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所を避けて保管してください。	
リチウム電池に直接ハンダ付けしない	火災や感電の原因となることがあります。	禁止
ビデオフラッシュを人の目の前に近づけて使用しない	目の近くで発光させると視力障害を起こす危険があります。 特に、乳幼児を撮影するときには1m以上離れてください。	禁止
自動車内の運転者に向けてビデオフラッシュを使用しない	運転者に向けてビデオフラッシュを使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因になります。	禁止
ビデオフラッシュの発光部分をさわらない	ビデオフラッシュ発光部分を手で覆ったまま発光させないでください。やけどの原因となります。	禁止

取り扱い上のご注意

本機やDVD、カードの不具合により、正常に記録されなかったり、再生できなくなった記録内容の補償はご容赦ください。また、お客様が撮影された映像や音声に関しても、当社は一切責任を負いません。
お客様または第三者が本機やDVD、カードの使いかたを誤ったりしたとき、録画した内容が消失することがあります。録画した内容の消失による損害の補償については、ご容赦ください。

使用上の注意

液晶モニターの取り扱いにご注意ください

- 液晶モニターは、とても繊細な表示装置です。特にモニター表面は壊れやすいので、強く押したり、叩いたり、先のとがったもので突いたりしないでください。
- 表面を押すと、表示ムラができることがあります。表示ムラがなかなか消えないときは、いったん電源を切り、しばらく待ってから入れ直してください。
- 液晶モニターを下側にして本機を置かないでください。
- 本機の液晶モニターは、使用しないときは閉じてください。

液晶モニター・ビューファインダーの画素欠けについて

- 液晶モニターやビューファインダーは非常に精密度の高い技術で作られています。全表示画素（液晶モニターは約12万画素、ビューファインダーは約20万画素相当）のうち0.01%以下の画素欠け（黒い点）や常時点灯（赤・青・緑）するものがあります。これは現在の技術の限界であり、不良ではなく、録画には支障ありません。
- 寒冷地など本体が冷えきっている場合や電源を入れた直後は、液晶モニターやビューファインダーが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

正しい持ちかたをしてください

- ビューファインダーや液晶モニターをつかんで本機を持ち上げると、ビューファインダーや液晶モニターが外れて、本機が落下することがあります。

衝撃を与えないよう、ご注意ください

- 本機は精密機械です。硬いものにぶつけたり、落としたりしないよう、十分注意して取り扱ってください。
- 三脚を使用するときは、本機をしっかり固定し、極度に振動、衝撃の大きいところで使用しないでください。

砂やほこりがかからないよう、ご注意ください

- 細かい砂やほこりが本機･ACアダプター／チャージャーの内部に入ると、故障の原因となります。

水や油など、液体がかからないよう、ご注意ください

- 本機･ACアダプター／チャージャーの内部に水や油が入ると、感電や故障の原因となります。

製品表面の熱について

- 本機、ACアダプター／チャージャー、バッテリーパックは製品表面が多少熱くなりますが、故障ではありません。

接続したテレビの画面について

・ ディスクナビゲーション画面や静止画、カメラ画面を接続したテレビに表示したままにしないでください。テレビの画面に焼き付きなどの損傷を与えることがあります。

環境の温度にご注意ください

・ 本機の温度が高すぎたり、低すぎたりすると、正常に撮影／再生できないことがあります。
・ 本機とパソコンをつなぐときは、室温で使用してください。また、長時間連続使用しないでください。気温の高いところで長時間使用すると、本機が熱くなり正常に動作しなくなることがあります。
・ 海岸の砂の上や締め切った車内などに長時間放置すると、故障するおそれがあります。

太陽に向けないでください

・ レンズやビューファインダーに直射日光が入ると、本機が故障したり火災が発生するおそれがあります。
・ 液晶モニターを直射日光に当てたまま放置すると、故障の原因となります。

テレビやラジオの近くで使わないでください

・ テレビ画面にノイズが出たり、ラジオに雑音が入ることがあります。

強い電波や磁気のあるところで使わないでください

・ 電波塔の近くやモーターが含まれる電化製品のそばなど、強い電波や磁気のあるところで使用すると、記録や再生が停止したり、映像・画像・音声の記録時に雑音が入ることがあります。また、正常に記録されている映像・画像・音声でも、再生時に雑音が入ることがあります。本機が故障することもあります。

油煙や湯気の多いところで使わないでください

・ 本体ケースが変形したり、故障の原因となります。

腐食性ガスがあるところで使わないでください

・ ガソリンエンジン、ディーゼルエンジンなどの排気ガスや硫化水素のような腐食性のガスがあるところや温泉地域など硫黄成分の多いところで使用すると、外部および内部端子が腐食し正常に動作しなくなることやバッテリーパック取付端子が腐食し、電源が入らなくなることがあります。

超音波加湿器の近くで使わないでください

・ 加湿器に入っている水の水質によっては、水中に溶けているカルシウムなどが空気中に飛散し、本機の光学ヘッドに白い粉として付着して、本機が正常に動作しなくなることがあります。

殺虫剤などがかからないようにしてください

・ 本機の内部に殺虫剤などが入ると、DVDのレーザーピックアップ部のレンズが汚れ、本機が正常に動作しなくなることがあります。殺虫剤などを使用するときは、本機の電源を切り、ビニールシートなどでカバーしてください。

市販の 8cmCD レンズクリーナーを使用しないでください

- 一般的な使用では、DVD のレンズクリーニングは不要です。
- 8cmCD レンズクリーナーを使用すると、本機が故障するおそれがあります。
- ご使用になる場合は、日立マクセル社の 8cmDVD 専用品をお使いください。

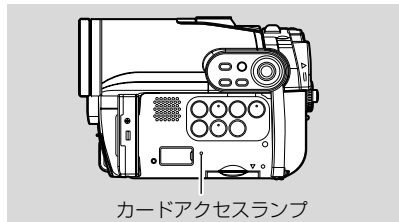
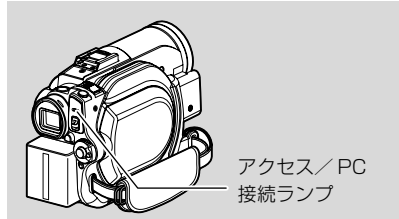
露つきにご注意ください

- 冬にスキー場のゲレンデからロッジに入ったり、夏に冷房の効いた部屋や車内から屋外に出たりしたときに、極端な温度差によりレンズや本機の内部に結露（暖かい水蒸気が急速に冷やされて水滴になること）することがあります。できるだけDVDやカード挿入部のふたは開けないでください。レンズが結露した場合は、乾いたやわらかい布でふき取ってください。外部が乾いても内部に結露が残っている場合があります。電源を切った状態でなるべく乾燥した場所に１～２時間以上置き、乾いてからお使いください。

長時間連続して使うことはできません

- 本機は、監視カメラやモニターとして長時間連続して使用することはできません。長時間連続して使用した結果、温度が一定限度を超えて上昇すると、記録／再生動作が遅くなったり、その他の不具合が発生することがあります。この場合は、電源を切ってしばらくたってから使用してください。

アクセス／PC接続ランプやカードアクセスランプが点灯または点滅しているときは、本機の電源を切らないでください

- アクセス／ PC 接続ランプやカードアクセスランプが点灯または点滅しているときは、HDD、DVDやカードにデータが書き込まれたり、読み出されたりしています。このときに以下のことをするとデータが壊れるおそれがあります。
  - バッテリーパックを取り外す
  - AC アダプター／チャージャーとの接続を外す
  - PC 接続ケーブルを抜き差しする
  - DVD やカードを取り出す
  - 強い振動や衝撃を加える
  - 液晶モニターを激しく開閉する

- 撮影終了後もしばらくアクセス／ PC 接続ランプが点灯します。この間は、強い振動や衝撃を加えたり、バッテリーパックやACアダプター／チャージャーとの接続を外したりしないでください。
- DVD使用時、アクセス／PC接続ランプが点灯または点滅しているときに、万一電源を切ってしまった場合は、DVDを入れたまま、再度電源を入れてください。DVDの修復を行います（☞ P.154）。

本体ケースをベンジンやシンナーなどでふかないでください

- 本体ケースの塗装がはがれたり、変形することがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の場合は、その注意書きに従ってください。

別売アクセサリーの説明書もお読みください

・ 別売のアクセサリーについては、それぞれの注意書きや取扱説明書の指示に従ってください。

お買い上げ時バッテリーパックは充電されておりません

・ 充電してからお使いください（☞ P.34）。
・ 充電されていないバッテリーパックを装着しても、電源は入りません。
・ 充電後も時間が経つと放電します（バッテリーパックの特性を保護するため、自然に放電するように作られています）。

DVDの出し入れは、充電されたバッテリーパックが取り付けてあるか、ACアダプター／チャージャーを使ってコンセントから電源をとっていないとできません

電源を切るときは必ず電源スイッチを「切」にしてください

・ 電源が入ったままバッテリーパックやACアダプター／チャージャーを取り外すと、本機の故障の原因となります。

保管上の注意

非常に高温になるところに長時間放置しないでください

・ 閉め切った車内やトランク内は、非常に高温になります。そのような場所に置いたままにすると、本機が故障したり、本体が変形したりするおそれがあります。また、直射日光が当たるところや熱器具の近くにも置かないでください。

湿気やほこりの多いところで保管しないでください

・ 本機の内部にほこりが入ると、故障の原因となります。また、湿気が多いと、レンズにカビが生えて使えなくなることがあります。押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に箱に入れることをおすすめします。

強力な磁気や激しい振動のあるところに置かないでください

・ 故障の原因となります。

バッテリーパックは、本機から取り外して涼しいところで保管してください

・ 取り付けたままにしたり、高温のところで保管すると、バッテリーパックの寿命を縮める原因となります。

ご注意いただきたいこと

試し撮りをしましょう

・ 本番前に必ず試し撮りをして、正常に記録されることを確認してください。本機の故障のため正常に記録できなかったデータは復元できません。
また、試し撮りは録画した内容を消去することができるHDDをお使いになることをおすすめします。

著作権について

・ お客様が他のデジタル／アナログのメディア／機器から本機のHDD、DVDやカードに記録したデータは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。また、実演や興業、展示物などは、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

業務用として使わないでください

・ 本機は一般のご家庭での撮影／再生を目的として作られています。

お手入れのしかた

本機のお手入れをするときは、必ず電源を切ってください。

液晶モニターやカメラ部のレンズの汚れは

・ 乾いた柔らかい布などでふき取ってください。液晶モニターをふくときには、強く押したり、ひっかいたり、衝撃を与えないようご注意ください。傷ができたり、表示ムラができることがあります。液晶モニターが壊れるおそれもあります。

本体ケースのお手入れをするときは

・ 本体ケースに砂ぼこりなど異物がついた状態で強くふいたり硬い繊維などでふくと、本体ケースを傷つけるおそれがあります。
本体ケースの汚れをふき取る場合は、やわらかい布などを使用し、やさしくふき取るようにしてください。

本体ケースをベンジンやシンナーでふかない

・ 本体ケースの塗装がはげたり、変色することがあります。本体ケースの汚れは、やわらかい布などでふき取ってください。化学ぞうきんをご使用の際はその注意書きに従ってください。

ビューファインダーのレンズにゴミが付着したときは

・ 綿棒などでふき取ってください。強くこすると傷ができるおそれがあります。

DVD の取り扱いについて

● DVD の扱いかた

DVD は、非常に繊細な記録メディアです。
下記の注意事項をよくお読みになり、正しくお使いください。

・ 貴重な映像を撮影する場合は、新品の DVD をお使いください。
・ DVD の記録面に触ったり、汚れや傷をつけないでください。
・ **DVDにゴミ・傷・汚れ・ソリ**があると、以下のような現象が発生する場合があります。
  - 再生映像のブロックノイズ
  - 再生映像の一瞬停止
  - 再生中の音の途切れ、異常音
  - 青色のサムネイル表示*（図 1 参照）
  - DVD を正しく認識しない
  - 初期化ができない
  - 映像と音声がずれる

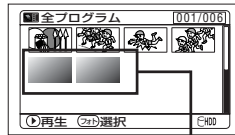
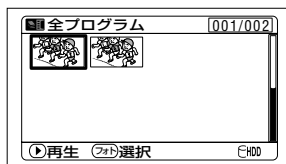



図 1

ブロックノイズ

DVDが正常な場合でも、まれに上記のような現象が発生することがあります。アクセスランプが点灯しているときに、強い振動・衝撃を加えることや、極端な高低温、結露しやすい環境でのご使用は避けてください。

- DVDのゴミや傷など記録できない部分を避けて記録することがあります（自動で一時停止（●II）し、自動で記録（● 記録）を再開します）。
  その結果、数秒から数分程度記録が中断し、右図のように一回の記録で複数のサムネイル（☞ P.75）ができます。この場合、記録可能な時間が減少します。
- DVD 取り出し時、取り出し口の金属や DVD が高温になっている場合がありますので、ご注意ください。

（一回の記録でも２つ以上のサムネイルになることがあります。）

● DVD の保管のしかた

- 保管するときは、購入時のプラスチックケースに入れてください。
- 結露させないでください。
- 以下のような場所には置かないでください。
  - **直射日光が長時間当たるところ**
  - **湿気、ほこりが多いところ**
  - **暖房器具などの熱が当たるところ**

DVD のクリーニングについて

DVDに付着した汚れは、付属のディスククリーニングクロスで図のように軽くふき取ってください。強くこすると、傷の原因になります。なお、溶剤類（シンナー、水、帯電防止剤、洗剤など）は使用しないでください。
汚れたディスククリーニングクロスは、中性洗剤で軽く洗うことにより、ふき取り性能が改善されます（洗剤が残らないよう、よくすすいでください）。

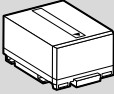
ディスククリーニングクロスで内周から外周方向へ軽くふく

本機や DVD、SD メモリーカードを譲渡 / 廃棄するときのご注意

- 本機の機能の「初期化」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、HDD 内のデータは完全には消去されません。そのため、廃棄／譲渡したあとで、重要なデータが流出してしまう可能性があります。
  データの流出を回避するには、ＨＤＤの完全消去（P.115）を実行してください。
- 本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、DVD、SDメモリーカード内のデータは完全には消去されません。譲渡 / 廃棄の際は、DVD、SD メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってDVD、SDメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。DVD、SD メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。
- 万一、個人データが漏えいした場合、当社は一切の責任を負いかねます。

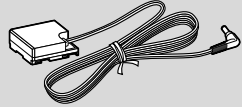
付属品の確認

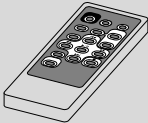
箱を開けたら、付属品がすべてそろっているか、必ず確認してください。

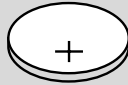
バッテリーパック
（型番：DZ-BP14S）

本機の充電式バッテリーです。充電してからお使いください。

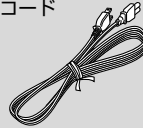
ACアダプター／チャージャー
（型番：DZ-ACS3）

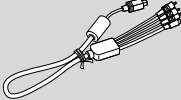
家庭用コンセントから電源をとるときに使用します。バッテリーパックを充電するときにも使用します。

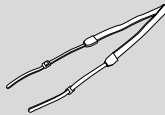
DC パワーコード

家庭用コンセントから電源をとるときに、本機とACアダプター／チャージャーとを接続します。

リモコン（型番：DZ-RM4J）

本機を離れたところから操作するときに使用します。

リモコン用リチウム電池
（型番：CR2032）

リモコン用の電池です。

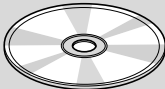
電源コード

家庭用コンセントと AC アダプター／チャージャーとを接続します。

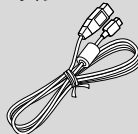
AV ／ S 入出力ケーブル

本機の映像と音声をテレビで見るときや、他のビデオ機器に映像と音声を入出力するときに使用します。

ショルダーストラップ

本機を肩から下げるために取り付けます。

レンズキャップ
レンズキャップひも

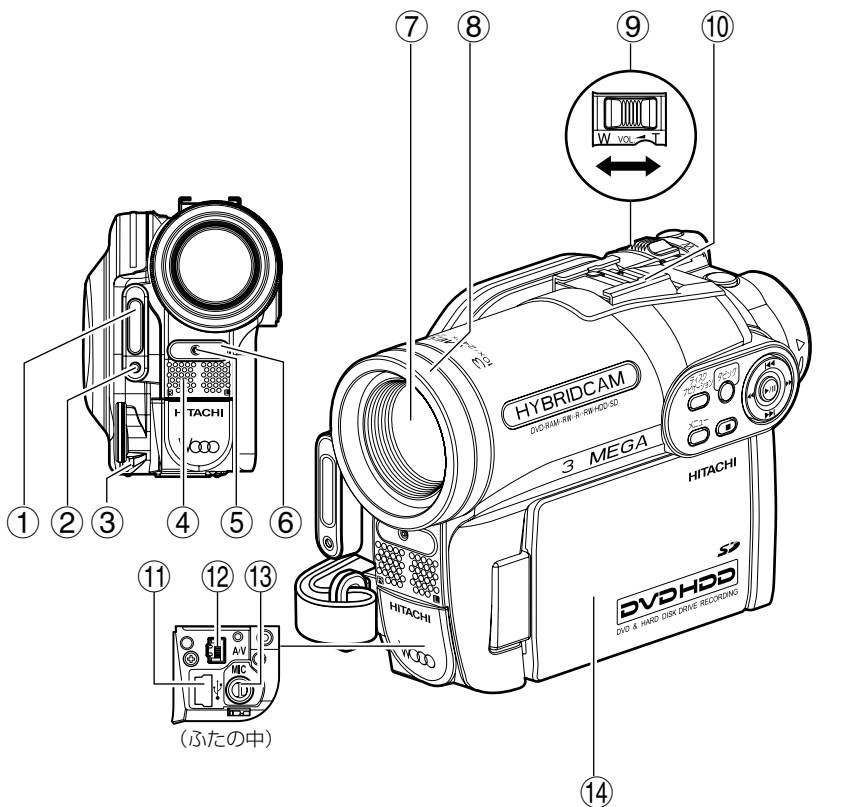
撮影していないときは、レンズ保護のためレンズキャップを付けてください。

ソフトウェア CD-ROM

パソコンと接続するときに使います。

PC 接続ケーブル

パソコンと接続するときに使います。

ディスククリーニングクロス

DVD のクリーニングに使います。

各部の名称

①　**内蔵ビデオフラッシュ（P.62）**

②　**受光センサー**
内蔵ビデオフラッシュの発光量を制御するためのセンサーです。撮影時は手などで覆わないように気をつけてください。

③　**レンズキャップひも取付口（P.28）**

④　**ステレオマイク**
撮影中は手などでふさがないように気をつけてください。

⑤　**録画ランプ（P.43、48、72）**
録画中、赤く点灯します。

⑥　**リモコン受信部（P.29）**

⑦　**光学 10 倍ズームレンズ（P.56）**

⑧　**レンズフード（P.57）**
市販のテレコンバージョンレンズ、ワイドコンバージョンレンズをお使いのときは、取り外してください。

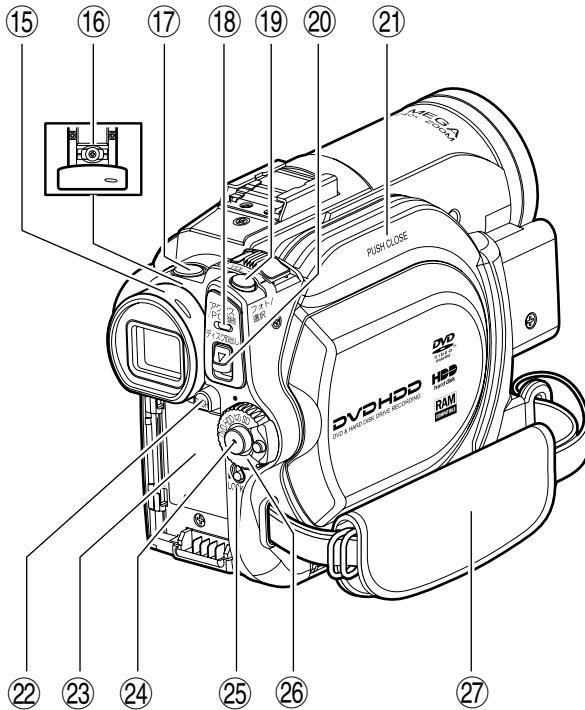
⑨　**ズームレバー（P.56、58、77）**
ズームや音量の調節をします。

⑩　**アクセサリーシュー（P.62）**
別売のビデオフラッシュを、ここに取り付けることができます。（詳しくは、取り付ける機器の取扱説明書をご覧ください。）

⑪　**PC 接続端子（P.130）**

⑫　**AV ／ S 入出力端子（P.120、123）**

⑬　**外部マイク端子（P.74）**

⑭　**ワイドカラー液晶モニター（P.39）**

⑮ **ビューファインダー（P.39）**

⑯ **視度調節つまみ（P.39）**
ビューファインダーのピントを調節します（ビューファインダーを引き出して、操作してください）。

⑰ **秒撮ボタン（P.50）**
秒撮モードの ON と OFF を切り換えます。

⑱ **アクセス／ PC 接続ランプ（P.18）**
HDD／DVDへのアクセス（書き込みまたは読み出し）時や、PC接続時に点滅または点灯します。

⑲ **フォト／選択ボタン（P.49、84、98）**

⑳ **ディスク取出しボタン（P.45）**
DVD 挿入部のふたを開けるときに押し下げます。

㉑ **DVD 挿入部（P.45）**

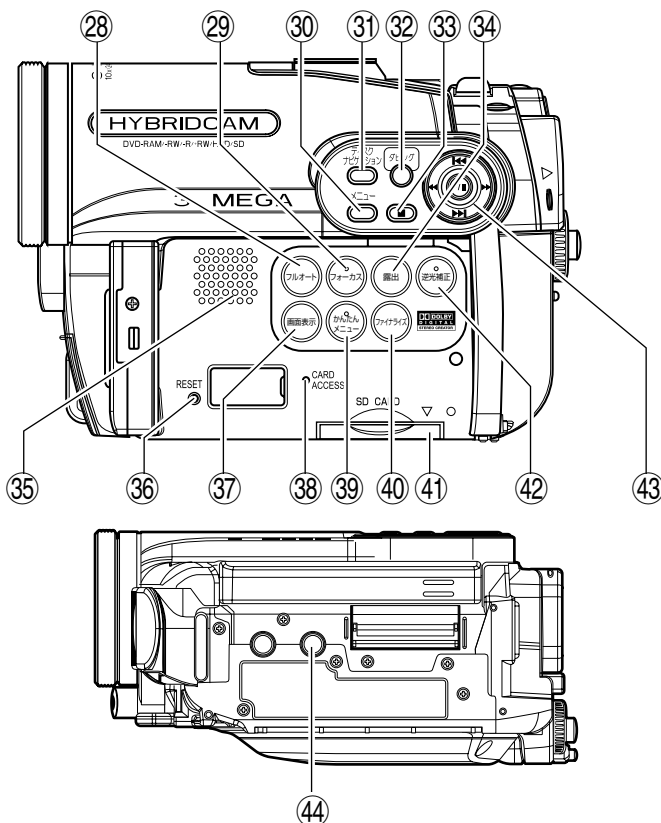
㉒ **バッテリーイジェクトボタン（P.35）**
バッテリーを取り外すときに押します。

㉓ **バッテリー取付部（P.35）**

㉔ **録画ボタン（P.48）**

㉕ **LOCK スイッチ（P.48）**
電源スイッチが「HDD」のときに、誤って「DVD」に切り替わるのを防ぐため、LOCK スイッチを（上）へ移動させておくと便利です。
「DVD」のときにLOCKスイッチは上に動かすことができません。

㉖ **電源スイッチ（P.38）**

㉗ **グリップベルト（P.27）**

㉘ **フルオートボタン（P.61）**
フルオート撮影をしたいときに押します。

㉙ **フォーカスボタン（P.58）**
マニュアルフォーカスとオートフォーカスの切り替えをします。

㉚ **メニューボタン（P.40、54、86）**
カメラの機能などを設定するためのメニューやディスクナビゲーションのメニューを表示します。

㉛ **ディスクナビゲーションボタン（P.75）**

㉜ **ダビングボタン（P.87）**

㉝ **停止／キャンセルボタン（P.54、78）**
再生を終了します。

㉞ **露出ボタン（P.59）**
露出を調整するときに押します。

㉟ **スピーカー（P.77）**

㊱ **RESET ボタン（P.167）**
すべての設定を工場出荷状態に戻します。

㊲ **画面表示ボタン（P.51、83）**
再生中の映像の詳細や、カメラの設定状態を表示したり、消したりできます。

㊳ **カードアクセスランプ（P.18、49）**

㊴ **かんたんメニューボタン（P.54）**
よく使う機能のみを表示する、かんたんメニューを表示します。

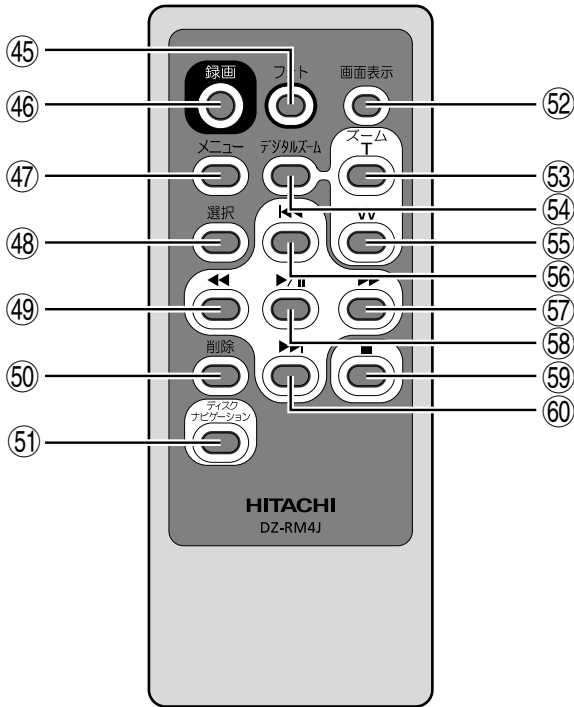
㊵ **ファイナライズボタン（P.116）**

㊶ **カード挿入部（P.47）**

㊷ **逆光補正ボタン（P.60）**
逆光のときに押します。

㊸ **カーソルキー（P.40、54、58、59、78、80、81）**
シーンやメニューを選んだり、決定、再生、一時停止したりします。

露出やフォーカスの調整にも使います。

㊹ **三脚ネジ穴**
三脚に取り付けるときに使用します。

- ㊺ フォトボタン（P.49）
- ㊻ 録画ボタン（P.48）
- ㊼ メニューボタン(P.40、54、86）
- ㊽ 選択ボタン（P.84、98）
- ㊾ 逆方向サーチボタン（P.54、80）
- ㊿ 削除ボタン（P.90）
- 51 ディスクナビゲーションボタン（P.75）
- 52 画面表示ボタン（P.51、83）
- 53 ズームＴボタン（P.56）
- 54 デジタルズームボタン（P.56）
- 55 ズームＷボタン（P.56）
- 56 逆方向スキップボタン（P.54、81）
- 57 正方向サーチボタン（P.54、80）
- 58 再生／一時停止ボタン（P.54、78）
- 59 停止ボタン（P.54、78）
- 60 正方向スキップボタン（P.54、81）

※リモコンのボタンは、本機のボタンと同じ動作をします。

デモンストレーション機能について

DVD HDD

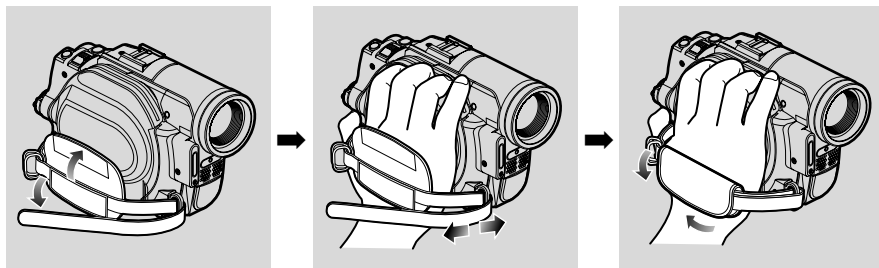
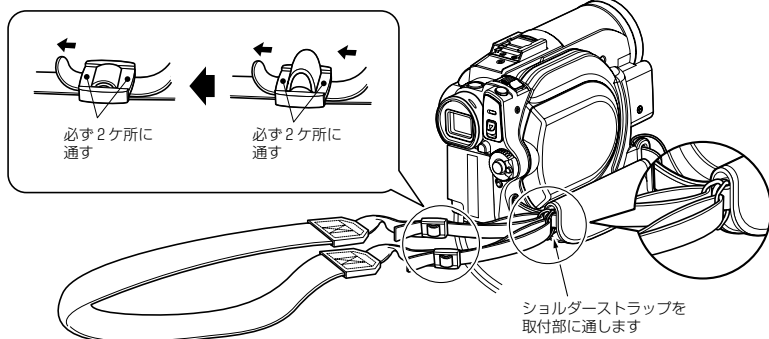
HITACHI
Inspire the Next

本機にはデモンストレーション機能が搭載されています。
お買い上げ時は「オート」に設定されています。ACアダプター／チャージャーをつないで本機の電源を入れてから約10分間何も操作しないと、自動的にデモンストレーションが始まります。
デモンストレーションをすぐに見たいときや、設定を「オフ」にしたいときは、P.43の「デモンストレーションの設定を変える」をご覧になり、設定を変えてください。

本体の準備

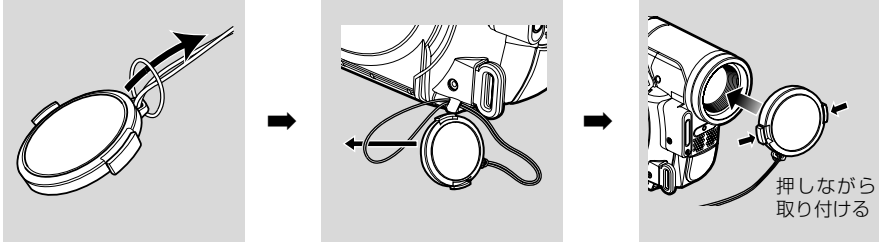
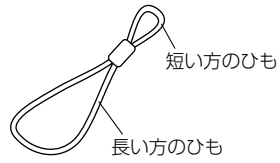
グリップベルトの調整

1　本機の下側から、グリップベルトに右手を差し入れる

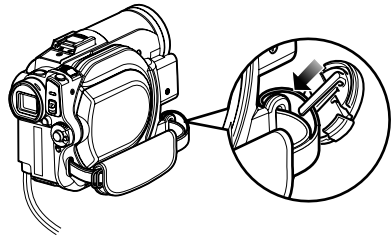
ボタン、ズームレバーが押しやすい位置にしてください。
本機がぐらついたり、グリップベルトがきついときは、グリップベルトの長さを調節してください。

ショルダーストラップを取り付ける

レンズキャップを取り付ける

1 レンズキャップひもの短い方をレンズキャップに取り付ける

2 ひもの長い方を本機の取付口に取り付ける

3 レンズキャップの両サイドを押しながらレンズに取り付ける

- 本機を使用しないときは、レンズ保護のために必ずレンズキャップを付けてください。

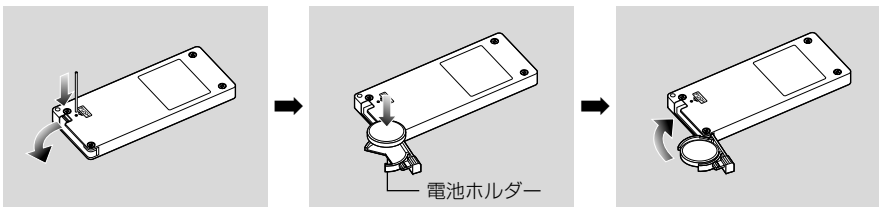
ヒント

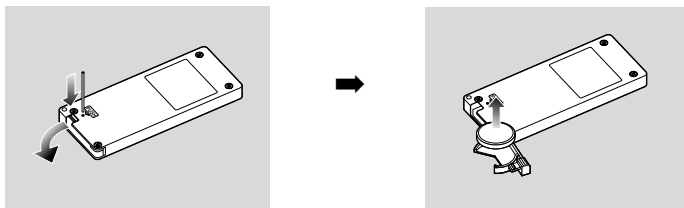
- 撮影するときは、レンズキャップ内側のつめを使用してハンドストラップに取り付けておくと便利です。

リモコンに電池を入れる

リモコンは、付属のリチウム電池を入れて使用します。

1 細い棒などを PUSH の穴に挿入しながら、電池ホルダーを手前に引き出す

2 ⊕（プラス）面を下にして入れる

3 電池ホルダーをスライドしてとじる

リモコンから電池を取り外す

1 細い棒などをPUSHの穴に挿入しながら、電池ホルダーを手前に引き出す

- 取り外した電池の取り扱いについては、P.11、P.13をご覧ください。

●リモコンの使いかた

リモコンは本機のリモコン受信部に向けて操作してください。リモコンの操作可能距離は、約5mです。

- リチウム電池の寿命は約1年です。電池が消耗すると、リモコンのボタンを押しても本機が動作しなくなります。その場合は、新しい電池にお取り換えください。
- リモコンで操作するときは、本機のリモコン受信部が直射日光や強い照明などに向かないようにご注意ください。リモコン受信部にリモコンの赤外線よりも強い光が当たっていると操作できません。
- リモコンと本機のリモコン受信部との間に障害物があると、正常に動作しない場合があります。
- リモコンコードは日立製ビデオのリモコンコード「VTR2」です。日立のビデオなどをリモコンコード「VTR2」でお使いのときは、ビデオもリモコンで動作してしまいますので、ビデオのリモコンコードを別のコードに変更してください。

HDD/DVD/ カードについて

HDD と本機で使用できる DVD、カードそれぞれの特長は以下の表の通りです。

特長＼種類	内蔵HDD	DVD-RAM	DVD-RW(VR)	DVD-RW(VF)	DVD-R	+RW	SDメモリーカード
動画の撮影ができる(P.48)	●	●	●	●	●	●	—
静止画の撮影ができる(P.49)	—	—	—	—	—	—	●
記録したばかりの映像を削除できる(P.79)	●	●	●	—	—	●	●
映像を選択して削除できる(P.90)	●	●	●	—	—	—	●
映像の編集ができる(P.91 ～ 93)	●	●	●	—	—	—	—
他の DVD 機器での再生ができる(P.121)	—	▲※1	▲※1※2	●※2	●※2	▲※1※2	—※3
新しい DVD またはカードを初期化せずに使用できる	—	●※4	—	—	●	—	●※4
初期化して繰り返し使用できる(P.112)	●	●	●	●	—	●	●
ファイナライズした後に追加の記録ができる(P.117)	—	—	●	●※5	—	●※5	—
パソコンに映像を取り込むことができる(P.125)	●※6	●※6	●※6※7	●※6※7	●※6※7	●※6※7※8	●
パソコンを使って DVD ビデオに書き出しができる(P.125)	—	—	—	●※6	●※6	—	—

※１： 8cmDVD-RAM、8cmDVD-RW (VR モード)、8cm+RW のそれぞれに対応した機器で再生可能です。
※２： ファイナライズが必要です。再生できないDVDプレーヤーやDVDレコーダーもあります。
※３： SD メモリーカード対応の DVD 機器もあります。
※４： 初期化済みで販売されているメディアを使用した場合です。初期化フォーマットが異なる場合は、本機で初期化して使うことができます。
※５： 記録するには、ファイナライズの解除が必要です。
※６： 同梱ソフトウェアを使用します。
※７： パソコンで編集するにはファイナライズが必要です。
※８： 本機に同梱の Macintosh 用ソフトウェアは +RW に対応していません。

HDD/DVD について

HDD と使用できる DVD とマーク（ロゴ）		特長
HDD	hard disk	長時間（FINE モード時で約３時間）の記録ができます。不要なシーンの削除や編集ができます。
DVD-RAM Ver.2.1 (8 cm)	DVD RAM RAM4.7	不要なシーンの削除や編集ができます。
DVD-RW [Ver.1.1(8 cm)2 倍速（2X ／ 1X)]	DVD RW 2X/1X	不要なシーンの削除や編集ができるＶＲモードと、削除や編集はできませんが、ＤＶＤプレーヤーと高い互換性があるＶＦモードを選べます。
DVD-R [for General Ver.2.0 (8 cm)]	DVD R R4.7	ＤＶＤプレーヤーとの高い互換性があります。削除や編集はできません。
+RW Ver.1.2 (8 cm)	RW DVD+ReWritable	ファイナライズをしなくても、ＤＶＤプレーヤーとの高い互換性があります。撮影直後のシーンの削除ができます。

- 角型カートリッジ／キャディケース、丸型ホルダーに入ったDVDは、そのままでは使用できません。角型カートリッジ／キャディケース、丸型ホルダーから取り出してから使用してください。その際、汚れや傷をつけないよう十分に注意してください。
- DVDは本機と組合せ動作が確認されている日立マクセル製のHGタイプの片面ディスクをお使いになることをおすすめします。HGタイプの両面ディスクをお使いになる場合は、取り扱いに十分ご注意ください。日立マクセル製HGタイプのDVD以外をお使いになると、本機の性能が十分発揮されないことがあります。

ファイナライズ（☞P.116）についてのご注意

- **本機で記録／ダビングしたDVDで、ファイナライズしていないDVDは、DVDレコーダーなどの記録できる機器に入れないでください。記録データが壊れることがあります。**
- 本機で記録／ダビングしたファイナライズしていないDVD-RW(VFモード)/DVD-Rに、本機以外のDVDカメラで記録やファイナライズをすると、記録データが壊れることがあります。
- パソコンなどで編集してファイナライズしたり、DVDレコーダーでファイナライズしたDVD-RW/DVD-R/+RWは、ご使用になる編集ソフトやDVDの記録状態によって、本機で再生できない場合があります。
- 本機以外の日立製DVDカメラで記録したファイナライズしていないDVD-Rを本機に入れると、自動的にディスクナビゲーション画面が表示されます。本機で録画やファイナライズをすることはできません。
- 他社製のDVDレコーダーなどで記録したファイナライズされていないDVD-RW/DVD-Rを本機に入れないでください。DVDが使えなくなる場合があります。

DVD-Rについて

本機では、DVD-Rで最適な録画をするため、DVDの出し入れや電源の入／切をしたあとの録画のときに、DVDの書き込み調整をします。DVD調整のための書き込み領域がなくなると録画できなくなることがありますので、録画をともなうDVDの出し入れ、および電源の入／切は1枚のDVD-Rに対して、100回以上しないようにしてください。また、本機では、DVD-RにVRモードでの記録はできません。

本機で使用できないディスクの例

以下のディスクは、本機で使用できません。

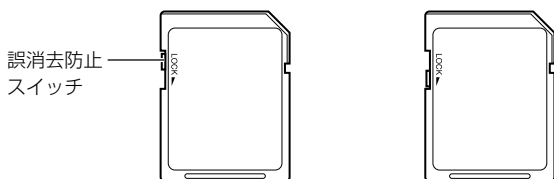
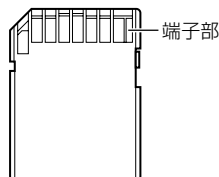
- DVD-R (4.7GB) for Authoring Ver. 2.0
- DVD-R（二層）
- DVD-RW（二層）
- DVD-ROM
- DVDビデオ
- CD
- CD-R
- CD-RW
- CD-ROM
- +R
- +R（二層）
- +RW（二層）
- 直径8cm以外のディスク

使用できるカードについて

本機で使用できるのは、SD メモリーカードです（2GB には対応しておりません）。また、専用のアダプターを使うことにより、miniSDメモリーカードをSDメモリーカードとしてお使いいただけます。SDHC カード、マルチメディアカードは使用できません。

●カードの扱いかた

端子部

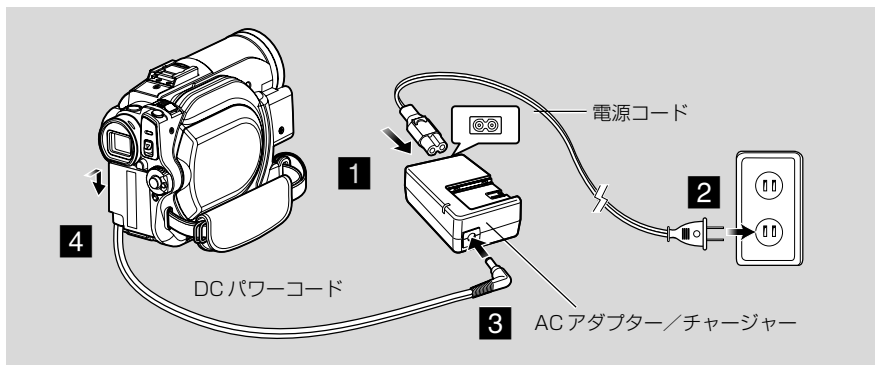
- 正規のカード以外は使用しないでください。
- 貴重な映像を記録する場合は、必ず試し撮りをしてください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- ラベルの貼り付け部には、専用ラベル以外は貼り付けないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下、暖房器具の近くなど、気温の高いところ
  - 湿気、ほこりが多いところ
- 誤消去防止スイッチをロックしておくと、再生はできますが記録や消去、編集ができなくなります。

ロックがかかっている状態

DVD/ カードの注意事項

- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップをとっておくことをおすすめします。
- 以下の場合はデータが壊れたり、消失したりすることがありますので、注意してください。
  - 読み込み中や書き込み中にDVDを取り出したり、カードを抜いたり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
  - 写真店や DPE サービスに出す場合
  - +RW を本機に入れたまま、長期間使用しない場合

電源の準備

コンセントにつないで使う

付属の AC アダプター／チャージャーを使うと、家庭用コンセントが使えます。

1 電源コードと AC アダプター／チャージャーをつなぐ

2 電源コードをコンセントに差し込む

3 DC パワーコードの片方の端子を AC アダプター／チャージャーの DC 出力端子に差し込む

4 DC パワーコードのカメラ接続側を、本機のバッテリーパック取付部に取り付ける
取り付け方／取り外し方は、バッテリーパックと同様です。P.35 をご覧ください。

- AC アダプター／チャージャーは、必ず指定のものをお使いください。指定外のACアダプター／チャージャーを使用すると、感電したり火災が起きるおそれがあります。

バッテリーパックを充電する

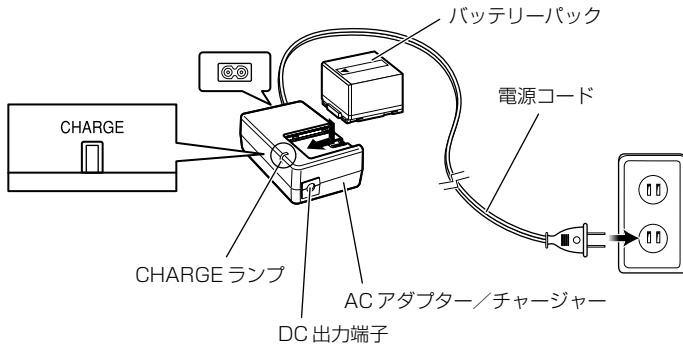
お買い上げ時は、本機に付属のバッテリーパック(DZ-BP14S)は充電されていません。充電してからお使いください。

- バッテリーパックは、必ず本機専用のもの（同梱：DZ-BP14S、別売品：DZ-BP14SJ、DZ-BP21SJ）をお使いください。異なるバッテリーパックをご使用になると、本機が故障したり、火災が発生するおそれがあります。
- バッテリーパックの充電は必ず指定のAC アダプター／チャージャー（DZ-ACS3）をお使いください。その他の充電器で充電すると、感電したり、火災が起きる可能性があります。
- 充電は、気温が 10℃～ 30℃のところでしてください。
- **DC パワーコードをAC アダプター／チャージャーのDC 出力端子につないでいる間は、バッテリーパックの充電はできません。DC パワーコードを外してください。**

バッテリーパックは、付属のAC アダプター／チャージャーを使って充電します。

1 電源コードをAC アダプター／チャージャーにつなぐ

2 電源コードをコンセントに差し込む

3 バッテリーパックをAC アダプター／チャージャーに取り付ける

●バッテリーパックの充電の状態

バッテリーパックの充電状態は、AC アダプター／チャージャーのCHARGE ランプの点灯で確認できます。

充電の状態	CHARGE ランプ
充電中	点灯
充電完了	消灯

- 点滅した場合は、P.161 の「故障かな…と思ったら」をご覧ください。

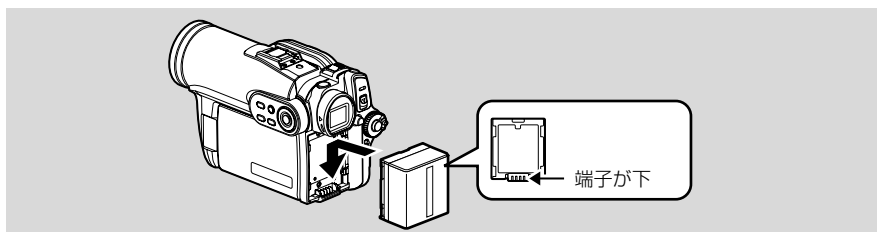
●バッテリーパックの充電時間の目安（約 25℃の場合）

バッテリー品番	充電時間
DZ-BP14S（付属品）	約 165 分
DZ-BP14SJ（別売品）	
DZ-BP21SJ（別売品）	約 235 分

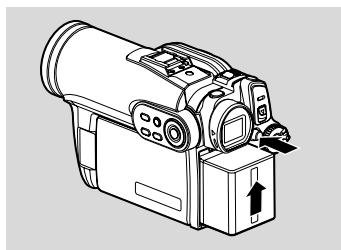
充電時間はバッテリーパックの残量により変わります。

バッテリーパックを取り付ける

1 **本機のバッテリーパック取付部にバッテリーパックを押しあて、カチッと音がするまで下へずらす**

このとき、バッテリーパックの向きをまちがえないように注意してください。

バッテリーパックを取り外す

1 **「バッテリーイジェクト」ボタンを押しながら、バッテリーパックを上にずらす**

バッテリーパックが外れます。
このとき取り外したバッテリーパックが落下しないように注意してください。

ヒント

- バッテリーパックを取り外すときは、電源スイッチを「切」に合わせてください。

バッテリーパックでの連続使用時間

（ズームなどの操作をまったくしない場合）

満充電されたバッテリーパックで連続使用できる時間は、以下の表を目安にしてください。

● DZ-BP14S（付属品）、DZ-BP14SJ（別売品）

動画画質		連続使用時間	
		HDD	DVD
XTRA モード	ビューファインダー使用時	約 125 分	約 105 分
	液晶モニター使用時	約 115 分	約 95 分
FINE モード	ビューファインダー使用時	約 125 分	約 105 分
	液晶モニター使用時	約 115 分	約 95 分
STD モード	ビューファインダー使用時	約 125 分	約 115 分
	液晶モニター使用時	約 115 分	約 105 分

時間は参考値です。記録する内容により連続使用時間が変わります。

● DZ-BP21SJ（別売品）

動画画質		連続使用時間	
		HDD	DVD
XTRA モード	ビューファインダー使用時	約 185 分	約 155 分
	液晶モニター使用時	約 170 分	約 140 分
FINE モード	ビューファインダー使用時	約 185 分	約 155 分
	液晶モニター使用時	約 170 分	約 140 分
STD モード	ビューファインダー使用時	約 185 分	約 170 分
	液晶モニター使用時	約 170 分	約 155 分

時間は参考値です。記録する内容により連続使用時間が変わります。

満充電のときの実際の連続使用時間の目安は、上記の時間の約 $^1/_2$ ～ $^1/_3$ です。

上記の表に示したバッテリーパックの連続記録時間は、撮影を開始してから、そのまま何もせずに撮影し続けた場合の記録時間です。実際の撮影では、「録画」ボタンやズームの操作、再生などをすることがあるため、バッテリーパックはこの２～３倍消耗します。満充電された１個のバッテリーパックの使用時間を上記の時間の約 $^1/_2$ ～ $^1/_3$ とお考えのうえ、記録予定時間に見合った数のバッテリーパックをご用意ください。ご使用条件によっては、連続使用時間が更に短くなる場合もあります（短い時間で録画や録画停止を繰り返すなど）。

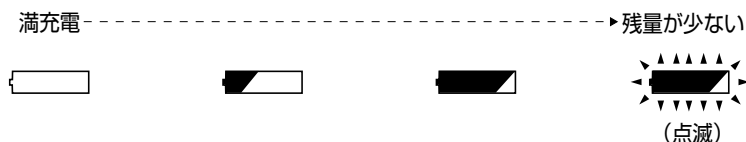
また、気温の低い場所でお使いになるときは、バッテリーパックがより早く消耗しますので、ご注意ください。

- 充電中や充電直後および使用中は、バッテリーパックが温かくなりますが、故障ではありません。

バッテリーパックの残量表示について

バッテリーパックの使用中は、ビューファインダー・液晶モニターにバッテリーパックの残量が次のように表示されます。

満充電 ------→ 残量が少ない

（点滅）

バッテリーパックを上手に使うために

- バッテリーパックは本体から取り外していてもわずかに放電しています。
- バッテリーパックを取り付けたままにしておくと、電源を切っていても、ごくわずかな電力を消費します。本機の使用後は充電しないで、お使いになる前の日などに充電することをおすすめします。

長期間使用しないときは

１年に１回程度満充電し、本機に取り付けた状態で使い切ってから、取り外して涼しい場所に再度保管することをおすすめします。

バッテリーパックの寿命について

バッテリーパックの寿命は、ご使用の環境や使用頻度によって大きく異なります。満充電したバッテリーパックの使用時間が著しく短くなったら、寿命と考えられます。新しいバッテリーパックをお求めください。

バッテリーパックの廃棄方法

不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店については
有限責任中間法人　JBRC　　（2006 年７月現在）
ホームページ：http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

Li-ion

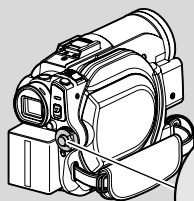
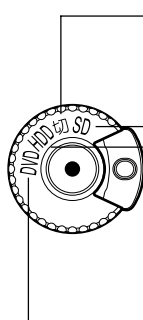
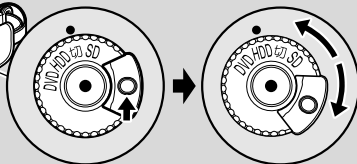
パワーセーブとバッテリーの消耗

記録一時停止状態のときも、撮影時と同じくらいバッテリーは消耗しますので、撮影時以外はなるべく電源を切るようにしてください。

記録一時停止の状態が約5分続くと、自動的に電源が切れるようにパワーセーブを設定することができます。

パワーセーブを設定したり解除する方法は、P.41（パワーセーブ）をご覧ください。

電源を入れる／切る

DVD HDD 切 SD

「切」に合わせる
電源が切れます。

「SD」に合わせる
SD メモリーカードを使って、静止画を撮影・再生するときに合わせます。

「HDD」に合わせる
HDDを使って、動画を録画・再生・ダビングするときに合わせます。

「DVD」に合わせる
DVD-RAM/DVD-RW/DVD-R/+RWを使って、動画を録画・再生するときに合わせます。

ヒント

- 一度電源を入れてDVDを認識させておくと、次に電源を入れたとき、すぐに記録ができます。
- DVD を入れてから長時間経過したときは、DVD を認識しなおすので、時間がかかります（☞ P.161「故障かな…と思ったら」）。
- 電源を入れたあとにディスクナビゲーション画面を表示させるには、しばらく時間がかかります。
- 電源を入れたときに本機の自己診断機能が働き、メッセージが表示されることがあります。表示されたときは、P.154 の「メッセージが表示されたら」をご覧になり、正しく対処してください。
- 電源を切るときや、「HDD」⇔「DVD」の切り替えをするときは、グレーのスイッチを押さなくても電源スイッチをまわすことができます。

映像を見る

液晶モニターで映像を見る

液晶モニターを開くと、液晶画面で映像を確認できるようになります。

1 液晶モニターを開く

液晶モニターの底部に指をかけるところがあります。
その部分に指をひっかけて開いてください。

●液晶モニターの動く範囲

液晶モニターは、約 90°まで開くことができます。
この状態で手前へ約 90°、反対側へは約 180°まで回転させることができます。
液晶画面が見やすくなるように、角度をかえてください。
撮影時に液晶モニターを約 180°回転させて前に向けると、ビューファインダーにも映像が表示されます。このとき液晶モニターの映像は鏡のように左右反対に映ります（☞ P.53）。

ヒント

- 液晶モニターに何も表示されない（☞ P.161「故障かな…と思ったら」）。
- 液晶モニターが白く点灯する（☞ P.64）。

ご注意

- 必ず液晶モニターが約90°開いた状態で液晶モニターの角度を変えてください。
- 液晶モニターを約180°回転させた状態で本体に密着させて、長時間使用することはおやめください。本体と液晶モニターが熱くなり、故障の原因になります。

ビューファインダーで映像を見る

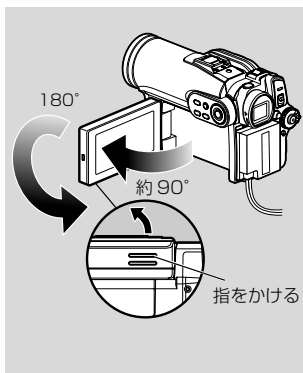
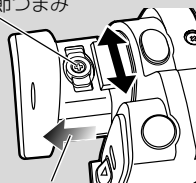
1 ビューファインダーを引き出す

2 視度調節つまみを動かして調節する

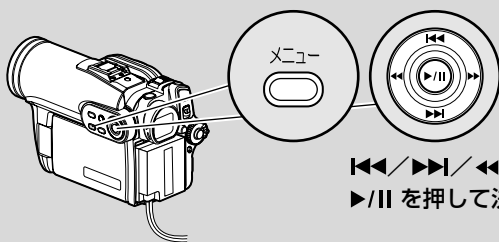
ヒント

- ビューファインダーに何も表示されない
（☞ P.161「故障かな…と思ったら」）。

ご注意

- 液晶モニターが開いているときは、ビューファインダーには何も表示されません。ただし、開いている液晶モニターを180°回転させて前に向けると、ビューファインダーにも映像が表示されます。
- 液晶モニターの開閉に関係なくビューファインダーを表示させたいときには、「LCD／EVF 設定」をご覧ください（☞ P.44）。
- ビューファインダーを引き出さないとピントが合いません。

日付機能設定

日付と時刻を設定する

一度設定した日付や時刻の修正も、下記の手順で同様にできます。

1 **「メニュー」ボタンを押してから、「日付機能設定」の「日付設定」を選び、▶/II を押して決定する**

日付機能設定
日付設定　2006/ 1/ 1 AM 0:00
表示モード
▶決定 ■戻る HDD

2 **「年」の表示部分が反転するので、⏮／⏭ を押して数字を変更する**

3 **▶▶ を押して「月」の表示部分に合わせて反転させ、⏮／⏭ を押して数字を変更する**

同様の手順で「日」「時刻」を希望の数字に設定してください。

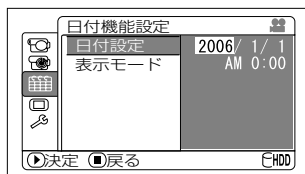
設定を途中でやめたい場合は、■（停止／キャンセル）ボタンを押してください。

4 **希望の日付と時刻にしたら ▶/II を押して決定する**

「日付設定」の確認画面が表示されます。

5 **表示してある日付と時刻でよければ「はい」を選び、▶/II を押して決定する**

日付が設定され、記録一時停止状態に戻ります。

「いいえ」を選ぶと、メニュー画面に戻ります。

●表示モードを切り替える

日付の表示方法を、「年／月／日」、「月／日／年」、「日／月／年」のどれかに変更できます。選択した日付の表示方法に応じて、時刻の表示方法も変わります。手順 1 で「日付機能設定」の「表示モード」を選び、希望の表示にしてください。

- 本機は、日付と時刻を記憶しておくための充電式電池を内蔵しています。
  内蔵電池がなくなると日付がリセットされてしまいます。6ヶ月に1回、ACアダプター／チャージャーを本機と接続してコンセントにつなぐか、または、充電したバッテリーパックを本機に取り付け、電源を切ったまま24時間以上接続した状態にしておいてください。内蔵電池が充電されます。

HDD RAM RW VR RW VF R +RW カード

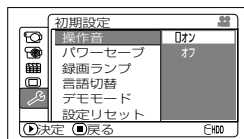
初期設定

「メニュー」ボタンを押してから、カーソルキーを使って「初期設定」の画面にしてください。詳しい操作方法はP.54をご覧ください。
それぞれの設定は、電源を切っても記憶されています。

操作音を出す／消す

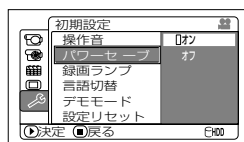
右の画面で、「オン」か「オフ」を選び、▶/II を押して決定する

オン:　電源の入／切、HDD/DVD使用時に録画ボタンを押したとき、秒撮ボタンやディスク取り出しボタンを押したときなどに、操作音が出ます。

オフ:　操作音が出ません。

自動的に電源を切る（パワーセーブ）

右の画面で、「オン」か「オフ」を選び、▶/II を押して決定する

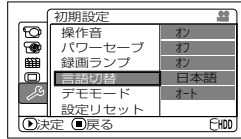
オン:　パワーセーブを設定します。記録一時停止で何も操作しない状態が約5分間続くと、自動的に電源が切れてバッテリーパックの消耗を防ぐことができます。

オフ：パワーセーブを解除します。

ヒント

- パワーセーブの機能により電源が切れたあと電源を入れたいときは、一度電源スイッチを「切」にしてから電源を入れてください。
- パワーセーブの設定は、画面情報には表示されません。
- 秒撮モードが30分続くと、パワーセーブの設定にかかわらず、自動的に電源が切れます（☞P.50）。

表示言語の切り替え（言語切替）

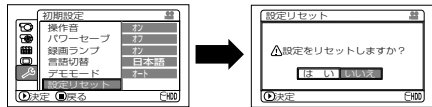
メニューの表示や情報表示の言語を英語に切り替えることができます。
ここでは、日本語表示から英語表示に切り替えてみましょう。

1 **右の画面で、▶/IIまたは▶▶を押す**
「言語切替」画面が表示されます。

2 **「English」を選び、決定する**
表示が英語に切り替わります。

メニューを初期状態に戻す（設定リセット）

カメラメニューの設定を初期状態（工場出荷時の設定値（☞ P.167）に戻すことができます（日付・時刻設定は戻りません）。

1 **「設定リセット」を選び、▶/IIを押す**
「設定リセット」の確認画面が表示されます。

2 **リセットしてよい場合は、「はい」を選び、▶/II を押して決定する**
設定項目が初期状態になります。

ヒント

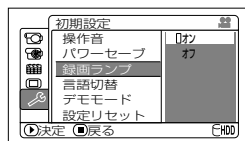
- 設定リセットを途中でやめたい場合は、手順2の確認画面で、「いいえ」を選ぶか、■(停止／キャンセル）ボタンを押してください。

録画ランプ点灯／消灯

本機の前面にある録画ランプを消すことができます。

右の画面で、「オン」か「オフ」を選び、▶/II を押して決定する

オン　：録画しているとき、録画中であることをお知らせするため、赤く点灯します。

オフ　：録画中でも録画ランプは点灯しません。

- ガラスごしや水槽など反射するものを撮影するときなどにオフにすると、録画ランプの反射光が撮影されません。

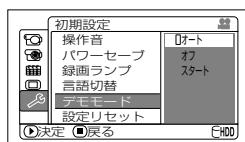
ご注意
- 録画ランプの設定は、画面情報には表示されません。
- 「オフ」に設定していてもセルフタイマーの表示がカウントダウン中は点灯します。

デモンストレーションの設定を変える

右の画面で、設定したい項目を選び、▶/IIを押して決定する

オート　：AC アダプター / チャージャーにつないでいるとき、電源を入れてから約10分間操作しないとデモンストレーションが始まります。

オフ　：デモンストレーションの設定を「オフ」にします。

スタート：デモンストレーションがすぐに始まります。

- ■(停止 / キャンセル）ボタンやディスクナビゲーションボタンなどを押すとデモンストレーションが終了します。
- デモンストレーション中は、録画ランプが点滅します。

ご注意
- バッテリーパックをお使いのときに「オート」に設定してもデモンストレーションは始まりません。
- パソコンと接続しているときは、デモンストレーション機能は働きません。
- 「オート」に設定していても、本機の電源スイッチが「DVD」で DVD が入っている場合や、「SD」でカードが入っている場合には、デモンストレーションは始まりません。

初期設定

HDD RAM RW VR RW VF R +RW カード

LCD/EVF設定

LCD/EVFの設定は、電源を切っても記憶されています。

液晶モニター/ビューファインダーの明るさを調節する（明るさ）

1 「メニュー」ボタンを押してから、「LCD/EVF設定」の「LCD/EVF調節」を選び、▶/IIを押す

2 「LCD/EVF調節」の画面で、「LCD明るさ」（液晶モニター）または「EVF明るさ」（ビューファインダー）を選び、◀◀／▶▶で調節する

◀◀を押す ……………… 暗くなります

▶▶を押す ……………… 明るくなります

LCD/EVF調節
LCD明るさ
EVF明るさ
色のこさ
調節 決定 HDD

3 調節が終わったら、▶/IIを押す

途中でやめたい場合は、「メニュー」ボタンを押してください。

色のこさを調節する（色のこさ）

液晶モニターとビューファインダーの色のこさを調節できます。

1 「メニュー」ボタンを押してから「LCD/EVF設定」の「LCD/EVF調節」を選び、▶/IIを押す

2 「LCD/EVF調節」の画面で、「色のこさ」を選び、◀◀／▶▶で調節する

◀◀を押す………… 色がうすくなります

▶▶を押す………… 色がこくなります

3 調節が終わったら、▶/IIを押す

途中でやめたい場合は、「メニュー」ボタンを押してください。

ヒント

- 液晶モニター／ビューファインダーの明るさや色のこさを変えても、録画映像の明るさや色のこさは変わりません。

ビューファインダーを常時表示する

1 「メニュー」ボタンを押してから、「LCD/EVF設定」の「EVF表示」を選び、▶/IIを押す

2 「オン」を選び、▶/IIを押す

液晶モニターの状態に関係なく、常にビューファインダーが表示されます。

RAM　RW VR　RW VF　R　+RW

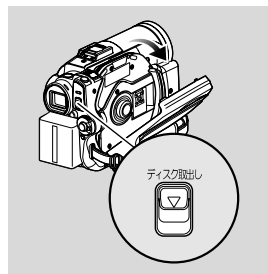
DVD を入れる / 取り出す

1　電源スイッチを「DVD」または「切」に合わせる

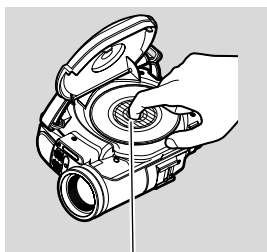
電源スイッチが「HDD」「SD」に合っているときは、DVD 挿入部のふたが開きません。
ただし、ダビング中に「DVD を入れてください。」と表示されたときは、電源スイッチが「HDD」でもふたが開きます（☞ P.88、89）。

2　「ディスク取出し」ボタンを 1 回押し下げて手をはなす

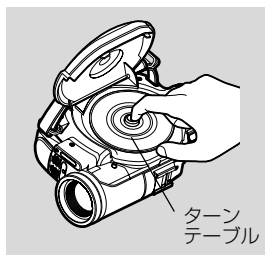
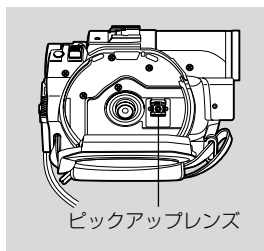
アクセス／ PC 接続ランプが点滅して、しばらくすると DVD 挿入部（グリップベルト側）のふたが開きます。

3　ふたが完全に開くところまで、手でゆっくり開く

4

＜ DVD を入れるとき＞

DVDを中央のターンテーブルに「カチッ」と音がするまで押し込んで固定する

DVD の斜線の部分を押してください。

＜ DVD を取り出すとき＞

ターンテーブルの中央部分を押さえながら、DVD の端の方をつまみあげるようにして取り出す

- DVD の記録面を内側（本体側）にして入れてください（片面ディスクの場合、レーベル印刷面の反対側が記録面です）。
- DVDの記録面やピックアップレンズには絶対触らないでください。ピックアップレンズに触ると故障の原因になります。
- DVDの記録面に付着した汚れは、付属のディスククリーニングクロスで拭き取っておいてください。
- 傷や汚れのある DVD は使用しないでください。

5 DVD挿入部（グリップベルト）ふたの「PUSH CLOSE」部を「カチッ」と音がするまで、押して閉じる

この後、自動的にDVD認識動作を行いますので、アクセス／PC接続ランプが点灯している間は、電源を抜いたり、振動や衝撃を加えないでください。

- 撮影するまでに時間がかかる（☞ P.161「故障かな…と思ったら」）

ご注意

- DVD挿入部のふたが開いていると、液晶モニターは表示されたままで、アクセス／PC接続ランプが点滅し、電源スイッチが「切」状態でも電源は切れません。しばらくたってもふたが開いたままの場合、自動的に電源が切れます。
- DVDの出し入れは、充電されたバッテリーパックが取り付けてあるか、ACアダプター／チャージャーを使ってコンセントから電源をとっていないとできません。
- DVD がターンテーブルに正しく入っていない状態で、ふたを閉めないでください。
- 片面ディスクの場合、レーベル印刷面を内側にして本機に挿入すると、エラーメッセージが表示されます。いったん取り出して、記録面を内側にしてもう一度装着してください。P.154の「メッセージが表示されたら」を参照してください。
- DVD取り出し中は、確実に電源が切れるまでバッテリーパックやACアダプター／チャージャーを取り外さないでください。ふたが開かなくなる場合があります。そのときは、再度バッテリーパックやACアダプター／チャージャーを取り付け、ディスク取出しボタンを１回押し下げて手をはなしてください。
- DVD 挿入部には、8cmDVD-RAM ／ 8cmDVD-RW ／ 8cmDVD-R ／ 8cm+RW 以外のディスクを入れないでください。故障の原因となります（☞P.30、31）。
- DVDを出し入れするときには、レーザーピックアップ部のレンズをのぞき込まないでください。視力に障害を起こす原因となります。
- DVD挿入部のふたを閉めるときは、強く押さないでください。故障の原因となることがあります。

●両面ディスクをお使いの場合

両面ディスクは、表と裏に記録できます。しかし、片面の記録／再生が終了後、自動的に反対面には切り替わりません。一度DVDを本機から取り出し、DVDを裏返してご使用ください。
両面ディスクを使うときは、記録面に汚れや傷をつけやすいので、必ずピックアップレンズ側の記録面に汚れや傷がないことを確認してから、汚れや傷をつけないよう十分に注意して使用してください。DVDの汚れは、付属のディスククリーニングクロスでふき取ってください（☞ P.21）。

●新品の DVD-RW ／ +RW をお使いの場合

DVD を入れると、DVD 初期化の確認画面が表示されます。

本機で撮影に使う場合

DVD 初期化の確認画面で「はい」を選んで、▶/IIを押してください。
DVD-RW をご使用のときは、記録フォーマット（VR モード／ VF モード）を選んで、▶/IIを押してください。
DVD が初期化されます（☞ P.112）。

（DVD-RW をご使用のとき
のみ表示されます）

パソコンからのデータを記録する場合（☞ P.125）

DVD 初期化の確認画面が表示されているときに「いいえ」を選んで▶/IIを押すか、もしくは■（停止・キャンセル）ボタンを押してください。

＊ パソコンからの記録をしていない場合は、電源を入れ直すか DVD を入れ直すと、新品の DVD を入れたときと同じ状態になり、DVD の認識から始まります。

カード

カードを入れる／取り出す

1 **液晶モニターを開く**

2 **電源を切る**

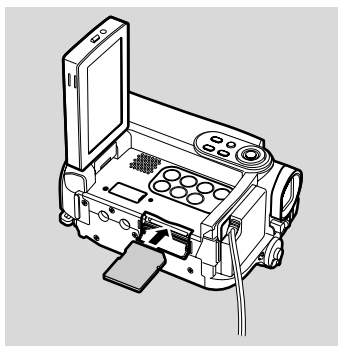
3 **カード挿入部のふたを開ける**

4 **カードを入れる**

端子部が内側になるように差し込んでください。
ロックされるところまで差し込んでください。

カードを取り出す

カード中央部を押してください。
指ではさめるくらいカードが出てきます。

5 **カード挿入部のふたを閉じる**

• カード挿入部のふたは、必ず閉じて使用してください。ふたが開いたままの本体を机の上などに置くと、ふたが破損するおそれがあります。

HDD RAM RW VF RW VR R +RW

動画を撮る

1 レンズキャップを外し、本機を被写体に向ける

アクセス／ PC 接続ランプ

1 回押しで録画開始
もう 1 回押しで録画
一時停止

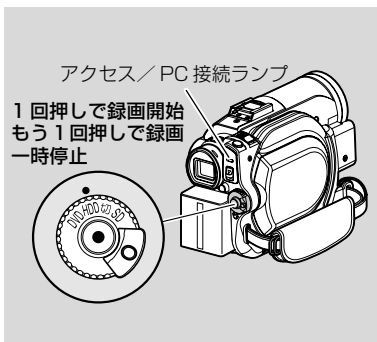
2 電源を入れる

電源スイッチを「HDD」または「DVD」に合わせてください。
電源スイッチを「DVD」に合わせてお使いになるときは、本機に DVD を入れてください。
アクセス／PC 接続ランプが消灯してから、次の操作をしてください。
ビューファインダーまたは液晶モニターで映像を確認してください。
ビューファインダーご使用の場合は、ビューファインダーを引き出し、液晶モニターを閉じてご使用ください。

3 「録画」ボタンを押す

ビューファインダーまたは液晶モニターの「●II」が「●記録」に変わり、録画が開始します。
また、録画ランプが赤く点灯して、録画中であることをお知らせします。

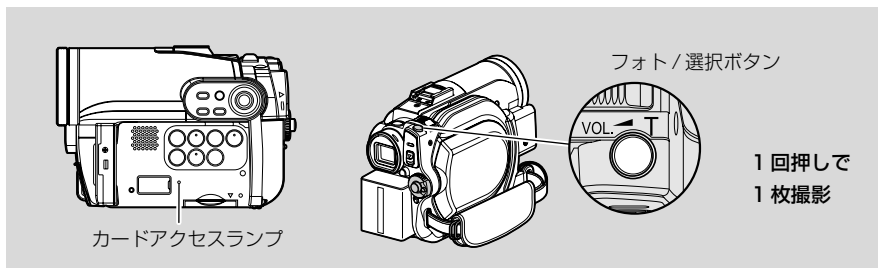
4 もう一度、「録画」ボタンを押す

録画一時停止します。
「HDD に保存中です」（HDD 使用時）または「DVD に保存中です」（DVD 使用時）という表示が消えると、録画終了です。

- 動画の録画ができない（☞ P.161「故障かな…と思ったら」）。
- 録画するまでに時間がかかる（☞ P.161「故障かな…と思ったら」）。
- カメラが動作しない（☞ P.161「故障かな…と思ったら」）。
- 画面表示について（☞ P.51）。
- 電源スイッチが「HDD」のときに、誤って「DVD」に切り替わるのを防ぐため、LOCK スイッチを LOCK（上）へ移動させておくと便利です。

ご注意

- DVD-RW(VFモード)/DVD-R/+RWをお使いの場合、1枚のDVDに異なる動画画質やワイドモード設定を混在させて録画・ダビングすることはできません(☞P.89)。
- アクセス／PC接続ランプが点灯または点滅しているときは、電源を切ったり、本体に振動を加えたりしないでください。記録したデータにエラーが発生し、再生できなくなることがあります（☞ P.18、154)。
- 動画の最短録画時間は、約 3 秒です。
- カウンター表示は、録画一時停止ごとに 0:00:00 にリセットされます。
- +RWをお使いの場合、1回の録画時間が短いときや動画画質の切替回数が多いときは、DVD の残量が残っていても録画できなくなることがあります。

カード

静止画を撮る

1 **レンズキャップを外し、本機を被写体に向ける**

2 **電源を入れる**

電源スイッチを「SD」に合わせてください。

カードアクセスランプが消灯してから次の操作をしてください。

ビューファインダーまたは液晶モニターで映像を確認してください。

ビューファインダーをご使用の場合は、ビューファインダーを引き出し、液晶モニターを閉じてご使用ください。

3 **「フォト / 選択」ボタンを半分まで押す（半押し）**

ピントが画面中央にある被写体に自動的に合い、画面の●II が紫色に点灯します（マニュアルフォーカス選択時はピントは変化しません）。

4 **「フォト / 選択」ボタンを完全に押し込む（全押し）**

画面がいったん黒くなり、その後撮影された画面が表示されます。緑色の●II になったら、次の撮影ができます。

「カードに保存中です」と表示されている間は、次の撮影はできません。

ヒント

- 被写体を中央に配置しないで撮る場合は、最初に被写体を画面中央に捉えて「フォト/選択」ボタンを半押しにし、撮影したい構図を決めて「フォト/選択」ボタンを全押しするようにします。
- 半押しせずに一度に全押しした場合、撮影はできますが、ピントが合わないことがあります。
- 静止画についての詳しい内容は「静止画のサイズと画質について」(P.173) をご覧ください。
- 静止画が撮影できない（☞ P.161「故障かな…と思ったら」）。
- ピントが合いにくいときは、マニュアルフォーカスを選択し、手動でピントを合わせてください（☞ P.58）。

ご注意

- 手振れにより撮影した映像にぶれが生じることがあります。
- 手持ちで撮影するときは、本機を両手で支えるようにしてください。
- ズームの倍率を大きくして撮影するときは、本機を三脚などで固定することをおすすめします。
- 液晶モニターやビューファインダーなどのモニター映像と記録映像に差が生じることがあります。

HDD RAM RW VR RW VF R +RW カード

すばやく撮影を始める（秒撮ボタン）

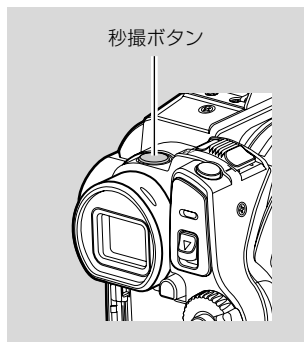
記録一時停止状態のとき、電源を切る代わりに秒撮ボタンを押して秒撮モード（待機状態）にしておくと、約 1 秒で撮影可能な状態に戻すことができます。

●秒撮モードにする

記録一時停止状態で、「秒撮」ボタンを押してください。

「秒撮」ボタンが点灯し、秒撮モードになります。

以下の場合は、「秒撮」ボタンを押しても秒撮モードにはなりません。

- ・電源スイッチが「DVD」のときにDVDが入っていない
- ・電源スイッチが「SD」のときにカードが入っていない
- ・使用できないディスクやカードが入っている
- ・HDD ／ DVD ／カードの残量がない
- ・ディスクナビゲーション画面が表示されている
- ・再生中である

●秒撮モードから復帰する

点灯している「秒撮」ボタンを押してください。

記録一時停止状態に戻ります。

「録画」ボタン、「フォト / 選択」ボタンを押しても、同様に秒撮モードから復帰し、記録一時停止状態に戻ります。

以下の操作をすると、秒撮モードが解除されます。

- ・「ディスク取り出し」ボタンを押し下げる（電源スイッチが「DVD」のとき）
- ・電源スイッチを切り替える（「HDD」⇔「DVD」）

ご注意

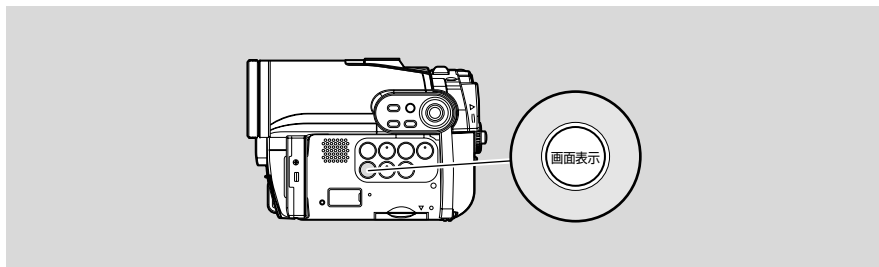
- 秒撮モードで「録画」ボタン、「フォト / 選択」ボタンを押すと記録一時停止状態に戻りますが、動画や静止画の撮影は始まりません。撮影したいときは、もう一度「録画」ボタンまたは「フォト / 選択」ボタンを押してください。
- 秒撮モードから復帰したあとは、ズーム位置が 1 ～ 1.5 倍程度に戻ります。また、マニュアルフォーカス、露出、逆光補正の設定は電源を切った状態に戻ります（☞P.58 ～ 60）。

ヒント

- 秒撮モードのときは、通常撮影時の約半分の電力を消費しますが、記録一時停止状態で待機しているときに比べて、撮影可能な時間が長くなります。
- パワーセーブの設定（初期設定では 5 分）にかかわらず、秒撮モードが 30 分続くと自動的に電源が切れます。
- 秒撮モードのときに電源スイッチを「切」に合わせると、電源が切れます。

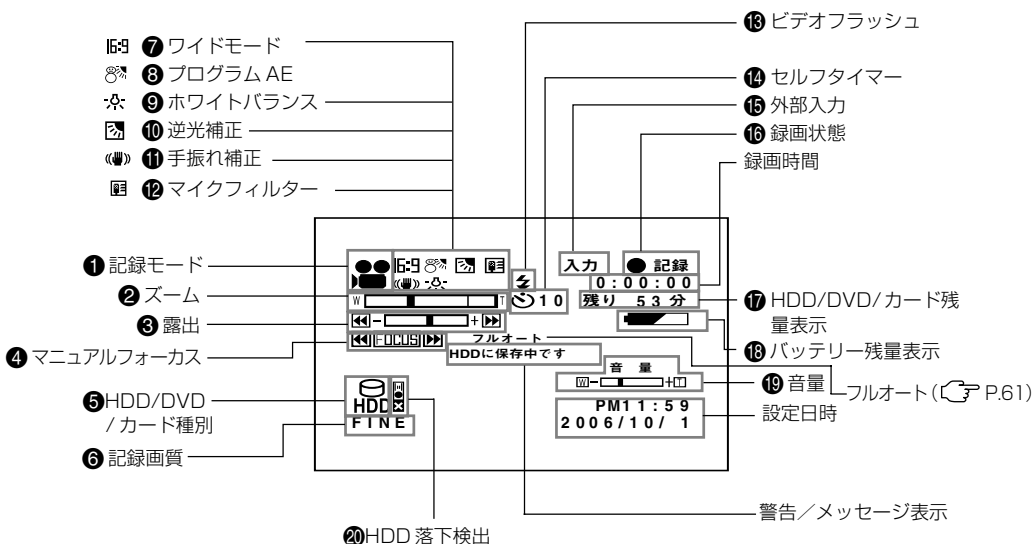
HDD RAM RW VF RW VR R +RW カード

画面表示について

ビューファインダーや液晶モニターには、撮影時のいろいろな情報が表示されます。
画面表示ボタンを押して、すべての情報を表示したり、一部表示にしたりできます。

撮影時の表示について

詳細については次ページをご覧ください。

❶ 記録モード
❷ ズーム
❸ 露出
❹ マニュアルフォーカス
❺ HDD/DVD/カード種別
❻ 記録画質
❼ ワイドモード
❽ プログラム AE
❾ ホワイトバランス
❿ 逆光補正
⓫ 手振れ補正
⓬ マイクフィルター
⓭ ビデオフラッシュ
⓮ セルフタイマー
⓯ 外部入力
⓰ 録画状態
録画時間
⓱ HDD/DVD/カード残量表示
⓲ バッテリー残量表示
⓳ 音量
フルオート（☞ P.61）
設定日時
警告／メッセージ表示
⓴ HDD 落下検出

入力　● 記録
0：00：00
10
残り　53 分
フルオート
HDDに保存中です
音　量
W T
FOCUS
HDD
FINE
PM11：59
2006/10/ 1

- 上記の画面は説明の例です。
  実際の表示とは異なります。

❶ 記録モード（P.48、49、72）

：動画（HDD/DVD）　：静止画（カード）
：外部入力静止画フィールド（カード）
：外部入力静止画フレーム（カード）

❷ ズーム（P.56）

デジタルズーム：オフ
デジタルズーム：40倍
デジタルズーム：240倍（HDD/DVD使用時）

❸ 露出（P.59）

表示なし　：オート
：マニュアル

❹ マニュアルフォーカス（P.58）

表示なし　：オート
：マニュアル

❺ HDD/DVD/カード種別

：HDD
：プロテクトされた内蔵ハードディスク
：DVD-RAM
：ディスクプロテクトされたDVD-RAM
：DVD-RW（VRモード/VFモード）
：ディスクプロテクトされたDVD-RW（VRモード）
：ファイナライズ済みのDVD-RW（VRモード）
：ディスクプロテクトされたファイナライズ済みのDVD-RW（VRモード）
：ファイナライズ済みのDVD-RW（VFモード）
：DVD-R
：本機でファイナライズ済みのDVD-R
：・本機以外でファイナライズしたDVD-R
　・本機以前に発売された日立製DVDカメラで記録した、ファイナライズしていないDVD-R
：+RW
：ファイナライズ済みの+RW
：SDメモリーカード
：ロックされたSDメモリーカード
表示なし *1

❻ 動画記録画質（HDD/DVD使用時）（P.68）

XTRA　：より高画質
FINE　：高画質　STD：標準画質

静止画記録画質（カード使用時）（P.71）

FINE　：高画質　NORM：標準画質
ECO　：枚数重視

❼ ワイドモード（HDD/DVD使用時）（P.69）

表示なし　：ワイドモードオフ
16:9　：ワイドモードオン

❽ プログラムAE（P.63）

表示なし：オート　：スポーツ
：ポートレート　：スポットライト
：サーフ&スノー　：ローライト

❾ ホワイトバランス（P.65）

表示なし：オート　：セット
：屋外　：屋内
：蛍光灯

❿ 逆光補正（P.60）

表示なし　：逆光補正オフ
：逆光補正オン

⓫ 手振れ補正（HDD/DVD使用時）（P.66）

表示なし　：手振れ補正オフ
：手振れ補正オン

⓬ マイクフィルター（HDD/DVD使用時）（P.67）

表示なし　：マイクフィルターオフ
：マイクフィルターオン

⓭ ビデオフラッシュ（カード使用時）（ビデオフラッシュ（別売）取り付け時）（P.62）

表示なし　：自動発光　AUTO
：強制発光
：強制禁止

⓮ セルフタイマー（カード使用時）（P.72）

表示なし　：セルフタイマーオフ
：セルフタイマーオン　10秒よりカウントダウン

⓯ 外部入力（P.71）

入力　：AV入力　S入力：Sビデオ入力

⓰ 録画状態

● 記録：記録中
●II　：記録一時停止中（緑色点灯）
　静止画撮影時、フォーカスロック（紫色点灯）
表示なし *2

⓱ HDD／DVD／カードの残量 *3

残り○分 *4：HDD/DVD使用時の残り録画時間（分）
残り○枚 *5：カード使用時の残り撮影枚数（枚）

⓲ バッテリー残量表示（P.37）

満充電　→　残量少ない

⓳ 音量（P.77）

音量の調節は外部入力時と再生時に有効です

⓴ HDD落下検出（P.73）

表示なし　：HDD落下検出オン
：HDD落下検出オフ

＊1：DVDやカードが入っていないときや、本機では使えないディスクやカードが入っていると表示されません。
＊2：DVDやカードが入っていないときや、初期化されていないDVD、プロテクトされたHDD/DVDやロックされたカード、HDD/DVD/カードに残量がないときは表示されません。
＊3：プロテクトされたHDD/DVDやカード､ファイナライズされたDVD-RW(VFモード)／DVD-R／+RWは、残量が表示されません。
＊4：XTRAモードで撮影した場合、表示より長く撮影できることがあります。
＊5：表示される枚数は目安です。撮影条件によっては、枚数が減らないことがあります。

●画面表示モードを切り替える

「画面表示」ボタンを押して、表示モードを切り替えることができます。

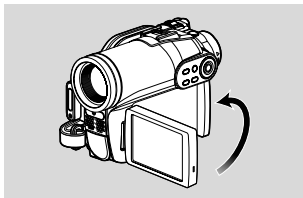
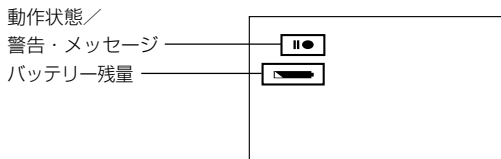
①：すべての情報が表示されます。
②：記録モード・カメラの状態表示が表示されます。
　 警告がある場合には警告表示されます。

①と②が交互に入れ替わります。

ヒント

- 日付や時刻は映像には録画されません。ただし、データとして記録されていますので、再生時やディスクナビゲーション画面で確認できます。

●対面撮影時の画面表示について

液晶モニターには、動作状態が表示されます。
バッテリー残量表示は、バッテリーの残りがほとんどない状態でのみ表示されます。
また、このときのバッテリー表示は点滅表示されます。

対面撮影時は警告／メッセージ表示（☞ P.51）は表示されません。
その代わりに下記の画面表示を点滅して動作状態をお知らせします。
液晶画面を対面撮影状態から180°回転して元に戻すと、警告／メッセージ表示が確認できます。

●対面撮影時の液晶画面上の表示

画面表示	説　明
	• HDD に記録できない状態です。 • HDD を使って静止画を撮影しようとしています。
	• DVD を使って静止画を撮影しようとしています。 • 使用できないディスクが入っています。
	• 使用できないカードが入っています。
	• HDD/DVD がプロテクトされています。 • カードがロックされています。
●	• 記録中（赤い点灯表示）。 • DVD/HDD の残量がほとんどありません（赤い点滅表示）。
II●	• 記録一時停止中（緑の点灯表示）。 • フォーカスロック中（紫の点灯表示）。 • HDD/DVD/ カードの残量がほとんどありません（赤い点滅表示）。 • HDD/DVD/ カードの残量がありません（緑の点滅表示）。 • コピーガードがかかっている映像を録画しようとしています（緑の点滅表示）。

ヒント

- 液晶画面を対面撮影状態にすると、ビューファインダーでも映像を確認できます。

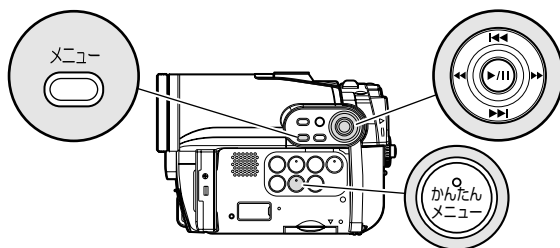
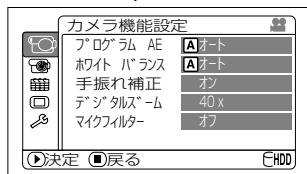
- 対面撮影時の液晶モニターの映像は、鏡のように左右反対に表示されます。
- 対面撮影時でもマニュアルフォーカスや露出、画面表示モードを切り替えることはできますが、画面には表示されません。
- プログラム AE をローライトモードに設定して対面撮影状態にすると、液晶モニターは白く点灯します（☞ P.64）。

メニューの流れを確認する

カメラの画像が表示されているときに、メニューボタンを押すと通常メニューが表示されます。かんたんメニューボタンを押すとかんたんメニューが表示されます。録画中、メニューは表示されません。

・通常メニュー：すべての項目を表示する使い慣れた方向けのメニュー
・かんたんメニュー：基本的な項目だけを表示する初心者向けのメニュー

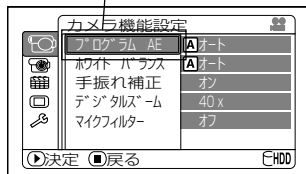
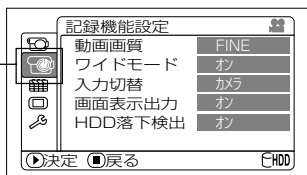
●メニュー操作

メニューのなかのいろいろな設定は、本機のカーソルキー を使って選択／決定することができます。項目を選択するときは、I◀◀／▶▶I／◀◀／▶▶ を押します。決定するときは、▶/II を押してください。

「メニュー」ボタンを押す＊

▶▶（右）を押す
または ▶/II を押す

◀◀（左）を押す
または
■（停止／キャンセル）ボタンを押す

選択が右に移動します。

カメラ機能設定
プログラム AE　オート
ホワイト バランス　オート
手振れ補正　オン
デジタルズーム　40 x
マイクフィルター　オフ
決定　戻る　HDD

▶▶I を押す（下）
I◀◀ を押す（上）

選択が下に移動します。

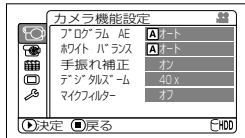
項目を決定するときは、▶/II を押してください。
ひとつ前の画面に戻るときは、■（停止／キャンセル）ボタンを押してください。
「メニュー」ボタンを押すと、メニュー画面は消えます。

＊「かんたんメニュー」ボタンを押したときは、「かんたんメニュー」の画面が表示されます。操作方法は、「メニュー」ボタンを押したときと同じです。

ご注意 • メニュー表示は、約 1 分間操作しないと消えます。

●通常メニューの流れ

（網掛け）の項目は、かんたんメニューのときにも表示される項目です。
内容の詳細については、各参照ページをご覧ください。

• カメラ機能設定（外部入力のときは、表示されません）

項目	参照
プログラム AE	(P.63)
ホワイトバランス	(P.65)
手振れ補正 *1	(P.66)
デジタルズーム	(P.56)
マイクフィルター *1	(P.67)
内蔵フラッシュ *2	(P.62)

• 記録機能設定

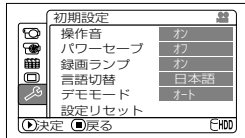
項目	参照
動画画質 *3	(P.68)
ワイドモード *4	(P.69)
入力切替	(P.71)
静止画外部入力 *5	(P.72)
セルフタイマー *6	(P.72)
画面表示出力 *7	(P.73)
HDD 落下検出 *8	(P.73)

• 日付機能設定

項目	参照
日付設定	(P.40)
表示モード	(P.40)

• LCD/EVF 設定

項目	参照
LCD/EVF 調節	(P.44)
EVF 表示	(P.44)

• 初期設定

項目	参照
操作音	(P.41)
パワーセーブ	(P.41)
録画ランプ	(P.43)
言語切替	(P.42)
デモモード	(P.43)
設定リセット	(P.42)

*1 HDD/DVDをご使用のときに表示されます。
*2 カードをご使用のときに表示されます（別売ビデオフラッシュが接続されているときは表示されません）。
*3 HDD/DVDをご使用のときに表示されます。カードをご使用のときは「静止画画質」が表示されます（P.71）。
*4 カードをご使用のとき、または外部入力のときは表示されません。
*5 カードをご使用のときで入力切替が「外部」または「S外部」のときに表示されます。
*6 カードをご使用のときに表示されます。
*7 入力切替が「カメラ」のときに表示されます。
*8 HDD をご使用のときに表示されます。

HDD RAM RW VR RW VF R +RW カード

ズームの操作

大きく撮る（デジタルズーム）

デジタルズームを設定して本機のズームレバーを「T側」に倒し続けると、途中から自動的にデジタルズーム（光学10倍を超えたところから）になります。240倍まで設定することができます。

W：広い範囲で撮れます（広角）

T：大きく撮れます（望遠）

1 「メニュー」ボタンを押してから、「カメラ機能設定」の「デジタルズーム」を選び、▶/IIを押す

2 設定したい倍率を選び、▶/II を押す

3 「メニュー」ボタンを押して終了する

ズームレバーを動かすと、デジタルズームバーが表示されます。

- デジタルズームの設定は、電源を切っても記憶されています。
- リモコンの「デジタルズーム」ボタンを押しても切り替えることができます。ボタンを押すたびにHDD/DVD使用時は「オフ」→「40x」→「240x」に、カード使用時は「オフ」↔「40x」に切り替わります。

ご注意
- カード使用時は、240倍の設定をしても最大40倍までのデジタルズームになります。
- ズーム操作をしたときに、一瞬ピントがずれることがあります。
- デジタルズームが加わると、画質が粗くなります。

至近距離からの撮影（接写）

小さい被写体を至近距離から撮影するときは、レンズ面に約2cmまで近づいて、画面いっぱいに拡大して撮影できます。

1 被写体に本機を向け、ズームレバーを「W」側いっぱいにする

- 接写をするときは光量不足になりがちです。画面が暗いときは、被写体に照明を当ててください。

ご注意
- ズームは使用できますが、被写体までの距離により、ピントが合わなくなることがあります。

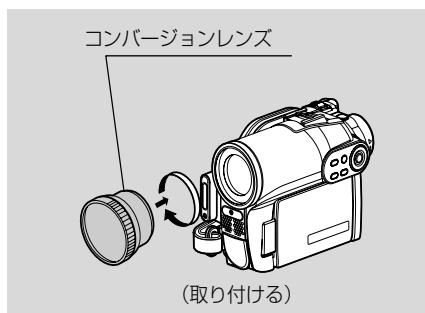
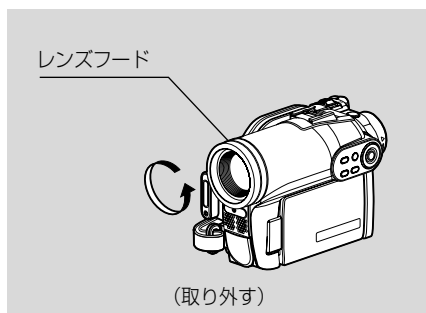
より広角に、より望遠で撮影する

別売のテレコンバージョンレンズ（DZ-TL1）やワイドコンバージョンレンズ（DZ-WL1）をお使いになると、より広角に、より望遠で撮影することができます。フィルター径は37 mm、ネジピッチは0.75 mmのものをご使用ください。

1 本機のレンズフードを外す

2 コンバージョンレンズのレンズキャップを外し、本機のフィルターネジに取り付ける

（取り外す）

（取り付ける）

- テレコンバージョンレンズ …………… より望遠で撮影するときにご使用ください。
- ワイドコンバージョンレンズ ………… より広角で撮影するときにご使用ください。

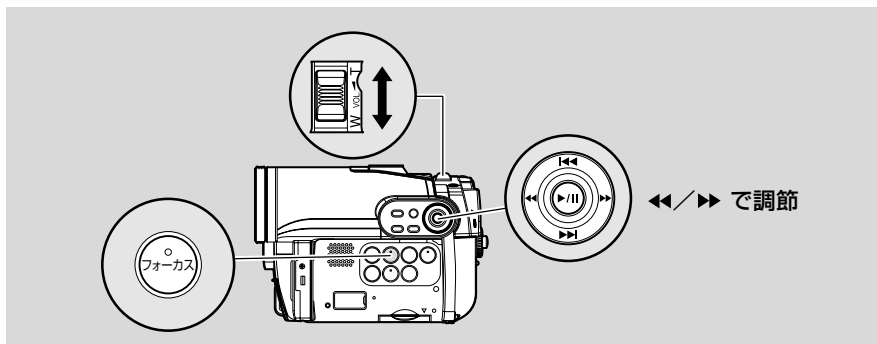
- 取り外したレンズフードは、紛失しないようにご注意ください。
- テレコンバージョンレンズ（DZ-TL1）を装着した場合は、T端（望遠側）のピントの合う範囲が約5mから無限遠の範囲になります。
- コンバージョンレンズを装着した場合は、ズームしたときにW側（広角側）で多少画面の四隅が暗くなることがあります。
- レンズを交換する際に、本機が落下しないようご注意ください。
- 市販のフィルターなどを取り付けたときには、取り外したレンズフードを取り付けないでください。
- コンバージョンレンズを装着すると､内蔵ビデオフラッシュは使用できなくなります。「フラッシュ」の設定は「オフ」にしてください（☞ P.62）。
- 市販のコンバージョンレンズは、メーカーによってご使用になれないものもあります。

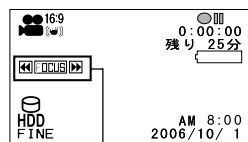
HDD RAM RW VR RW VF R +RW カード

ピントを手動で合わせる（マニュアルフォーカス）

通常は、ピントが自動で合うようになっています（オートフォーカス）。
撮影状況に応じて、ピントを手動で合わせることができます（マニュアルフォーカス）。

●ピントの合う範囲

- T 側（望遠側）では、レンズ面より約 1m から無限遠
- W 側（広角側）では、レンズ面より約 2cm から無限遠

1 撮影時に、「フォーカス」ボタンを押す

画面にフォーカスアイコンが表示されます。
「フォーカス」ボタンを押すたびに、「マニュアルフォーカス」と「オートフォーカス」が切り換わります。「オートフォーカス」のときは、画面には何も表示されません。

マニュアルフォーカスの表示

2 ズームレバーを「T」側に倒す

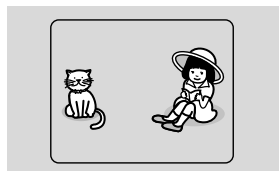
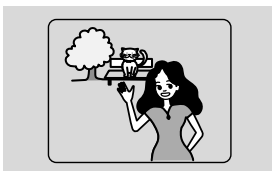
被写体を大きく写します。

3 ◀◀／▶▶ ボタンでピントを調整する

ビューファインダーや液晶モニターで映像を確認しながら調整してください。

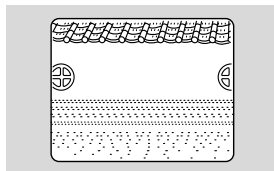
ご注意 • ピントを手動で合わせるときは、必ず被写体を大きく写してください。W 側のほうでピントを合わせると、T 側にしたときにピントがずれることがあります。

- マニュアルフォーカスの設定は、電源を切ると「オート」に戻ります。

オートフォーカス使用時に、次のようなときは、ピントが合わないことがありますので、手動でピントをあわせてください。

① 中央に被写体がないとき

② 遠くと近くの両方に被写体があるとき

③ ネオンサインやスポットライトなど、輝いたり、 強い光が反射するもの

④ 水滴や汚れの付いたガラス越しの被写体

⑤ 動きの速い被写体

⑥ 白い壁など明暗差がほとんどない被写体

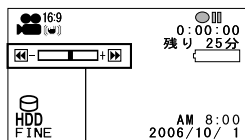
⑦ 暗い被写体

⑧ 夜景

撮影画像の明るさを調整する（露出）

通常は、自動で露出を調整するようになっています。撮影状況に応じて、手動で露出を調整することもできます。

1 **撮影時に、「露出」ボタンを押す**

画面に露出バーが表示されます。

露出バー

2 **◀◀／▶▶ ボタンで調整する**

ビューファインダーや液晶モニターで映像を確認しながら、調整してください。

ヒント

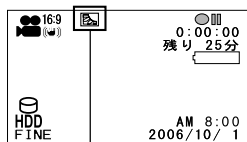
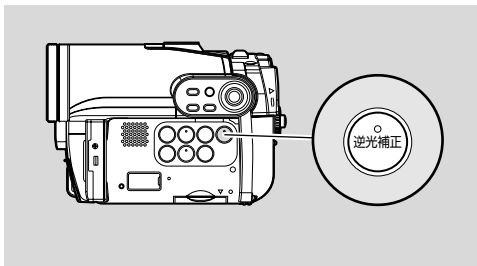
- 「露出」ボタンを押すたびに、手動調整と自動調整が切り替わります。自動調整のときは、画面には何も表示されません。
- 露出の設定は、電源を切ると自動調整に戻ります。

HDD RAM RW VR RW VF R +RW カード

逆光を補正する

逆光のとき、被写体が暗くならないように補正できます。

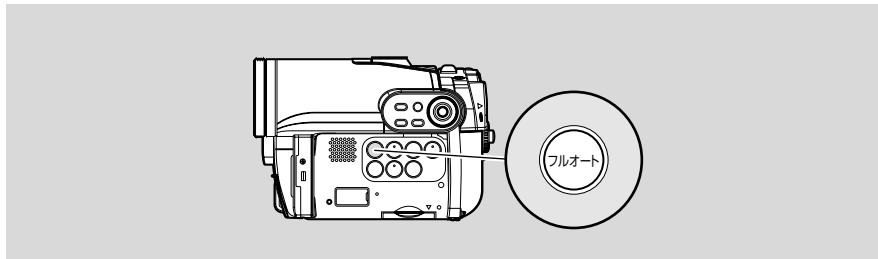
1 **撮影時に「逆光補正」ボタンを押す**

逆光補正アイコンが表示されます。

逆光補正アイコン

ヒント

- 「逆光補正」ボタンを押すたびに、オン／オフが切り替わります。
- 「逆光補正」の設定は、電源を切ると「オフ」に戻ります。

HDD RAM RW VR RW VF R +RW カード

オートに設定する（フルオート）

「フルオート」ボタンを押すと、カメラの設定をフルオートにします。

1 「フルオート」ボタンを押す

本機の画面表示に「フルオート」と数秒間表示され、以下の機能が初期値に設定されます。

機　能	初期値	参照ページ
逆光補正	オフ	P.60
フォーカス	オート	P.58
露　出	オート	P.59
プログラム AE	オート	P.63
ホワイトバランス	オート	P.65
手振れ補正	オン	P.66
マイクフィルター	オフ	P.67

ビデオフラッシュについて

●内蔵ビデオフラッシュ

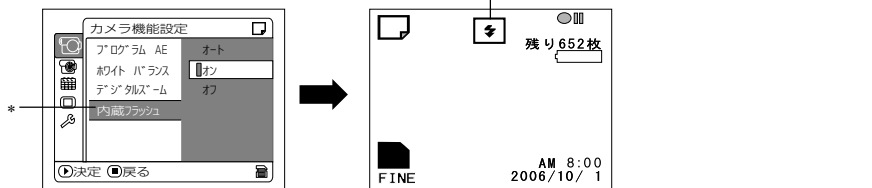
薄暗いところや逆光時の静止画撮影をするときは、自動的にフラッシュが発光したり、明るさにかかわらず常時フラッシュが発光するようにしたり、暗いところでもフラッシュを使わずに撮影することもできます。

設定	画面表示	発光方法
オート (AUTO)	フラッシュが必要な場面で「フォト／選択」ボタンを押すと ⚡	薄暗いところや逆光時に自動的に発光します
オン (ON)	⚡	明るさにかかわらず、常に発光します
オフ (OFF)	⚡(斜線)	発光しません

（　）内は別売ビデオフラッシュの設定

1 「メニュー」ボタンを押してから、「カメラ機能設定」の「内蔵フラッシュ」を選び、▶/IIを押す

2 内蔵フラッシュの設定を選び、▶/II を押して決定する

3 「メニュー」ボタンを押して終了する

＊ 電源スイッチが「SD」のときに表示されます（別売ビデオフラッシュが取り付けられているときは表示されません）。

●別売ビデオフラッシュ

本機では別売のビデオフラッシュ（DZ-FLH3）（☞ P.152）を使用して、静止画撮影をすることができます。使いかたは別売のビデオフラッシュの取扱説明書をご覧ください。

ヒント

- 内蔵ビデオフラッシュの設定は、電源を切っても変わりません。いつも決まった設定で撮影するのでなければ、「オン」や「オフ」に変更して撮影したあとは、「オート」に戻してから電源を切ることをおすすめします。
- 暗いところで撮影する場合は、シャッタースピードが遅くなるので、手振れにご注意ください。特にフラッシュを使わない場合は、手振れしやすくなります。
- ビデオフラッシュを使用しても薄暗いところでは、ピントが合わないことがあります。薄暗いところでの撮影には、ライトで被写体に光を当てることをおすすめします。
- 充電中は「⚡」が点滅します。
- 「⚡」表示の点滅中は撮影しても発光しません。

- コンバージョンレンズを装着しているときには、内蔵ビデオフラッシュを使用できません。「内蔵フラッシュ」の設定は「オフ」にしてください（P.62）。
- 内蔵ビデオフラッシュは、被写体によって異なりますが、適正な光量調整ができる距離は、約 1m ～ 2.5m 程度です。
- フラッシュは、発光時に自動的に光量の調整を行いますが、被写体までの距離が遠いときや近いときには、光量調整が十分にできないことがあります。
- フラッシュを使って連続して撮影すると、フラッシュが発光しなかったり、光量の調整ができないことがあります。フラッシュを使って撮影したあとは、しばらくたってから再び「フォト / 選択」ボタンを押して撮影することをおすすめします。
- 静止画を接写するときは、フラッシュは「オフ」に設定してください。被写体が近すぎると白とびするおそれがあります。
- ビデオフラッシュを人の目の前に近づけて使用しないでください。目の近くで発光させると視力障害を起こす危険があります。特に乳幼児を撮影するときには1m 以上離れてください。
- 自動車内の運転者に向けてビデオフラッシュを使用しないでください。運転者に向けてビデオフラッシュを使用すると目がくらみ事故を起こす原因になります。
- 可燃性、爆発性ガスのある場所でビデオフラッシュを使用しないでください。引火、爆発の原因になります。
- 別売のビデオフラッシュ（DZ-FLH3）を取りつけると内蔵フラッシュは動作しません。

HDD　RAM　RW VR　RW VF　R　+RW　カード

カメラ機能設定

始める前に

- 設定のしかたは、P.54をご覧ください。
- 外部入力のときは、表示されません。

状況に合った撮影モードを選ぶ（プログラム AE）

本機では、被写体と周囲の状況が自動で判別されて最適な映像が撮影されますが、状況に合った撮影モードを選ぶと、よりきれいに撮影できます。

1 「メニュー」ボタンを押してから、「カメラ機能設定」の「プログラム AE」を選び、▶/II を押す

2 設定したい撮影モードを選び、▶/II を押して決定する

3 「メニュー」ボタンを押して終了する

●撮影モード（☞ P.52）

A オートモード

被写体と周囲の状況が自動で判断され、最適な映像が撮影されます。

スポーツモード

ゴルフやテニスなど激しい動きを撮影するときに、被写体のブレを少なくします。

ポートレートモード

人物や生物などを撮影するときに、背景をぼかして、被写体を浮かび上がらせます。

スポットライトモード

結婚式や舞台など被写体に強い光が当たっているときに、人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。

サーフ&スノーモード

真夏の海辺やスキー場など照り返しが強い場所で、人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。

ローライトモード

暗いところで撮影するとき、少ない明かりでも撮影できます。

撮影時に液晶モニターを180°回転させて液晶モニターの明かりで撮影することができます（☞ 下欄参照）。

- 設定したモードは画面表示（☞ P.51）で確認できます。ただし「オート」のときは、何も表示されません。
- 設定した撮影モードは、電源を切っても記憶されています。

ご注意
- 暗いところで撮影するとき、動きがある被写体や手振れがある場合では、残像が出ます（本機を三脚などで固定することをおすすめします）。
- 蛍光灯などの下でスポーツモードを使用すると、画面がちらつくことがあります。その場合は、オートモードで撮影してください。

暗い場所を液晶モニターの明かりで撮る（アシストライト）

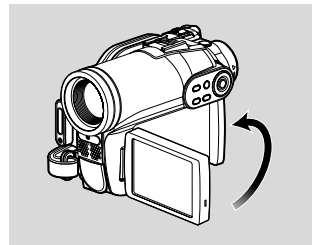
撮影モードがローライトモードのとき、液晶モニターの明かりで撮影することができます。

1 「メニュー」ボタンを押してから、「カメラ機能設定」の「プログラムAE」を選び、▶/II を押す

2 「ローライト」を選び、▶/II を押す

3 「メニュー」ボタンを押して終了する

4 液晶モニターを開き、180°回転させて前に向ける

液晶モニターが白く点灯します。

- 映像はビューファインダーで確認してください。
- 暗い場所でも約1 mの距離まで撮影できます。

ご注意
- 動きがある被写体や手振れがある場合では、残像が出ます（本機を三脚などで固定することをおすすめします）。
- ピントが合わせにくいときは、マニュアルフォーカスを選択して手動でピントを合わせてください（☞ P.58）。

色合いを調整する（ホワイトバランス）

通常は、自動で色の調整をします。撮影状況に応じて、ホワイトバランスの設定を変えてください。

モード	設定内容	画面表示
オート	ホワイトバランスが常に自動調整されます。	なし
セット	光源や状況に合わせて、手動で設定できます（☞ P.66）。	
屋外	晴天下での撮影のときに合わせます。	
屋内	白熱球やハロゲンランプ、電球色系蛍光灯などのもとでの撮影のときに合わせます。	
蛍光灯	蛍光灯のもとでの撮影のときに合わせます。	

1 **「メニュー」ボタンを押してから、「カメラ機能設定」の「ホワイトバランス」を選び、▶/II を押す**

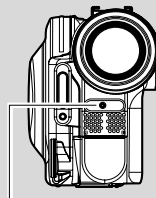
2 **モードを選んで、▶/II を押して決定する**

3 **「メニュー」ボタンを押して終了する**

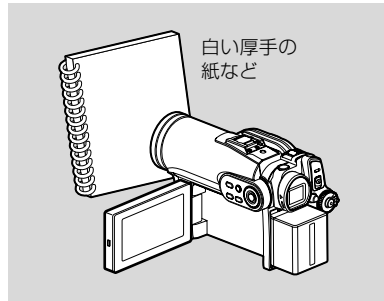
- ホワイトバランスのモードは、画面表示（☞ P.51）で確認できます。
- ホワイトバランスの設定は、電源を切っても記憶されています。

ご注意

- 赤外線センサーの前を手などでふさがないでください。
- テレコンバージョンレンズまたはワイドコンバージョンレンズをご使用の場合、撮影状況によっては、ホワイトバランスが動作しないことがあります。その場合は、撮影状況にあったモードに設定するか、手動でセットしてください。

- レンズキャップをつけたまま電源を入れると、ホワイトバランスが正しく働きません。必ず、レンズキャップを外してから電源を入れてください。

●ホワイトバランスを手動で設定する

1 画面いっぱいに白い被写体を映す

被写体は裏が透けないものをお使いください。画面いっぱいに映し出すとき、ピントが合わない場合は「マニュアルフォーカス（☞ P.58)」で合わせてください。

2 「メニュー」ボタンを押してから、「カメラ機能設定」→「ホワイトバランス」→「セット」を選び、▶/II を押す

3 表示が点滅から点灯に変わるまで、▶/IIを押し続ける

表示が点灯に変わるとホワイトバランスの設定が完了します。

4 ■(停止／キャンセル）ボタンを押して終了する

ヒント

- 「セット」のホワイトバランスは、次に設定し直すまで記憶されます。

- 色がついた被写体を使って設定すると、正しい色合いを設定できません。
- 入力切替設定がカメラ以外の場合は、ホワイトバランスのセットモードは設定できません（☞ P.71）。
- 暗い場所などでは、「セット」の設定がうまくできないことがあります。また、デジタルズームバーがデジタルズーム領域（☞ P.56）にあるときは、ホワイトバランスがセットできません。この場合は、表示が点滅したままになります。明るいところでデジタルズームを「オフ」にして設定してください。
- 撮影条件が変わった場合は、色合いを正確に合わせるために、設定し直してください。
- 電源を切っても設定は記憶されますが、次に電源を入れたとき、表示が点滅したままになります。必要に応じて設定し直してください。

ぶれを少なくして撮る（手振れ補正）

ズーム（☞ P.56）で被写体を大きくして撮る場合でも、撮影した映像があまり振れないように自動で補正されます。

1 「メニュー」ボタンを押してから、「カメラ機能設定」の「手振れ補正」を選び、▶/II を押す

2 「オン」か「オフ」を選び、▶/II を押す

3 「メニュー」ボタンを押して終了する

- 手振れ補正が設定されているかどうかは、画面表示（☞ P.51）で確認できます。
- 手振れ補正の設定は、電源を切っても記憶されています。
- いつも「オフ」で撮影するのでなければ、撮影後は「オン」に戻してから電源を切ることをおすすめします。

ご注意
- 台の上に置いたり三脚を使用するときは、手振れ補正を「オフ」にすることをおすすめします。
- 手振れ補正が「オン」になっていると、実際の動きと画面の動きには若干の差が生じます。
- 手振れ補正が「オン」になっていても、手振れが大きすぎると補正されないことがありますので、本機を両手で支えて撮影することをおすすめします。
- テレコンバージョンレンズまたはワイドコンバージョンレンズをお使いのときは、手振れ補正が正しく動作しないことがあります。
- カード使用時には手振れ補正を設定できません。

大きな倍率で撮る（デジタルズーム）

デジタルズームの設定は P.56 をご覧ください。

風の音を低減させて撮る（マイクフィルター）

本機の内蔵マイクで録音するとき、風の音を低減させることができます。
「マイクフィルター」を「オン」にしておくと、撮影時にマイクに入る音のうち低域の部分がカットされるため、対象の音が聞き取りやすくなります。

1 **「メニュー」ボタンを押してから、「カメラ機能設定」の「マイクフィルター」を選び、▶/II を押す**

2 **「オン」を選び、▶/II を押す**

3 **「メニュー」ボタンを押して終了する**

- マイクフィルターが設定されていることは、画面表示（☞ P.51）でも確認できます。
- マイクフィルターの設定は、電源を切っても記憶されています。

ご注意
- マイクフィルターは、HDD/DVD 使用時のみ働きます。
- マイクフィルターは、内蔵マイクのみ働きます。
- 外部マイクをご使用のときは働きません（☞ P.74）。

記録機能設定

HDD RAM RW VR RW VF R +RW

動画の画質を切り替える（動画画質）

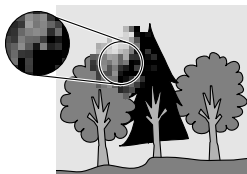
本機では、動画の記録画質を切り替えることができます。
大切な映像は「XTRA」か「FINE」で録画することをおすすめします。

1 「メニュー」ボタンを押してから、「記録機能設定」の「動画画質」を選び、▶/II を押す

2 設定したい画質を選び、▶/II を押して決定する

3 「メニュー」ボタンを押して終了する

ヒント

- 動画画質の設定は、電源を切っても記憶されています。
- 下記のような撮影条件のときには、記録した映像にブロック状のノイズや被写体の輪郭にゆがみが出ますのでカメラはできるだけゆっくりと動かすようにしてください(特に「STD」での撮影では出やすくなります)。
  - ・ 背景に複雑な絵柄（樹木やフェンスなど）がある場合（下図左）。
  - ・ 本機を大きくまたは速く動かした場合。
  - ・ 本機を動かさなくても被写体が著しく動いている場合。

（ブロック状のノイズが発生しやすい景色）

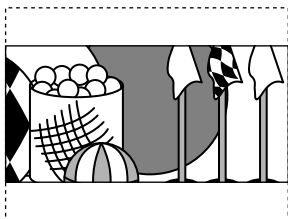
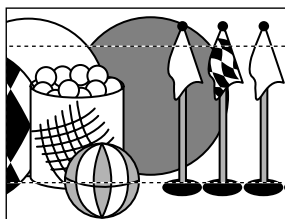
（ブロック状のノイズが発生しにくい景色）

ご注意
- 動画画質の設定は、DVD を入れ替えても変わりません。
- DVD-RW（VF モード）／DVD-Rをお使いのときは、DVDの途中で動画画質の設定を切り替えることはできません。最初に録画した動画画質での録画になります。
- 動画画質の設定は、動画の録画のみ有効です。静止画の撮影では、表示されません。
- DVD-RW（VF モード）／DVD-R／+RW をお使いの場合、動画画質「STD」とワイドモード「オン」を組み合わせて設定することはできません（☞ P.89）。ワイドモード「オン」のときに、動画画質を「XTRA」もしくは「FINE」から、「STD」に変更しようとすると、自動的に画面が 4 ： 3 表示に切り替わります。

HDD RAM RW VR RW VF R +RW

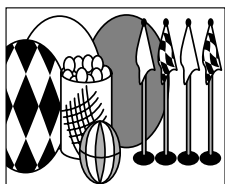
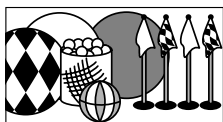
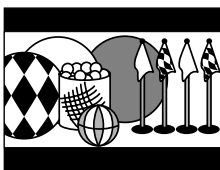
ワイドテレビに対応した映像を撮る（ワイドモード）

ワイドテレビ（画面比率 16：9）でご覧になるときは、ワイドモードを「オン」にすると、画面比率を変えて撮影することができます（「オフ」時の画面比率は４：３）。
液晶モニターもしくはビューファインダーに映し出される映像をワイドモード「オン」のときと「オフ」のときで比較すると下図のようになります。

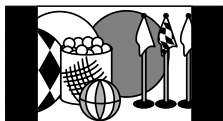
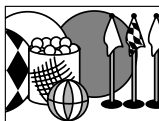
ワイドモード「オン」
（画面比率 16：9）

ワイドモード「オフ」
（画面比率４：３）

1 「メニュー」ボタンを押してから、「記録機能設定」の「ワイドモード」を選び、▶/II を押す

2 「オン」を選び、▶/II を押す

3 「メニュー」ボタンを押して終了する

ワイドテレビ以外のテレビでご覧になる場合は、ワイドモード「オフ」で撮影してください。「オン」で撮影すると、映像が縦長に記録されます。

「オン」で撮影した映像は、以下のように表示されます。

液晶モニターでの表示

ビューファインダーでの表示

「オフ」で撮影した映像は、以下のように表示されます。

液晶モニターでの表示

ビューファインダーでの表示

ヒント

- ワイドモードの設定は、電源を切っても記憶されています。

ご注意

- 外部入力、S 外部入力には対応していません。
- DVD-RW（VF モード）／DVD-R／+RW をお使いの場合、動画画質「STD」とワイドモード「オン」を組み合わせて設定することはできません（P.89）。ワイドモード「オン」のときに、動画画質を「XTRA」もしくは「FINE」から、「STD」に変更しようとすると、自動的に画面が 4 ： 3 表示（ワイドモード「オフ」）に切り替わります。
- DVD-RW（VF モード）／DVD-R を使ってワイドモード「オン」で記録した後は、外部入力または S 外部入力に切り替えできません。
- DVD-RW（VF モード）／DVD-R をお使いのときは、DVD の途中でワイドモード／ノーマルモードの設定は切り替えられません。
- ワイドモード「オン」で撮影した映像は、ワイドモード設定にかかわらず記録したモードで再生されます。
- ID-1/ID-2* には対応していません。
- S1 または S2 入力端子に接続した場合は、自動的にテレビがワイドモードに切り替わります。詳しくはご使用のテレビの取扱説明書をご覧ください。
- ビデオセレクターをご使用の場合、自動的にテレビがワイドモードに切り替わらないことがあります。
- 静止画を撮影するときは、ワイドモードの設定にかかわらず、画面比率４：３の表示になります。
- ワイドモードで撮影した DVD の入った本機を、４：３表示のみ対応のテレビに接続して再生すると、縦長の映像が表示されます。このような場合には、ＴＶ接続設定（P.118）を「４：３」に設定して映像をご覧ください。
- ワイドモードで撮影した＋ＲＷをＤＶＤプレーヤーなどで再生すると、ワイドテレビでも縦長の映像で表示される場合があります。このような場合には、ＤＶＤプレーヤー側の設定を変えるか、ＴＶ接続設定（P.118）を「４：３」に設定して映像をご覧ください。

* 画面の縦横比（16：9、４：3）をビデオ信号のすきまに記録するシステムです。

カード

静止画の画質を切り替える（静止画画質）

静止画の記録画質を切り替えることができます。
大切な画像は「FINE」で撮影することをおすすめします（☞ P.173「静止画のサイズと画質について」）。

1 「メニュー」ボタンを押してから、「記録機能設定」の「静止画画質」を選び、▶/II を押す

2 設定したい画質を選び、▶/II を押して決定する

3 「メニュー」ボタンを押して終了する

ヒント

- 静止画画質の設定は、電源を切っても記憶されています。

HDD RAM RW VR RW VF R +RW カード

他の機器から映像を入力する（入力切替）

他の機器からの映像を本機に入力するときは、本機の設定を切り替えます。
他の機器との接続方法や、他の機器からの映像を録画する方法は、P.123 からの説明を参照してください。

設　定	設定内容	画面表示
カメラ	通常はこちらに合わせます。	なし
外部	他の機器からの映像を入力するときに合わせます。	入力
S 外部	他の機器からの映像を S 入力するときに合わせます。	S 入力

1 「メニュー」ボタンを押してから、「記録機能設定」の「入力切替」を選び、▶/II を押す

2 設定したい入力モードを選び、▶/IIを押して決定する

ヒント

- 入力切替の設定は、電源を切ると「カメラ」に戻ります。

カード

外部入力映像の記録画質を切り替える（静止画外部入力）

カードをお使いで入力切替が外部の場合、外部入力の映像を静止画に撮ることができます。静止画を撮るときの記録画質を2通りに切り替えられます。
動きの少ない映像は「フレーム」で撮ることもできますが、動きのある映像を撮るときは「フィールド」をおすすめします。

記録方式	設定内容	画面表示
フレーム	高画質ですが、動きの多い画像の録画には適しません。画面にぶれが生じやすくなります。動きの少ない画像の記録に適しています。	
フィールド	画面のぶれは比較的少なく、動きの多い画像の記録に適しています。	

1 「メニュー」ボタンを押してから、「記録機能設定」の「静止画外部入力」を選び、▶/II を押す

2 設定したい記録方式を選び、▶/IIを押して決定する

ヒント

- 外部入力映像の静止画の記録画質は、画面表示（☞ P.51）で確認できます。
- 静止画外部入力の設定は、電源を切っても記憶されています。
- 他の機器との接続のしかたは、P.123「他のビデオ機器を使って録画（ダビング）する」をご覧ください。

カード

セルフタイマー

一般のカメラと同じようにセルフタイマーで撮影することもできます。
カードをご使用のときのみ有効です。

1 「メニュー」ボタンを押してから、「記録機能設定」の「セルフタイマー」を選び、▶/II を押す

2 「オン」を選び、▶/IIを押して決定する
「セルフタイマー」が設定されます。

3 「メニュー」ボタンを押して終了する

4 「フォト / 選択」ボタンを押す
本機の前面にある録画ランプが点滅します。
セルフタイマーの表示がカウントダウンして、約10秒後に静止画を撮影します。

ヒント

- セルフタイマーが設定されていることは、画面表示（☞ P.51）でも確認できます。
- セルフタイマーを解除したい場合は、設定を「オフ」にするか、一度電源を切ってください。
- セルフタイマーを中断する場合は、記録される前に、もう一度「フォト / 選択」ボタンを押すか、■（停止／キャンセル）ボタンを押してください。

HDD RAM RW VR RW VF R +RW カード

画面表示出力

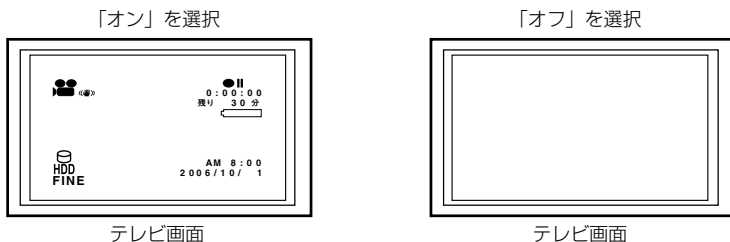
本機をテレビにつないで見るときは、ビューファインダーや液晶モニターに表示される画面表示をテレビに表示しないようにできます（☞ P.120）。

1 **「メニュー」ボタンを押してから、「記録機能設定」の「画面表示出力」を選び、▶/II を押す**

2 **「オン」か「オフ」を選び、▶/IIを押して決定する**

「オン」を選択

テレビ画面

「オフ」を選択

テレビ画面

ヒント

- 画面表示出力の設定は、電源を切っても記憶されています。
- 「オフ」に設定しても、再生時の画面表示は表示されます。再生時の画面表示についてはP.83をご覧ください。
- 画面表示はテレビ画面に表示されなくても、ビューファインダーや液晶モニターには表示されます。

- 画面表示出力は入力切替がカメラのときのみ有効です。
外部入力のときは設定できません。

HDD

HDD落下検出

通常は「オン」に設定してあります。
スカイダイビングのような無重力状態で本機のＨＤＤを使用する場合、落下検出機能が働き、本機ＨＤＤの保護のため、録画や再生が停止します。そのような場合には、落下検出を「オフ」に設定すると録画や再生が停止することがありません。

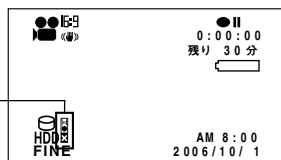
1 **「メニュー」ボタンを押してから、「記録機能設定」の「HDD落下検出」を選び、▶/IIを押す**

2 **「オン」か「オフ」を選び、▶/IIを押して決定する**

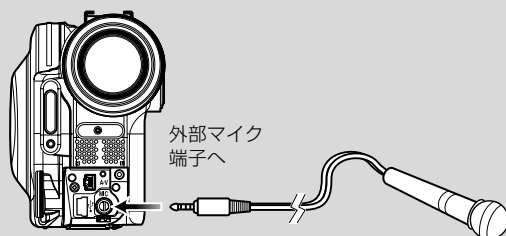
ヒント

- HDD落下検出の設定は、電源を切ると「オン」に戻ります。

（HDD落下検出「オフ」のとき）

HDD RAM RW VR RW VF R +RW

外部マイクを使う

市販の外部マイクを接続して録画すると、よりクリアな音声で録画できます。市販の外部マイクを、本機の外部マイク接続端子に接続します。外部マイクのスイッチを入れてから録画を開始してください。

使用できる外部マイクについては「主な仕様」（P.170）を参照してください。

- ご使用の外部マイクのプラグの形状によってはAV／S入出力ケーブルをAV／S入出力端子に差したままではご使用できない場合があります。
  そのような場合には、AV／S入出力ケーブルを抜いて外部マイクをご使用してください。
- プラグインパワータイプ（カメラから電源を供給するタイプ）のマイクはご使用できません。
- 外部マイクを接続したときは、内蔵マイクは動作しません。

HDD RAM RW VR RW VF R +RW カード

ディスクナビゲーション機能を使う

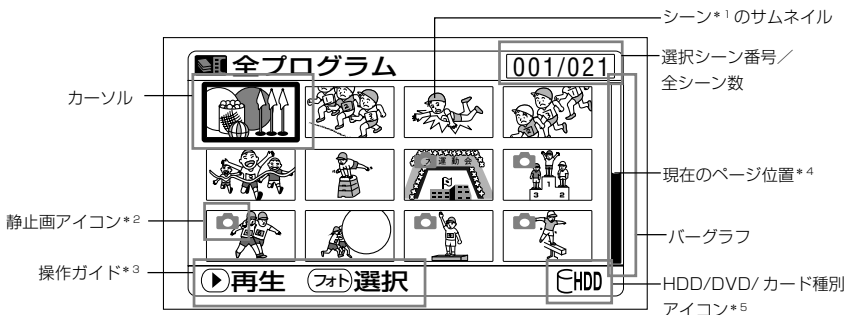
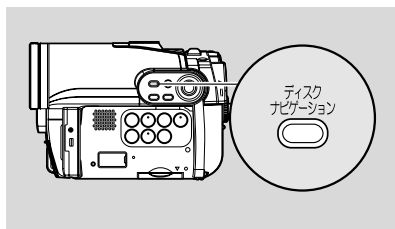
ディスクナビゲーションは、本機で撮影したシーンを再生・編集するための機能です。
ここでは、ディスクナビゲーション機能を活用するために、シーンやプログラムについて説明します。
なお、説明内の画面は、基本的にHDDを使用したときの画面を使っています。DVDやカードをお使いのときは表示されない項目もありますが、操作には変わりありません。

始める前に

- カメラの電源を入れてください（P.38）。
  HDDをお使いの場合 ………………「HDD」
  DVDをお使いの場合 ………………「DVD」
  カードをお使いの場合 ………………「SD」

ディスクナビゲーションを起動、終了する

1 **電源スイッチを合わせる**

2 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**
ディスクナビゲーションボタンを押すと、下記のような画面（ディスクナビゲーション画面）が表示されます。

＊1： シーンとは下記のことを指します。
動画の場合…「録画」ボタンを押して記録を開始して、もう一度「録画」ボタンを押して記録を停止するまでの映像。
静止画の場合…「フォト／選択」ボタンを押して記録した1枚の画像。

＊2： 本機以前に発売された日立製DVDカメラでDVD-RAMに撮影した静止画で表示されるアイコンです。本機ではDVD-RAMに静止画を撮影できません。

＊3： 操作ガイドは、そのときの操作状況により変わります。

＊4： 13シーン以上あるときに表示されます。

＊5： DVDをご使用のときにはご使用中のDVDの種類に応じたアイコンが表示されます。カードをご使用のときにはが表示されます。

サムネイルに表示されるアイコンの種別

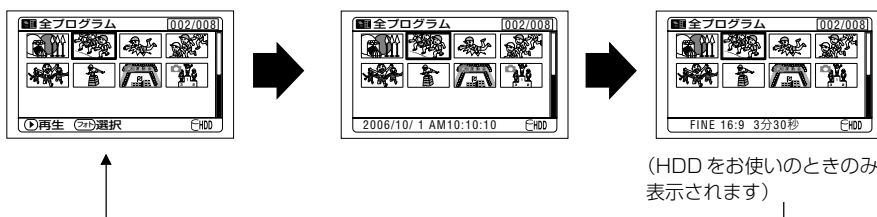
- ▶ … スキップ（☞ P.94）
- ◢ …… フェードイン（☞ P.93）
- ◣ …… フェードアウト（☞ P.93）
- 🔒 …… ロック（☞ P.97）

3 もう一度、「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

ディスクナビゲーションを終了して、記録一時停止状態になります。

■（停止／キャンセル）ボタンを押しても終了します。

ヒント

- 画面表示ボタンを押すごとに、カーソルのあるシーンの撮影日時、シーンの記録情報（動画画質、ワイドモードの設定、録画時間）、操作ガイドの順で表示されます。

- DVD-RW（VFモード）／DVD-R／+RWをご使用の場合は、ディスクナビゲーションを起動するたびに「サムネイル準備中です。」とメッセージが表示されてから、ディスクナビゲーション画面が表示されます。
- 以下のようなときは、自動的にディスクナビゲーション画面が表示されます。
  - HDD ／ DVD がプロテクトされている
  - ファイナライズ済のDVD-RW（VFモード）／DVD-R／+RWが本機に入っている
  - 本機以外の日立製 DVD カメラで記録されたファイナライズされていない DVD-RW（VF モード）／DVD-R が本機に入っている
  - ロックされたカードが本機に入っている
- ディスクナビゲーション画面を接続したテレビ画面に表示させたままにしないでください。テレビ画面に焼き付きなどの損傷を与える場合があります。

ディスクナビゲーション画面から再生する

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

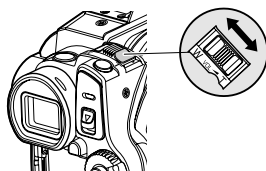
2 見たいシーンにカーソルを合わせる
⏮／⏭／◀◀／▶▶ を押して合わせてください。

3 ▶/II を押す
選んだシーンから再生が始まります。

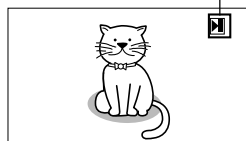
ヒント

- ◀◀／▶▶ を押すと、カーソルが 1 画面ずつ移動します。
  ⏮／⏭ を押すと、上下に移動したり、前後のページに移動したりします。

再生中に音量の調節をする

動画の再生中は、スピーカーから再生中の音声を聞くことができます。音量は、ズームレバーで調節してください。T 側に倒すと音量が上がり、W 側に倒すと音量が下がります。

●再生が終わると・・・

最後のシーンの最後の場面で再生一時停止状態になります。
■(停止／キャンセル)ボタンかディスクナビゲーションボタンを押すと、ディスクナビゲーション画面に戻ります。
再生一時停止状態が約５分続くと、自動的にディスクナビゲーション画面に戻ります。

再生一時停止

●静止画の再生

DVD の場合、静止画は約 3 秒間表示されます。カードの場合は 1 枚ごとに停止します。

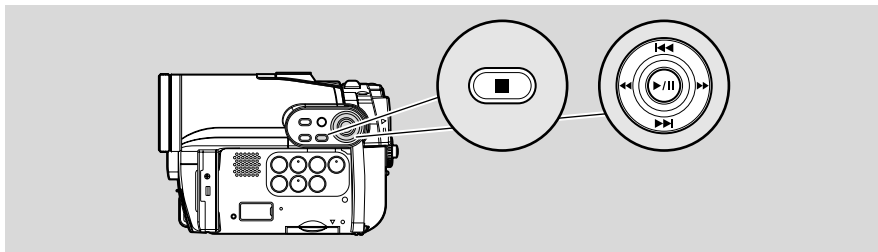
ヒント

- 再生を一時停止させるときは、▶/II を押します。
  もう一度 ▶/II を押すと、そこから再生が始まります。
- 最後のシーンの再生が終わったあと ▶/II を押すと、先頭から再生します。
- ■(停止／キャンセル) ボタンを押せば、いつでもディスクナビゲーション画面に戻れます。
- カード再生では“再生を開始します。”と表示され、画素数の大きな静止画を再生すると、静止画が表示されるまで時間がかかります。

HDD RAM RW VR RW VF R +RW カード

最後に撮影したシーンを再生する

始める前に

- DVDやカードのシーンを再生する場合は、本機で録画したDVDまたはカードを入れてください（☞ P.48、49）。
- 電源を入れてください（☞ P.38）。

1 **記録一時停止状態のときに ▶/II を押す**

最後に撮影したシーンが再生されます（「シーン」については、P.75を参照してください）。
再生が終わると、最後の場面で再生一時停止状態になります。
最後の場面で再生一時停止状態が約5分続くと、自動的に記録一時停止状態に戻ります。

2 **■（停止／キャンセル）ボタンを押す**

再生を停止します。
記録一時停止状態に戻ります。

- 再生を一時停止するときは、▶/II を押します。もう一度押すと、再生に戻ります。
- 再生を途中で止めて撮影をしても、最後のシーンのあとに記録します（上書きしてしまうことはありません）。

ご注意

- パソコンなどで編集した画像データや画像データの種類によっては、記録した画像が表示されなかったり、記録した音声が再生されなかったりすることがあります。
- 他のDVDカメラやDVDレコーダーで録画した画像データは、本機で再生されない場合があります。
- 再生するデータのサイズによっては、再生画像を表示するまでに時間がかかる場合があります。
- アクセスランプが点灯または点滅しているときに、電源操作やカードの取り出しなどをした場合、カードの破損やカード内のデータが破壊されることがあります。
- 本機の温度が高くなりすぎた場合、正常に再生できないことがあります。電源を切って、しばらくたってからお使いください。

HDD RAM RW VR +RW カード

最後に撮影したシーンを削除する

1 **再生中に「メニュー」ボタンを押す**

2 **「編集」→「シーン削除」を選び、▶/II を押す**
「シーンを削除しますか？」と確認画面が表示されます。

3 **「はい」を選び、▶/II を押す**
最後に記録したシーンが削除され、記録一時停止状態に戻ります。

ヒント

- ディスクナビゲーションから再生したときに「メニュー」ボタンを押した場合、「シーン削除」は表示されません。

HDD RAM RW VR RW VF R +RW

動画から静止画を切り出す（静止画キャプチャー）

再生中の動画の一場面を、静止画としてカードに保存します。

1 **再生中に、切り出したい場面で「メニュー」ボタンを押す**

2 **「編集」→「静止画キャプチャー」を選び、▶/II を押す**
「この画像を静止画としてカードに記録しますか？」と確認画面が表示されます。

3 **「はい」を選び、▶/II を押す**
場面がカードに記録されます。

ヒント

- 手順 1 で、切り出したい場面が表示されているときに「フォト / 選択」ボタンを押しても確認画面が表示されます。「はい」を選んで、▶/IIを押すとカードに記録されます。
- 切り出した静止画を本機で再生すると、下記のように表示されます。

ワイドモード「オン」で録画した動画を切り出したとき
（画素数：640 × 360 画素）

ワイドモード「オフ」で録画した動画を切り出したとき
（画素数：640 × 480 画素）

HDD RAM RW VR RW VF R +RW

動画のサーチ再生

再生中に ▶▶ または ◀◀ を押し続けると、サーチ再生をします。
▶▶ を押し続ける ……… 早送り再生します。
◀◀ を押し続ける ……… 早戻し再生します。
見たい場面になったら、◀◀／▶▶ から手を離してください。
そこから通常の再生になります。

HDD RAM RW VR RW VF R +RW

動画のコマ送り／コマ戻し／スロー再生

再生中、▶/II を押して再生一時停止状態にします。
◀◀／▶▶ を押すと、コマ送り／コマ戻し／スロー再生をします。
▶▶ を 1 回押す ………… 映像がひとコマ進みます。
◀◀ を 1 回押す ………… 映像がひとコマ戻ります。
▶▶ を押し続ける ……… 正方向にスロー再生します。
◀◀ を押し続ける ……… 逆方向にスロー再生します。
コマ送り／コマ戻し／スロー再生をしたあとは、再生一時停止状態になります。

ご注意

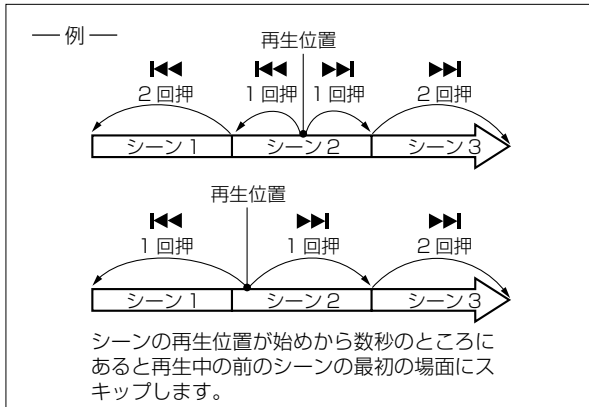
- スロー再生では、動きの激しい被写体の画像がブレることがあります。
- コマ送り／コマ戻し／スロー再生の間隔は以下のようになっています。
  正方向コマ送りとスロー：約 0.03 秒ごと
  逆方向コマ送りとスロー：約 0.5 秒ごと
- サーチ再生／スロー再生中は、音声は出ません。

HDD RAM RW VR RW VF R +RW

動画のスキップ再生

再生中に ⏮／⏭ を押すと、シーンのスキップ再生をします。

⏭ を 1 回押す …………… 再生中のシーンの次のシーンの先頭にスキップして、再生します。

⏮ を 1 回押す …………… 再生中のシーンの先頭に戻って再生します。

⏭ を押し続ける ………… 再生中の次のシーンから、連続頭出しが始まります。見たい場面が表示されたら、 ⏭ から手を離してください。再生が始まります。

⏮ を押し続ける ………… 再生中の前のシーンから逆方向に、連続頭出しが始まります。見たい場面が表示されたら、 ⏮ から手を離してください。再生が始まります。

ヒント

- 本機の内部が高温になると正常に動作しないことがあります。一度電源を切り、しばらく待ってから再度電源を入れて操作してください。

ご注意
- 再生一時停止中にスキップ再生すると、スキップしたシーンで再生一時停止状態になります。
- 最後のシーンで下に動かすと、最後の場面で再生一時停止状態になります。

RAM カード

静止画の再生

再生中、⏮／⏭ を押すと、スキップ再生します。

⏭ を 1 回押す …………… 順番に 1 画面ずつ表示します。

⏮ を 1 回押す …………… 1 画面ずつ戻って表示します。

［DVD をお使いのとき（本機で DVD に静止画を録画することはできません）］

⏮／⏭ から手を離したところから、連続再生します。

［カードをお使いのとき］

⏮／⏭ から手を離したところの画像が表示され、再生一時停止状態になります。

連続表示させたい場合は、スライドショーをお使いください（☞ P.119）。

HDD RAM RW VR RW VF R +RW カード

指定した場面へジャンプする（ジャンプ）

1 **再生中に「メニュー」ボタンを押す**

2 **ジャンプしたい項目を選び、▶/IIを押して決定する**

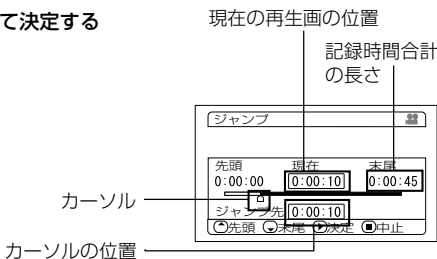
先頭：　先頭にジャンプして、再生一時停止します。

末尾：　最後のシーンの末尾にジャンプして、再生一時停止します。

指定：　任意の場面にジャンプして、再生一時停止します。詳細は下記を参照してください。

●ジャンプ先を指定する

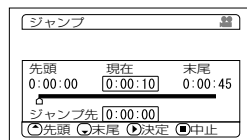
1 **上の手順 2 で「指定」を選び、▶/IIを押して決定する**

ジャンプ先指定の画面が表示されます。

2 **I◀◀／▶▶I／◀◀／▶▶ で任意の時間を選ぶ**

I◀◀ を押す　… 先頭を選択します。

▶▶I を押す　… 最後のシーンの末尾を選択します。

◀◀／▶▶　………・1 回押す　：10秒(カードは1枚) 単位でカーソルを移動します。

・押し続ける　：1分(カードは10枚) 単位でカーソルを移動します。

（シーンの先頭を選択した場合）

3 **▶/II を押して決定する**

指定した位置にジャンプして、再生一時停止します。

▶/II をもう 1 回押すと、再生を開始します。

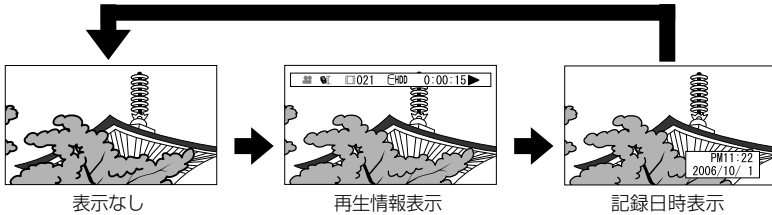
ヒント

- ディスクナビゲーション機能や「フォト/選択」ボタンを使って複数シーンを選択している場合は、「先頭」と選んだとき、選択しているシーンの先頭へジャンプします（☞ P.111）。
- 複数シーンを選択している場合は、「記録時間合計」の長さは、選択したシーンの合計時間の長さが表示されます。
- 途中でやめたい場合は、ジャンプする前に■(停止／キャンセル) ボタンを押してください。
- カードの場合は、先頭、現在、末尾、ジャンプ先の表示部に枚数が表示されます。

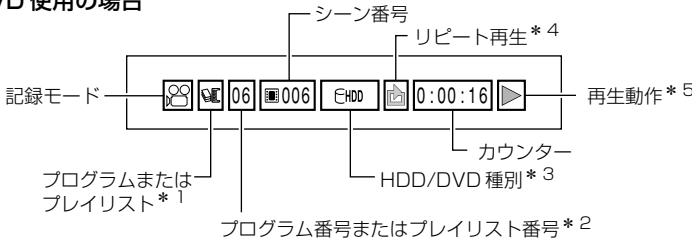
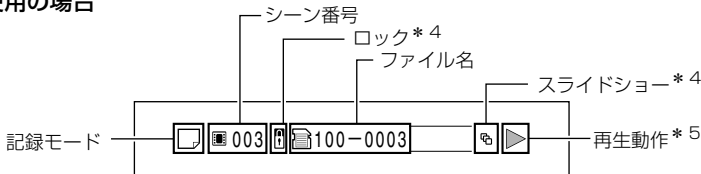
ご注意 • カーソルの位置は目安です。カーソルは同じ間隔で移動しない場合があります。

HDD RAM RW VR RW VF R +RW カード

再生時の画面表示について

再生する映像に重なって、いろいろな情報が表示されます。
「画面表示」ボタンを押すごとに、下記のように切り替わります。

●画面表示モード

再生情報表示：再生中の状態を表示します。

HDD/DVD 使用の場合

カード使用の場合

＊1　：プログラムまたは　：プレイリスト
＊2　再生中のプログラムやプレイリスト番号（全プログラムを再生中は表示されません）
＊3　P.52 の HDD/DVD/ カード種別を参照ください。
＊4　設定されているときに表示されます（ P.97、118、119）。
＊5　▶　：再生中　　：再生一時停止中　　：正方向サーチ再生中
　　：逆方向サーチ再生中　　：正方向スキップ再生中　　：逆方向スキップ再生中
　　：正方向コマ送り再生中　　：逆方向コマ送り再生中　　：正方向スロー再生中
　　：逆方向スロー再生中
操作のしかたは P.78 ～ 81 を参照してください。
最初の場面では　マークが表示されます。
最後の場面では　マークが表示されます。

・ 記録日時表示：記録始めの日時が表示されます。再生しても、日時表示は進みません。
・ 表示なし： 再生中の画面には何も表示されません。ただし、再生動作を切り替えたときは、再生動作のマークが約３秒間表示されます。

ヒント

- プログラムについてはP.100～P.103、プレイリストについてはP.104～P.111を参照してください。

複数のシーンを選ぶ

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **選択したいシーンにカーソルを合わせる**

3 **「フォト / 選択」ボタンを押す**

選択されたシーンには、赤色のワクが表示されます。
手順2、3を繰り返して、複数のシーンを選ぶことができます。

連続するシーンをまとめて選ぶ

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **選択したい範囲の先頭シーンにカーソルを合わせる**

3 **「フォト / 選択」ボタンを１秒以上押しつづける**

選んだシーンに黄色と青色の二重ワクが表示されます。

4 **選択したい範囲の最後のシーンにカーソルを合わせて、▶/II を押す**

範囲指定したシーンに赤いワクが表示され、選択されます。

ヒント

- シーンを選び、赤いワクが表示されているときに ▶/II を押すと、選んだシーンだけ再生します。
- 選んだシーンを解除したいときは、解除したいシーンを選び「フォト/選択」ボタンを押してください。
  選んだシーンをすべて解除したいときは、■(停止／キャンセル)ボタンを押してください。
- カーソルの色とバーグラフの色で、シーンの状態が分かります。

カーソル	バーグラフ	シーンの状態
黄	水色	現在位置
青	水色	範囲選択中
赤	黄	選択済

- 選択しようとしている範囲の最後のシーンから、逆方向に範囲を選ぶこともできます。
- 手順4で決定する前に ■(停止／キャンセル) ボタン、または「フォト / 選択」ボタンを押すと、操作を中止します。

- 選択できるシーンは、最大999シーンです。

ディスクナビゲーションでできること

ディスクナビゲーションを使うと、さらに多彩な操作が可能です。

できること	HDD	RAM	RW (VR)	RW (VF)	R	+RW	カード	内　容	参照ページ
シーンの編集	●	●	●				▲*1	いらないシーンを削除したり、シーンとシーンの結合やひとつのシーンを分割することができます。	P.90〜P.93
シーンの効果設定	●	●	●					シーンにフェードやスキップを設定したり、サムネイルを変更することができます。	P.93〜P.95
ディスクからカードへのコピー		●						DVD-RAMに記録されている静止画をカードにコピーできます。	P.96
シーンのロック							●	誤ってシーンを削除したりしないように、各シーンをロックできます。	P.97
シーンの情報表示	●	●	●	●	●	●	●	1つのシーン、または複数のシーンの画質や記録時間などの情報を表示します。	P.98
タイトル変更	●	●	●					プレイリストやプログラムのタイトルを変更できます。	P.101 P.110
プレイリストの作成	●	●	●					シーンの組合わせを替えて、オリジナルムービーが作成できます。	P.104
初期化	●	●	●	●		●	●	HDD/DVD/カードに記録したデータをすべて削除できます。	P.112
プロテクト	●	●	●					誤ってシーンを削除したり初期化したりしないように、プロテクトをかけることができます。	P.113
残量表示	●	●	●	●	●	●	●	あとどのくらいの時間または枚数が撮影可能かを表示します。	P.113
DVDのファイナライズ			●*2	●	●	●		本機で撮影したDVD-RW／DVD-R／+RWをDVDプレーヤーなどでご覧になるために、DVD-RW／DVD-R／+RWをファイナライズします。	P.116
DVDのファイナライズ解除				●		●		本機でファイナライズしたDVD-RW（VFモード）／+RWのファイナライズを解除し、追加記録ができるようにします。	P.117
リピート再生	●	●	●	●	●	●		プログラムやシーンの繰り返し再生ができます。	P.118
スライドショー							●	静止画の連続再生ができます。	P.119

＊1 削除のみできます。
＊2 DVD-RW（VRモード）は、ファイナライズ後、そのまま追加記録ができます。

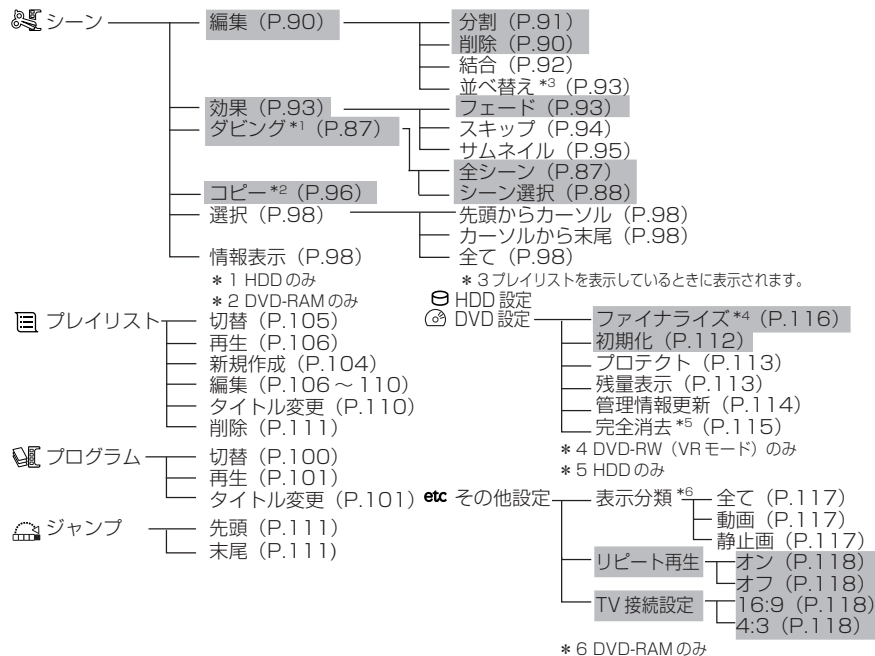
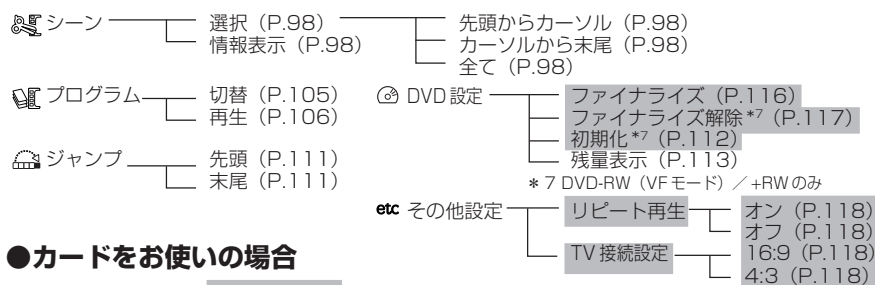
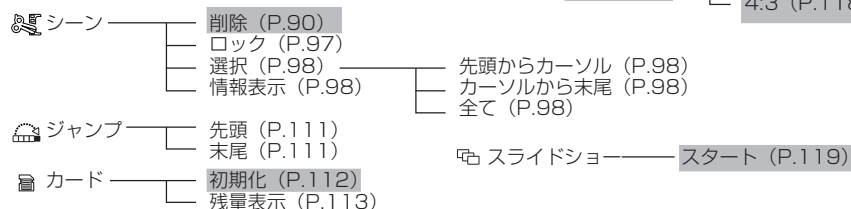
- シーンの編集・効果設定は、本機のオリジナル機能です。本機で設定したDVDを直接DVDレコーダー／プレーヤーで再生した場合や、パソコンに取り込む場合、設定結果は反映されません。そのような場合は、P.124のようにAV/S入出力ケーブルを接続して録画（ダビング）してください。

ディスクナビゲーションメニューの流れを確認する

ディスクナビゲーション画面からメニューボタンを押すと、ディスクナビゲーションに関するメニューや、HDD、DVD、カードに関するメニューが表示されます。
　　の項目は、かんたんメニューボタンを押したときにも表示されます。設定の詳細については、各参照ページをご覧ください。

● HDD、DVD-RAM／DVD-RW（VR モード）をお使いの場合

● DVD-RW（VF モード）／DVD-R／+RW をお使いの場合

HDD

DVD にダビングする

HDD に録画した映像を、DVD にダビングできます。

始める前に

- 電源スイッチを「HDD」に合わせてください。
- 録画可能な DVD を準備してください。(☞P.30)
- 1枚の DVD にダビングできるシーンの記録時間は約 30 分（FINEモード時）です。1枚のDVDに収まる長さ以上のシーンが含まれているとダビングできません。そのシーンを分割（☞P.91）してからダビングしてください。
- ダビングするときは必ずACアダプター／チャージャーを使用してください。バッテリーパックを使ってダビングはできません。
- ダビングの途中で電源が切れて中断すると、正しくダビングできません。
- ダビングにかかる時間は目安です。XTRA モード時では約 1 倍速、FINE モード時では約 1.5 倍速、STD モード時には約 3 倍速でダビングします。シーン数が多かったり、温度が高いときには、画面の表示より時間がかかることがあります。

●ダビング可／不可一覧表

ダビング先の DVD	HDD の動画		
	動画画質（XTRA/FINE/STD）混在	ワイドモード設定（16：9/4：3）混在	動画画質「STD」でかつワイドモード（16：9）
DVD-RAM	○	○	○
DVD-RW（VR モード）	○	○	○
DVD-RW（VF モード）	×	×	×
DVD-R	×	×	×
+RW	○※	○※	×

○：ダビング可　　×：ダビング不可

※動画画質「STD」とワイドモード「オン」の組み合わせのシーンをダビングすることはできません。

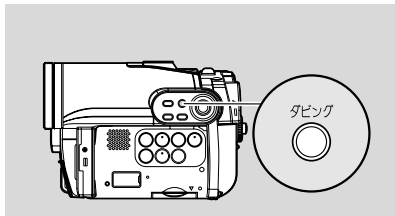
●ダビングするときのご注意

- すでにファイナライズされたDVDや、ひどい傷や汚れのあるDVDを本機に入れると、「このDVDは使用できません」と表示され、ダビングできません。別のDVDを使用してください。
- 本機でダビングした DVD-RW ／ DVD-R は、ファイナライズされていません。DVD レコーダーなどで再生するときは、必ず本機でファイナライズしてください。
- HDDのシーンの編集内容（フェード、スキップ、サムネイル変更など）は、DVD-RW（ＶＦモード）／DVD-R／+RW にダビングした場合、反映されません。
- プレイリスト上で、異なる日付のシーンを結合し、DVD-RAM/DVD-RW(VRモード)にダビングした場合、日付ごとに分かれてダビングされます。ただし、異なる日付のシーンを結合したあとにシーン分割をしてからダビングした場合、日付ごとにシーンが分かれないことがあります。
- ディスクナビゲーション機能を使って結合したシーンをDVD-RW(VFモード)/DVD-R/＋RWにダビングした場合、結合する前の2つのシーン（もしくはそれ以上のシーン）に分かれてダビングされます。
- ディスクナビゲーション機能でシーンを分割後、分割した両方のシーンを1枚のDVD-RW(VFモード)/DVD-R/＋RWにダビングする場合、分割される前の1つのシーンとしてダビングされます。
- 本機の不具合などにより、ダビングが正常にできなかった場合の内容（データ）の補償や損失、直接・間接の損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

HDD に記録したすべてのシーンをダビングする（全シーンダビング）

HDD に記録したすべてのシーンを先頭から順番に DVD へダビングできます。
1 枚の DVD に収まらないときには、シーンの容量を計算して DVD に収まるシーンまでダビングします。ダビングの途中、DVD 交換の画面にしたがって DVD を交換すると、続きのシーンからダビングを開始します。HDDのすべてのシーンをダビングし終えるまでこの動作を繰り返します。

1 「ダビング」ボタンを押す

「DVDを入れてください。」と表示されます。
「ディスク取出し」ボタンを押してDVDを入れてください。
「ディスクナビゲーション」ボタンを押してから、「メニュー」ボタンを押し、「シーン」→「ダビング」→「全シーン」を選んでも、同じ画面が表示されます。

2 確認画面が表示されるので、「はい」を選び、▶/IIを押す

「シーンをダビングしますか？」と表示されます。
ダビングをやめるときは「いいえ」を選ぶか、または■(停止／キャンセル）ボタンを押してください。
ここで、I◀◀ボタンを押すと、ダビングされるシーンが確認できます。ダビングされるシーンは赤いカーソルで囲まれています。確認画面に戻るときは■(停止/キャンセル）ボタンを押してください。

3 DVD の交換をする

1 枚のDVDに収まらないときは、DVD交換の確認画面が表示されます。ダビングを続ける場合には「ディスク取出し」ボタンを押して DVD を交換してください。ダビングを終了する場合には■(停止／キャンセル）ボタンを押してください。

4 ダビング終了後に「シーン削除」の画面を確認する

「はい」を選ぶと、ダビングしたシーンを HDD から削除します。
ダビングしたシーンを HDD に残しておきたい場合は、「いいえ」を選んでください。

5 ディスク取出しボタンを押して、ディスクを取り出す

DVD 挿入部のふたを閉めてください。
■(停止／キャンセル）を押して終了します。

ヒント

- ダビングの途中で「シーン No.xxx は記録時間が長いため 1 枚の DVD に入りません。シーンを分割してください」というメッセージが表示されたときは、ダビングが中止されます。指定されたシーンを分割してください（☞P .91）。シーンを分割した後は、ダビングされていないシーンを「シーン選択ダビング」の手順で、ダビングしてください。
- ダビングできるシーン数、プログラム数は、ダビングする DVD によって異なります（☞P .172）

HDD に記録したシーンを選んでダビングする（シーン選択ダビング）

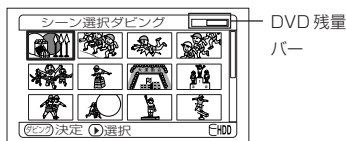
HDD に記録したシーンを選択して、お気に入りのシーンだけを DVD にダビングできます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押してから、「メニュー」ボタンを押す

2 「シーン」→「ダビング」→「シーン選択」を選び、▶/IIを押して決定する

「DVD を入れてください。」と表示されますので、ディスク取出しボタンを押して DVD を入れてください。

3 ダビングしたいシーンにカーソルを合わせ、▶/IIまたは「フォト／選択」ボタンを押す

選んだシーンのカーソルが赤に変わります。赤いカーソルのシーンがDVDにダビングされます。

他にもダビングしたいシーンがあるときは、同様に▶/IIもしくは「フォト／選択」ボタンを押して選択してください。

シーン選択ダビング

ダビング 決定 ▶ 選択 HDD

DVD 残量バー

（シーンの先頭を選択した場合）

選んだシーンを取り消すには、取り消したいシーンにカーソルを合わせてもう一度▶/IIまたは「フォト／選択」ボタンを押してください。

選んだすべてのシーンを取り消すには、■（停止/キャンセル）ボタンを押してください（☞ P.84）。

選んだシーンの合計の容量が DVD の残量より大きくなると、画面右上の残量バーが赤くなり、メッセージが表示されます。シーンを選択しなおしてください。

4 「ダビング」ボタンを押す

「シーンをダビングしますか？」と表示されます。

「ダビング」ボタンを押すかわりに、「メニュー」ボタンを押して「編集」→「決定」を選んでも、同じ画面が表示されます。

ダビングをやめたいときは「いいえ」を選ぶか、または■（停止／キャンセル）ボタンを押してください。

5 ダビング終了後に「シーン削除」の画面を確認する

「はい」を選ぶと、ダビングしたシーンを HDD から削除します。

ダビングしたシーンを HDD に残しておきたい場合は、「いいえ」を選んでください。

6 ディスク取出しボタンを押して、ディスクを取り出す

DVD 挿入部のふたを閉めてください。

■（停止／キャンセル）を押して終了します。

ヒント

- 本機では、HDDのディスクナビゲーション画面の表示順でDVDへダビングされます。シーンの順番を変えてダビングする場合には、ダビングしたい順番でシーンを登録したプレイリストを作成し（☞ P.104）、その後、ダビングを実行してください。

シーン

HDD RAM RW VR カード

シーンを削除する（編集〜削除）

いらないシーンを削除してみましょう。

DVD-RW（VF モード）／DVD-R をご使用の場合、シーンの削除はできません。

+RW をご使用のときは、ディスクナビゲーションメニューからのシーンの削除はできません（☞ P.79）。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **削除したいシーンにカーソルを合わせ、「メニュー」ボタンを押す**
複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.84、98）。

3 **「シーン」→「編集」→「削除」を選び、▶/IIを押す**
カードをご使用の場合は「シーン」→「削除」と選びます。

4 **「シーン削除」画面が表示される。**
削除したいシーンに変更がなければこのまま▶/IIを押す
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

5 **確認画面が表示されるので、「はい」を選んで▶/IIを押して決定する**
削除しない場合は「いいえ」を選んでください。
決定後は、「シーン削除」のシーン選択画面に戻ります。
手順 4 〜 5 を繰り返して、他のシーンの削除もできます。

6 **■（停止 / キャンセル）ボタンを押して終了する**

- ディスクナビゲーション画面で削除したいシーンにカーソルを合わせてから、リモコンの「削除」ボタンを押すと、手順 4 の画面が表示されます。
- HDD／DVD-RAM／DVD-RW（VR モード）の場合、シーンの不要な部分を削除するときは、分割してから不要な方を削除します（☞ P.91）。

ご注意
- シーンの削除をしても削除部分の時間や枚数が少ない場合は、残量表示が増加しない場合があります。
- カードをご使用の場合、ロックされているシーンは削除されません（☞ P.97）。
- HDD/DVD/カードの中のすべてのデータを消去してもよい場合は、初期化をしてください（☞ P.112）。

●サブメニューを使った編集

手順 4 のとき、▶/IIを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。

- 「編集」
  - 「削除」*1 …… 選択したシーンを削除します
  - 「終了」…… ディスクナビゲーション画面に戻ります
- 「選択」
  - 「先頭からカーソル」…… 先頭から現在カーソルのあるシーンまで選択します
  - 「カーソルから末尾」…… 現在カーソルのあるシーンから末尾まで選択します
  - 「全て」…… 全てのシーンを選択します
- 「ジャンプ」
  - 「先頭」…… カーソルを先頭のシーンに移動します
  - 「末尾」…… カーソルを末尾のシーンに移動します

■(停止／キャンセル）ボタンを押すと、手順 4 に戻ります。

*1 設定によって、表示されるメニューが変わります。

ご注意
- サブメニューは各設定で表示されますが、設定によっては表示されない項目もあります。

HDD RAM RW VR

動画を分割する（編集〜分割）

シーンを 2 つに分割できます。
シーンの不要な部分を削除するときは、分割してから不要なほうを削除します。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **分割したいシーンにカーソルを合わせ、「メニュー」ボタンを押す**

3 **「シーン」→「編集」→「分割」を選び、▶/II を押す**

4 **「シーン分割」画面が表示される。**
分割したいシーンに変更がなければこのまま▶/II を押す
選択したシーンが再生されます。
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

5 **分割したい位置になったら「フォト / 選択」ボタンを押す**

6 **確認画面が表示されるので、「はい」を選び、▶/II を押して決定する**
分割しない場合は「いいえ」を選んでください。
再生一時停止の画面に戻るので、■(停止 / キャンセル）ボタンを押して終了してください。
「はい」を選んで分割した後は、「シーン分割」のシーン選択画面に戻ります。
手順 4 〜 6 を繰り返して、他のシーンの分割もできます。

7 **■(停止／キャンセル）ボタンを押して終了する**

- 手順 4 で「シーン分割」画面が表示されているとき▶/IIを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.91「サブメニューを使った編集」）。
- 分割位置を指定するときは、サーチやコマ送りを使うと便利です（☞ P.80）。
- 分割前のシーンにフェード設定をしていた場合は、インの効果は前半のシーンに、アウトの効果は後半のシーンに引き継がれます（☞ P.93）。
- 一度分割したシーンは、結合すると元のシーンに戻ります。

ご注意
- 分割位置が、指定した位置から前後に約0.5秒ずれる場合があります。
- スキップが設定されているシーンは、再生できないため、分割位置を指定できません。スキップを解除してから分割してください。
- 静止画を分割しようとした場合、メッセージが表示され、分割はされません。
- 分割位置がシーンの先頭・末尾の場合、メッセージが表示され、分割はされません。
- 記録時間が0.5秒以下の動画は分割できません。
- HDD、DVDの残量が無くなると、分割できなくなることがあります。この場合は、不要な映像を削除してください。

HDD　RAM　RW VR

複数の動画を結合する（編集～結合）

短いシーンをたくさん撮ったときなど、一つにまとめると便利です。
結合するには、必ず連続している複数の動画を選択してください。また、DVD-RAMをお使いのときは表示分類が「全て」の場合（☞ P.117）のみ結合できます。
静止画を結合することはできません。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **メニューボタンを押してから、「シーン」→「編集」→「結合」を選び、▶/IIを押して決定する**

3 **「シーン結合」画面が表示されるので、結合したい最初のシーンにカーソルを合わせて▶/IIを押す**
カーソルが、青色と黄色の二重の枠になり、画面左下の表示が「終点決定」に変わります。

4 **カーソルキーを使って、結合したい範囲の最後のシーンにカーソルを合わせて▶/IIを押す**
カーソルが赤色の枠に変わります。最後のシーンは赤色と黄色の二重の枠になります。

5 **結合したいシーンに変更がなければこのまま▶/IIを押して決定する**
結合するシーンを変更したい場合は、■(停止／キャンセル）ボタンを押すと
カーソルが黄色に戻るので、選択しなおすことができます。

6 **確認画面が表示されるので、「はい」を選び、▶/IIを押して決定する**
確認画面で表示される2つの画像は、結合する最初のシーンと最後のシーンです。
結合後は、「シーン結合」のシーン選択画面に戻ります。
サムネイルは選択した最初のシーンが表示されます。
結合しない場合は「いいえ」を選んでください。
手順 4 の画面に戻ります。
■(停止／キャンセル）ボタンを押して選択を解除してください。
「シーン結合」のシーン選択画面に戻ります。
手順 3 ～ 5 を繰り返して、他のシーンも結合できます。

7 **■(停止／キャンセル）ボタンを押して終了する**

ヒント

- 手順 1 のあと、結合したい複数のシーンを選んでから「メニュー」ボタンを押しても結合できます。
- 手順 3 のとき▶/IIを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.91「サブメニューを使った編集」）。
- フェード設定は、選択範囲の先頭のシーンのインの効果と、最終のシーンのアウトの効果が引き継がれます。

- プログラムが異なる（撮影した日が違う）シーンの結合はできません。結合したい場合は、プレイリストを作成してください（☞ P.104）。
- HDDをお使いのときは、画質やワイドモードの設定が異なるシーン同士を結合することはできません。

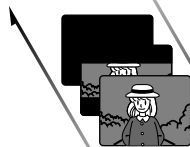
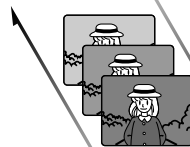
HDD RAM RW VR

シーンを並べ替える（編集～並べ替え）

シーンの並べ替えは、プレイリスト内のシーンに限ります（☞ P.110）。
プレイリストを作成後、シーンの並べ替えをしてください（☞ P.104）。

HDD RAM RW VR

シーンを効果的に演出する（効果～フェード）

シーンの最初と最後にフェードを設定できます。
フェード設定は次の３種類です。

フェードアウト
フェードイン

ホワイト：
- 白い画面からフェードイン
- 白い画面へフェードアウト

ワイプ：
- 黒い画面から画面上下方向へフェードイン
- 画面上下方向から黒い画面へフェードアウト

モノトーン：
- 白黒の画面からカラー画面へフェードイン
- カラー画面から白黒画面へフェードアウト

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **設定したいシーンにカーソルを合わせ、「メニュー」ボタンを押す**

3 **「シーン」→「効果」→「フェード」を選び、▶/IIを押して決定する**

4 **「フェード設定」画面が表示される。**
設定したいシーンに変更がなければこのまま▶/IIを押す
フェードを設定するシーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

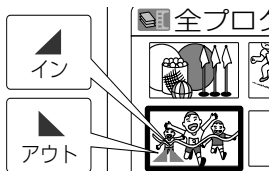
5 **「イン」と「アウト」の効果をそれぞれ選び、「登録」を選んで▶/IIを押す**

「イン」「アウト」「登録／中止」は、⏮／⏭ でカーソル位置が移動します。

「イン」と「アウト」の効果は◀◀／▶▶ で選び、▶/II を押して設定します。

設定しない場合は「中止」を選んでください。

「登録」を選んで▶/IIを押すと、メッセージ表示後に「フェード設定」のシーン選択画面に戻ります。

手順 4 ～ 5 を繰り返して、他のシーンにもフェード設定ができます。

6 **■（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する**

フェードイン、フェードアウトが設定されているシーンには、それぞれフェードアイコン「◢」「◣」が表示されます。

ヒント

- 本機でフェードの設定をしたDVDを直接DVDレコーダー／プレーヤーで再生した場合や、パソコンに取り込む場合、フェードの設定は反映されません（☞ P.85「ご注意」）。
- DVD-RW（VFモード）/DVD-R/+RWにダビングする場合、フェードの設定は反映されません（☞P.87）。

HDD RAM RW VR

シーンを飛ばして再生する（効果～スキップ）

再生したくないシーンにスキップを設定しておくと、そのシーンは再生されません。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **設定したいシーンにカーソルを合わせ、「メニュー」ボタンを押す**

複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.84、98）。

3 **「シーン」→「効果」→「スキップ」を選び、▶/II を押す**

4 **「スキップ設定」画面が表示される**

スキップしたいシーンに変更がなければこのまま ▶/II を押す

スキップを設定するシーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

設定後は、「スキップ設定」のシーン選択画面に戻ります。

手順 4 を繰り返して、他のシーンにもスキップ設定ができます。

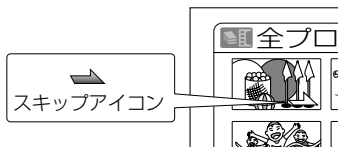
5 **■（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する**

スキップが設定されているシーンには、スキップアイコン「➡」が表示されます。

●スキップ設定を解除するには

スキップと、同じように設定してください。

スキップアイコンが消え、スキップが解除されます。

ヒント

- 手順 4 のとき▶/IIを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.91「サブメニューを使った編集」）。
- 本機でスキップの設定をしたDVDを直接DVDレコーダー／プレーヤーで再生した場合や、パソコンに取り込む場合、スキップの設定は反映されません（☞ P.85「ご注意」）。
- DVD-RW（VFモード）/DVD-R/+RWにダビングする場合、スキップの設定は反映されません（☞P.87）。

HDD RAM RW VR

サムネイル画像を変更する（効果〜サムネイル）

サムネイルの画像は、通常撮影したときのシーンの最初の場面になっていますが、この画像を変えることができます。インパクトのある場面をサムネイルの画像に設定すると、ディスクナビゲーション画面だけで何を撮影したシーンかが一目で分かり、とても便利です。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **変更したいシーンにカーソルを合わせ、「メニュー」ボタンを押す**

3 **「シーン」→「効果」→「サムネイル」を選び、▶/II を押す**

4 **「サムネイル変更」画面が表示される**
変更したいシーンに変更がなければそのまま▶/II を押す
選択したシーンが再生されます。
別のシーンのサムネイルを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

5 **変更したい場面になったら「フォト / 選択」ボタンを押す**

6 **確認画面が表示されるので、「はい」を選び、▶/II を押して決定する**
変更しない場合は「いいえ」を選んでください。
変更後は、「サムネイル変更」のシーン選択画面に戻ります。
手順 4 〜 6 を繰り返して、他のシーンも変更できます。

7 **■（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する**

- 手順 5 のとき「フォト / 選択」ボタンを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.91「サブメニューを使った編集」）。
- 本機でサムネイルの設定をしたDVDを直接DVDレコーダー／プレーヤーで再生した場合や、パソコンに取り込む場合、サムネイルの設定は反映されません（☞ P.85「ご注意」）。

ご注意
- 静止画のサムネイル画像の変更はできません。
- スキップが設定されているシーンは再生できないため、サムネイル変更はできません。スキップを解除してから変更してください。
- DVD-RW（VFモード）/DVD-R/+RWにダビングする場合、サムネイル変更の設定は反映されません（☞P.87）。

シーン

RAM カード

DVD-RAM ディスクの静止画をカードにコピーする（コピー）

始める前に

- コピーしたい静止画（本機以前に発売された、日立製 DVD カメラで撮影したもの）が保存してある DVD-RAM と、空きのあるカードを本機にセットしてください。
- 動画のコピーはできません。

1 **電源スイッチを「DVD」に合わせる**

2 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

3 **カードへコピーしたいシーンにカーソルを合わせ、「メニュー」ボタンを押す**
複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.84、98）。

4 **「シーン」→「コピー」を選び、▶/II を押す**

5 **「カードへコピー」の画面が表示される**
コピーしたいシーンに変更がなければ、このまま▶/II を押す
カードにコピーするシーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

6 **コピーする場合は、「はい」を選び決定する**
コピーしない場合は「いいえ」を選んでください。
コピー後は、「カードへコピー」のシーン選択画面に戻ります。
手順 5 ～ 6 を繰り返して、他のシーンもカードにコピーすることができます。

7 **■（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する**

ヒント

- 手順 5 のとき▶/IIを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.91「サブメニューを使った編集」）。
- 動画を含むシーンをすべて選択しても、静止画のみコピーされます。
- DVD-RAM に録画されている静止画を確認したい（☞ P.117「表示分類」）。

ご注意
- カードからディスクへのコピーはできません。
- ディスクからカードへコピーした静止画の画質は、ディスクで録画したときの画質のままでコピーされます。

シーン

カード

カードのシーンをロックする（ロック）

カードに録画してあるシーンを誤って削除したり、編集したりしないようにシーンごとにロックすることができます。

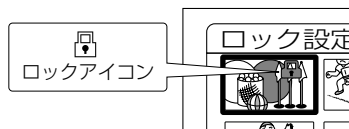
1 **電源スイッチを「SD」に合わせる**

2 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

3 **ロックしたいシーンにカーソルを合わせ、「メニュー」ボタンを押す**
複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.84、98）。

4 **「シーン」→「ロック」を選び、▶/II を押す**

5 **「ロック設定」画面が表示される**
ロックしたいシーンに変更がなければ、このまま▶/II を押す
ロックを設定するシーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。
設定後は、「ロック設定」のシーン選択画面に戻ります。
手順 5 を繰り返して、他のシーンにも設定することができます。

6 **■(停止／キャンセル）ボタンを押して終了する**
ロックが設定されているシーンには、ロックアイコン「🔒」が表示されます。

●ロック設定を解除するには

ロックが設定してあるシーンを選び、同じように設定してください。
ロックアイコンが消え、ロックが解除されます。

- 手順 5 のとき▶/IIを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.91「サブメニューを使った編集」）。

ご注意
- シーンにロックをかけていても、カードの初期化をすると消去されてしまいます（☞ P.112）。

シーン

HDD RAM RW VR RW VF R +RW カード

連続するシーンを選択する（選択）

連続するシーンを一度に選択できます。
シーン数が多いときなどに便利です。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 選択したい範囲の最初または最後のシーンにカーソルを合わせる
全てのシーンを選択するときは、そのまま手順 3 に進んでください。

3 「メニュー」ボタンを押す

4 「シーン」→「選択」→「先頭からカーソル」または「カーソルから末尾」または「全て」を選び、▶/II を押して決定する

●選択したシーンを解除する

•1 シーンずつ解除する

解除したいシーンを選び、「フォト / 選択」ボタンを押す。

•選んだシーンをすべて解除する

■（停止／キャンセル）ボタンを押す。

• 選択可能なシーン数は、最大 999 シーンです。

HDD RAM RW VR RW VF R +RW カード

シーンの情報を表示する（情報表示）

シーンの録画日時や録画時間、あるいは設定したフェード設定などの情報を表示できます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

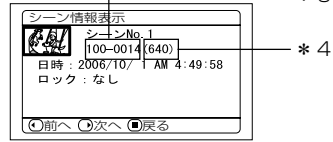
2 情報を知りたいシーンにカーソルを合わせて、「メニュー」ボタンを押す

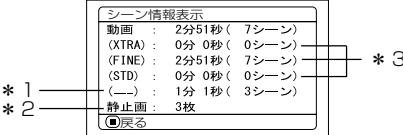
3 「シーン」→「情報表示」を選び、▶/II を押す
そのシーンの詳しい情報が表示されます。

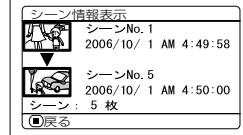
4 ■（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する

HDD/DVD をお使いのとき

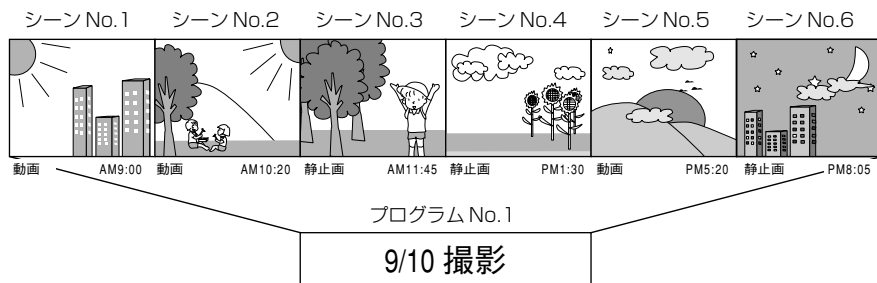
カードをお使いのとき

＊１ DVD-RW（VF モード）／ DVD-R ／ +RW をお使いのときは、表示されません。
＊２ 他の機器で録画した DVD-RAM ／ DVD-RW ／ DVD-R（ファイナライズ済）／ +RW が入っているときには、表示されません。
＊３ DCF 準拠でない場合、表示されません。
＊４ 静止画の水平方向の画素数を表します。

- DCF（Design rule for Camera File system）とは、デジタルカメラの統一画像ファイルフォーマットです。DCF対応のデジタル機器では、相互に画像ファイルを利用することができます。本機は DCF 準拠です。
- 任意の1シーンのみ表示されているときは、▶▶ を押すと次のシーンの情報が表示され、◀◀ を押すと前のシーンの情報が表示されます。
- 複数のシーンを選ぶとシーンの合計録画時間（静止画の場合は合計枚数）が表示されます。

HDD/DVD をお使いのとき

カードをお使いのとき

＊１ 他の機器で録画したときなど、記録モードが不明の場合に表示されます。
＊２ HDD/DVD-RW/DVD-R/+RW をお使いのときは、表示されません。
＊３ 他の機器で録画した DVD-RAM ／ DVD-RW ／ DVD-R（ファイナライズ済）／ +RW が入っているときには、表示されません。

プログラム

プログラムとは？

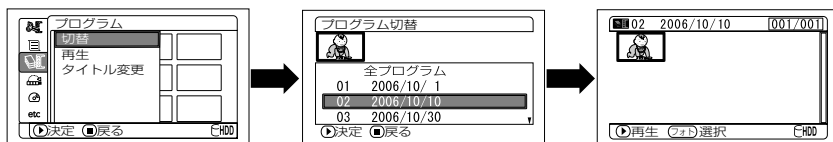
動画、静止画に関係なく、撮影日ごとのまとまりが「プログラム」になります。

HDD RAM RW VR RW VF R +RW

日付ごとの表示に切り替える（切替）

本機で録画されるシーンは、撮影日ごとに「プログラム」としてまとまっているので、プログラムを選択することで、特定の日付のシーンだけを表示できます。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押してから、「メニュー」ボタンを押す**

2 **カーソルキーを使って「プログラム」→「切替」を選び、▶/IIを押す**

3 **表示したいプログラムを選び、▶/IIを押して決定する**
選んだプログラムのディスクナビゲーション画面が表示されます。

ヒント

- 「プログラム切替」画面で ■（停止／キャンセル）ボタンを押すと、ディスクナビゲーション画面に戻ります。
- 他の機器で録画したDVDが入っているとき、プログラムは撮影日ごとのまとまりになっていないことがあります。
- +RWをお使いのときは、画質を変更したり、ワイドモードの切替をすると、同じ日に撮影したものでも、プログラムが分かれます。

HDD RAM RW VR RW VF R +RW

プログラムを再生する（再生）

選んだプログラムだけ再生することができます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押してから、「メニュー」ボタンを押す

2 カーソルキーを使って「プログラム」→「再生」を選び、▶/IIを押す

3 再生したいプログラムを選び、▶/IIを押す
選んだプログラムの先頭から再生が始まります。

ヒント

- 「リピート再生」が「オン」に設定されているときは、プログラムも繰り返し再生されます（☞ P.118）。

HDD RAM RW VR

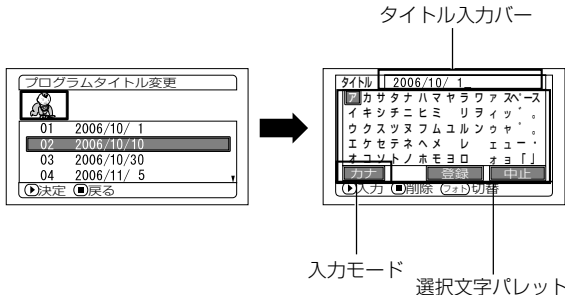
プログラムのタイトルを変更する（タイトル変更）

プログラムのタイトルには、撮影した日付がついています。
この日付をお好みのタイトルに変えることができます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押してから、「メニュー」ボタンを押す

2 カーソルキーを使って「プログラム」→「タイトル変更」を選び、▶/IIを押す

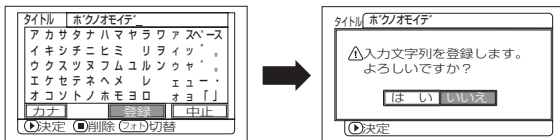
3 タイトルを変更したいプログラムを選び、▶/IIを押す
タイトル設定画面が表示されます。

4 ⏮／⏭／◀◀／▶▶ で文字を選び、1 文字ごとに▶/IIを押して決定する
選んだ文字が入力されます。
繰り返し行い、タイトルをつけてください。半角で最大 20 文字まで設定することができます。
詳細は、P.102 を参照してください。

プログラム

5 **入力が終わったら「登録」を選び、▶/IIを押す**

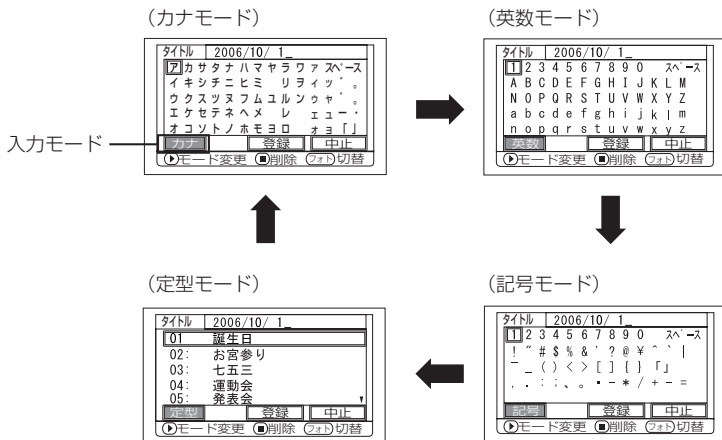
6 **確認画面が表示されるので、「はい」を選び、▶/IIを押して決定する**

設定しない場合は「いいえ」を選んでください。

設定後は、選んだプログラムのディスクナビゲーション画面が表示されます。

●タイトルの入力について

タイトルの入力モードは「カナ」のほかに「英数」「記号」「定型文」が選べます。

入力モードを変更するには、「画面表示」ボタンを押してください。

または、「フォト/選択」ボタンで入力モードにカーソルを合わせたあとに、▶/IIを押してください。

ヒント

- タイトルの文字を消すときは ■(停止／キャンセル) ボタンを１回押してください。1文字削除されます。
  ■(停止／キャンセル) ボタンを押しつづけると、「タイトル入力バー」に表示してある文字が、すべて削除されます。
- 文字を削除するとき、リモコンの「削除」ボタンを押しても同じように削除されます。
- 「フォト / 選択」ボタンを押すと、カーソルの位置が「タイトル入力バー」、「選択文字パレット」、「入力モード」、「中止」の順に切り替わります。⏮／⏭／⏪／⏩ で上下左右に動かして、カーソル位置を変えることもできます。
- タイトル入力を中止する場合は、タイトル入力画面で「中止」を選んでください。中止の確認画面が表示されます。中止する場合は、「はい」を選んでタイトル設定を中止してください。
- タイトル設定の確認画面で ■(停止／キャンセル) ボタンを押しても、タイトル入力画面に戻ります。
- 他の機器で全角文字のタイトルを設定した場合、本機で表示すると空白になることがあります。
- 本機で設定したタイトルは、他の機器で表示されないことがあります。

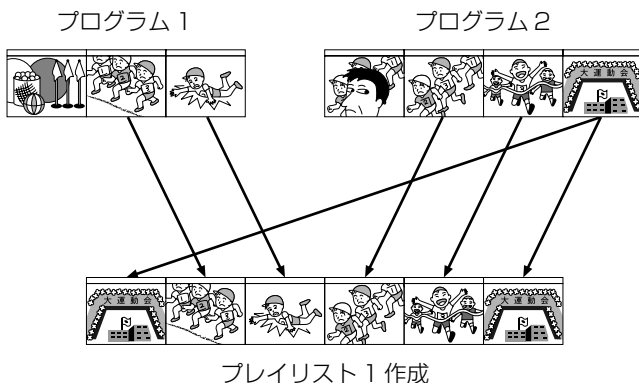
HDD RAM RW VR

プレイリスト

プレイリストとは？

録画したシーンの中からお好みのシーンを集めたリストのことです。
データをコピーして作るわけではありませんので、HDD/DVD容量はほとんど使いません。また、削除しても録画できる容量は増えません。

（例）

プレイリスト 1 作成

プレイリストは No.99 まで作成可能です。
ただし、No.1 ～ No.99 までの合計シーン数は、最大 999 シーンです。

HDD RAM RW VR

プレイリストを作成する（新規作成）

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 プレイリストに登録したいシーンにカーソルを合わせ、「メニュー」ボタンを押す
複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.84、98）。

3 カーソルキーを使って「プレイリスト」→「新規作成」を選び、▶/II を押す

4 プレイリスト新規作成画面が表示される
選んだシーンに変更がなければこのまま▶/II を押す
登録したいシーンを変更する場合は、ここの画面でも変更できます。

5 作成完了すると、作成されたプレイリストがディスクナビゲーション画面に表示される

ヒント

- プレイリストに記録されるのは、シーンの情報だけです。
  プレイリストを作成したり、削除しても、元のプログラムのシーンはなくなりません。
  また、プレイリストのシーンを編集しても、元のプログラムのシーンには影響しません。
- プログラムのシーンに「スキップ設定」や「フェード設定」などの設定がある場合、その情報もプレイリストに加わります。
- 作成したプレイリストに別のシーンを追加したり、不要なシーンを削除することもできます（P.106～P.108）。
- プレイリストのタイトルは、プレイリストを作成した日時となります。後からタイトルを変更することができます（P.110）。
- 手順4のとき、▶/IIを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニューが表示されます（P.91）。

- HDD/DVDの残量が無くなると、プレイリストを作成できなくなることがあります。この場合は、不要な映像を削除してください。

HDD RAM RW VR

プレイリストごとの表示に切り替える（切替）

複数のプレイリストからお好みのものを選ぶと、ディスクナビゲーション画面が表示されます。

1. **「ディスクナビゲーション」ボタンを押してから、「メニュー」ボタンを押す**
2. **カーソルキーを使って「プレイリスト」→「切替」を選び、▶/II を押す**
3. **「プレイリスト切替」画面で、表示させたいプレイリストを選び、▶/II を押して決定する**
   選んだプレイリストのディスクナビゲーション画面が表示されます。

ヒント

- 全プログラムのディスクナビゲーション画面に戻すときは、「プレイリスト切替」画面で「全プログラム」を選んでください。

●プレイリストの内容を編集する

プレイリストにタイトルをつけたり、スキップやフェードなどの設定は、シーンやプログラムに設定する方法と同じです。
それぞれの参照ページでご覧になり、設定してください。

ダビング P.87
シーンの分割 P.91
シーンの削除 P.90
シーンの結合 P.92
シーンの並べ替え .... P.110（プレイリストのみ）
フェード設定 P.93
スキップ設定 P.94
サムネイル変更 P.95
タイトル変更 .... P.101、P.110

HDD RAM RW VR

プレイリストを再生する（再生）

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押してから、「メニュー」ボタンを押す

2 カーソルキーを使って「プレイリスト」→「再生」を選び、▶/II を押す

3 「プレイリスト再生」画面で、再生したいプレイリストを選び、▶/II を押す

選んだプレイリストが最初から再生されます。

再生を途中でやめたい場合は、（停止／キャンセル）ボタンを押してください。

再生中のプレイリストのディスクナビゲーション画面が表示されます。

ヒント

- 「リピート再生」が「オン」に設定されているときは、プレイリストも繰り返し再生されます（☞ P.118）。

HDD RAM RW VR

プレイリストにシーンを追加する（編集）

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押してから、「メニュー」ボタンを押す

2 カーソルキーを使って「プレイリスト」→「編集」を選び、▶/II を押す

3 プレイリスト編集画面で、編集したいプレイリストを選び、▶/II を押して決定する

上段に追加できるシーンが表示され、下段に追加先のプレイリストのシーンが表示されます。

4 ▶▶Iを押してカーソルを下段に移し、◀◀/▶▶を押して挿入位置を選ぶ

5 I◀◀を押してカーソルを上段に移し、◀◀/▶▶を押して追加したいシーンにカーソルを合わせる

複数のシーンを選ぶこともできます（P.84、98）。

6 ▶/II を押して、決定する

追加が終了すると、編集後のプレイリストが表示されます。

手順 4 ～ 6 を繰り返して、他のシーンも追加できます。

7 ■（停止／キャンセル）ボタンを押すと、終了確認画面が表示される

「はい」を選んで終了します。

＊１：プレイリストのシーン番号

＊２：プレイリスト中の全シーン数

ヒント

- 緑の I カーソルは、画面の挿入位置を示します。
- 「画面表示」ボタンを押すと、操作ガイドに選択しているシーンの撮影日時が表示されます。もう一度押すと動画画質、画面比率、記録時間が表示されます。さらに、もう一度押すと元に戻ります（HDD使用時）。
- 設定の途中、■（停止／キャンセル）ボタンを押すと、「プレイリスト編集」終了の確認画面が表示されます。
終了してよい場合は「はい」を選んでください。
「いいえ」を選ぶと「プレイリスト編集」画面に戻ります。
- 手順 4 ～ 5 のときに「メニュー」ボタンを押すとサブメニュー画面が表示されます。このサブメニューからもシーンの追加が可能です。詳しくは下記からの説明をご覧ください。

撮影日時

HDD RAM RW VR

プレイリストのシーンを削除する（編集）

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押してから、「メニュー」ボタンを押す**

2 **編集したいプレイリストの編集画面を表示させる**
P.106「プレイリストにシーンを追加する」の手順 2 ～ 3 の操作をしてください。

3 **下段のプレイリストにカーソルを移動し、削除したいシーンにカーソルを合わせる**
複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.84、98）。

4 **▶/II を押して、決定する**
手順 3 ～ 4 を繰り返して、他のシーンも削除できます。

5 **■（停止／キャンセル）ボタンを押して、終了確認画面を表示させる**
「はい」を選んで終了します。
編集したプレイリストのディスクナビゲーション画面が表示されます。

ヒント

- 削除したいシーンにカーソルを合わせてリモコンの「削除」ボタンを押しても、プレイリストのシーンを削除することができます。

HDD RAM RW VR

編集のサブメニューを使ったシーンの追加（編集）

編集画面のメニューで、プレイリストに別のシーンを追加することができます。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押してから、「メニュー」ボタンを押す**

2 **編集したいプレイリストの編集画面を表示させる**
P.106「プレイリストにシーンを追加する」の手順 2 ～ 3 の操作をしてください。

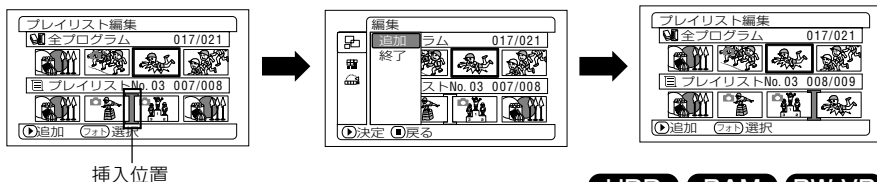
3 **下段のプレイリストにカーソルを移動させる**
シーンを挿入したい位置に緑の I カーソルを合わせる

4 **上段のプレイリストにカーソルを移動させる**
追加したいシーンにカーソルを合わせ、「メニュー」ボタンを押す
複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.84、98）。

5 **「編集」→「追加」を選んで、決定する**
手順 3 ～ 5 を繰り返して、他のシーンも追加できます。

6 **■（停止／キャンセル）ボタンを押すと、終了確認画面が表示される**
「はい」を選んで終了します。
編集したプレイリストのディスクナビゲーション画面が表示されます。

挿入位置

HDD RAM RW VR

編集のサブメニューを使ったシーンの削除（編集）

編集画面のメニューで、プレイリストのシーンを削除することができます。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押してから、「メニュー」ボタンを押す**

2 **編集したいプレイリストの編集画面を表示させる**
P.106「プレイリストにシーンを追加する」の手順 2 ～ 3 の操作をしてください。

3 **カーソルを下段のプレイリストに移動させる**

4 **削除したいシーンにカーソルを合わせ、「メニュー」ボタンを押す**
複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.84、98）。

5 **「編集」→「削除」を選び、▶/II を押す**
手順 3 ～ 5 を繰り返して、他のシーンも削除できます。

6 **■（停止／キャンセル）ボタンを押すと、終了確認画面が表示される**
「はい」を選んで終了します。
編集したプレイリストのディスクナビゲーション画面が表示されます。

ヒント

- プレイリストに登録してあるシーンをすべて削除すると、プレイリストも削除されます。

HDD RAM RW VR

編集のサブメニューを使ったシーンの選択（編集）

連続している複数のシーンをプレイリストに追加したり、プレイリストから連続している複数のシーンを削除するときに、シーンの範囲を指定することができます。
シーンの追加や削除で、複数のシーンを選択するときに便利です。

1. **「ディスクナビゲーション」ボタンを押してから、「メニュー」ボタンを押す**

2. **編集したいプレイリストの編集画面を表示させる**
   P.106「プレイリストにシーンを追加する」の手順 2 ～ 3 の操作をしてください。

3. **選択したい最初または最後のシーンにカーソルを合わせ、「メニュー」ボタンを押す**
   全てのシーンを選択するときは、そのまま「メニュー」ボタンを押してください。

4. **カーソルキーを使って「選択」→「先頭からカーソル」または「カーソルから末尾」または「全て」を選び、▶/II を押す**
   選択されるシーンについては、P.98 を参照してください。

5. **■（停止／キャンセル）ボタンを押すと、終了確認画面が表示される**
   「はい」を選んで終了します。
   編集したプレイリストのディスクナビゲーション画面が表示されます。

HDD RAM RW VR

シーンの並べ替え（編集）

シーンの並べ替えができます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押してから、カーソルキーを使って「プレイリスト」→「切替」で編集したいプレイリストを選び、▶/II を押す

P.105 のプレイリスト「切替」を参照してください。

3 移動したいシーンにカーソルを合わせ、「メニュー」ボタンを押す

複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.84、98）。

4 「シーン」→「編集」→「並べ替え」を選び、▶/II を押す

5 「並べ替え（シーン選択）」画面が表示されるので、移動したいシーンに変更がなければ、このまま▶/II を押して決定する

手順3で選択したシーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

6 移動したい場所へ I マークを移動して、▶/II を押す

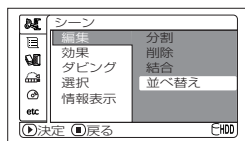
7 確認画面が表示されるので、「はい」を選び、▶/II を押す

並べ替えをしない場合は「いいえ」を選んでください。

並べ替え後は、「並べ替え（シーン選択）」画面に戻ります。

手順5～7を繰り返して、他のシーンも並べ替えることができます。

8 ■（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する

ヒント

- 手順5のとき▶/IIを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.91）。

ご注意
- シーンの並べ替えができるのはプレイリストのみです。
- DVD-RAM をご使用の場合、シーンの並べ替えができるのは表示分類が「全て」の場合のみです（☞ P.117）。

HDD RAM RW VR

プレイリストのタイトルを変更する（タイトル変更）

プレイリストのタイトルには作成順に付く通し番号と、プレイリストを作成した日時が設定されています。

このタイトルをお好みのタイトルに変更することができます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押してから、「メニュー」ボタンを押す

2 カーソルキーを使って「プレイリスト」→「タイトル変更」を選び、▶/II を押す

3 「プレイリストタイトル変更」画面で、タイトルを変更したいプレイリストを選び、▶/II を押す

タイトル設定画面が表示されます。
タイトルの設定方法は、P.101 プログラムの「タイトル変更」をご覧ください。
タイトル変更後は、タイトルを変更したプレイリストのディスクナビゲーション画面が表示されます。
プレイリストの作成日時のかわりに設定したタイトルが表示されます。

ヒント

- 登録したタイトルは、同じ手順で何度でも変更できます。

HDD RAM RW VR

プレイリストを削除する（削除）

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押してから、「メニュー」ボタンを押す

2 カーソルキーを使って「プレイリスト」→「削除」を選び、▶/II を押す

3 「プレイリスト削除」画面で、削除したいプレイリストを選び、▶/II を押す

4 確認画面が表示されるので「はい」を選び、▶/II を押して決定する

削除しない場合は「いいえ」を選んでください。
削除後は、全プログラムのディスクナビゲーション画面に戻ります。

ヒント

- プレイリストを削除しても、元のシーン（プログラムのシーン）は削除されません（☞ P.105）。
- プレイリストを削除すると、プレイリスト番号は自動的に変更されます（例えば、No. 2のプレイリストを削除すると、No. 3のプレイリストがNo. 2のプレイリストになります）。

HDD RAM RW VR RW VF R +RW カード

ジャンプ

ディスクナビゲーション画面で、先頭のシーンまたは末尾のシーンにジャンプして再生できます。

HDD/DVD/カードの先頭（末尾）に移動する

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押してから、「メニュー」ボタンを押す

2 カーソルキーを使って「ジャンプ」→「先頭」または「末尾」を選び、▶/II を押す

3 ▶/II を押して、再生する

HDD/DVD/ カードの設定

HDD RAM RW VR RW VF +RW カード

HDD/DVD/ カードを初期化する（初期化）

HDD／DVD-RAM／DVD-RW／+RWおよびカードは、初期化をすると記録したすべての内容を削除できます。また、DVD-RW／+RWは、本機で最初に使用する前に初期化が必要です。

始める前に

- 初期化するときは、途中で電源が切れないように、必ずACアダプター／チャージャーを使用してください。初期化の途中で電源が切れて中断すると、正しく初期化されません。正しく初期化されなかったDVDは使用できなくなります。
- 新品のDVD-RW／+RWをお使いになると、「このDVDは初期化されていません」と表示されます。表示されるメッセージに従い、初期化してください（☞ P.47）。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押してから、「メニュー」ボタンを押す**

2 **カーソルキーを使って「HDD設定」、「DVD設定」または「カード」→「初期化」を選び、▶/II を押す**

「HDD初期化」、「DVD初期化」または「カード初期化」の確認画面が表示されます。

3 **「はい」を選び、▶/II を押す**

初期化しないときは「いいえ」を選んでください。
DVD-RWをお使いのときは、VFモードもしくはVRモードを選択する画面が表示されます。

- 撮影済みの内容をすべて消去したい場合、シーンを削除するより、初期化したほうが短時間で消去できるので便利です。

ご注意

- 初期化すると録画された内容はすべて消去されます。誤って録画した内容を消さないよう、よく確認してから初期化してください。
- 傷や汚れの多いDVDは、初期化ができない場合があります。このようなDVDは使用できません(☞P.20)。
- パソコンや他機で初期化したDVDやカードでは、本機で認識できない場合や記録・再生できない場合があります。
- 本機とパソコンをPC接続ケーブルで接続し、本機に挿入したDVDやカードを初期化した場合は、正常に初期化できず、DVDやカードが使用できなくなる場合があります。
- ファイナライズされたDVD-RW（VRモード）を初期化するときにVRモードを選択すると、ファイナライズは解除されません。記録データの無い、ファイナライズ済のDVD - RW（VRモード)となり、記録はできるようになります。VFモードを選択すると、ファイナライズが解除されます。

HDD　RAM　RW VR

プロテクト

HDD／DVD-RAM／DVD-RW（VRモード）に記録してある映像を誤って削除したり、初期化したりできないように、プロテクトをかけることができます。プロテクトを設定すると、解除するまで録画もできなくなります。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押してから、「メニュー」ボタンを押す**

2 **カーソルキーを使って「HDD設定」または「DVD設定」→「プロテクト」を選び、▶/II を押す**
確認画面が表示されます。

3 **「はい」を選び、▶/II を押す**
設定しないときは「いいえ」を選んでください。
設定後は、ディスクナビゲーション画面に戻ります。

- プロテクトを解除するときは、手順1～2の操作をすると、プロテクト解除の確認画面が表示されます。
  解除する場合は、「はい」を選んで解除してください。

ご注意
- 他の機器でプロテクトを設定した場合、プロテクトを解除できない場合があります。その場合は、プロテクトをかけた機器で解除してください。

HDD　RAM　RW VR　RW VF　R　+RW　カード

残量表示

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押してから、「メニュー」ボタンを押す**

2 **カーソルキーを使って「HDD設定」または「DVD設定」→「残量表示」を選び、▶/II を押す**
「残量表示」の画面が表示されます。

（HDD/DVDをお使いのとき）

（カードをお使いのとき）

＊1 HDD/DVD - RW（VFモード）/DVD - Rをお使いの場合は、最初に録画したモード（XTRA/FINE/STD）のみ表示されます。

＊2 DVDをお使いの場合は「DVD残量」と表示されます。

3 **■(停止／キャンセル）ボタンを押して終了する**
ディスクナビゲーション画面に戻ります。

- プロテクトされたHDD/DVDやロックされたカードでは、残量が0と表示されます。

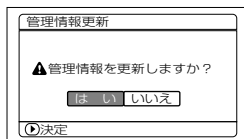
HDD　RAM　RW VR

HDD／DVD-RAM／DVD-RW（VRモード）の管理情報を更新する（管理情報更新）

本機のディスクナビゲーションは、サムネイルやスキップ、フェードなどのシーンに関する情報が独自の方法で管理されています。
本機で録画したDVDを他の機器で編集した場合、本機のディスクナビゲーションで正常に表示されない場合があります。
このようなときに管理情報更新をお使いください。

始める前に

- 管理情報を更新するときは、途中で電源が切れないように、必ずACアダプター／チャージャーを使用してください。管理情報更新の途中で電源が切れて中断すると、正しく更新されません。

管理情報更新
管理情報を更新しますか？
はい　いいえ
決定

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押してから、「メニュー」ボタンを押す**

2 **カーソルキーを使って「HDD設定」または「DVD設定」→「管理情報更新」を選び、▶/II を押す**

「管理情報更新」の確認画面が表示されます。

3 **「はい」を選び、▶/II を押す**

更新中のメッセージが表示され、HDD／DVDの管理情報が更新されます。
更新中のメッセージが表示されている間、黒い画面が出ることがあります。
更新しないときは「いいえ」を選んでください。
ディスクナビゲーション画面に戻ります。

- 管理情報更新は、録画されているシーンが多い場合には、時間がかかる場合があります。
- 管理情報を更新しても、本機のディスクナビゲーションで使えないDVDもあります。

HDD のデータを消去する（完全消去）

HDD のデータを消去するときに、「HDD 設定」の「初期化」をするだけでは、ファイル管理情報が変更されるだけで、データは完全に消去されてはいません。本機を廃棄／譲渡する際には、データの流出を防ぐために、HDD 内のデータを完全消去してください。

始める前に

- ＨＤＤ内のデータを完全消去するときは、ＡＣアダプター／チャージャーを使用してください。バッテリーパックで完全消去はできません。
- 完全消去の途中で電源が切れて中断すると、正常に消去されません。
- 完全消去を行うと、HDDのすべての内容が消去されます。大切な内容は、DVD に保存してから完全消去してください。
- 完全消去には、約30分かかります。まれに、1時間以上かかる場合があります。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押してから、「メニュー」ボタンを押す**

2 **カーソルキーを使って「HDD 設定」→「完全消去」を選び、▶/II を押す**

「完全消去」の画面が表示されます。

3 **「はい」を選び、▶/II を押す**

HDD を完全消去します。

完全消去をしないときは、「いいえ」を選んでください。

ディスクナビゲーション画面に戻ります。

RW VR　RW VF　R　+RW

DVD-RW／DVD-R／+RWを他の機器で再生する（ファイナライズ）

始める前に

- DVDをファイナライズするときは、ACアダプター／チャージャーを使用してください。バッテリーパックを使ってのファイナライズはできません。ファイナライズの途中で電源が切れて中断すると、正しくファイナライズされません。DVDが壊れることもあります。

本機で記録/ダビングしたDVD-RW／DVD-R／+RWをDVDプレーヤーなど、8cm DVD対応機器で再生する場合、「ファイナライズ」という操作が必要です。
一度ファイナライズしたDVD-Rには記録/ダビングができませんので、ご注意ください。DVD-RW（VFモード）／+RWは、ファイナライズすると記録/ダビングができなくなりますが、ファイナライズの解除（P.117）をすると、また記録/ダビングができるようになります。DVD-RW（VRモード）は、ファイナライズ後もそのまま記録/ダビングができます。

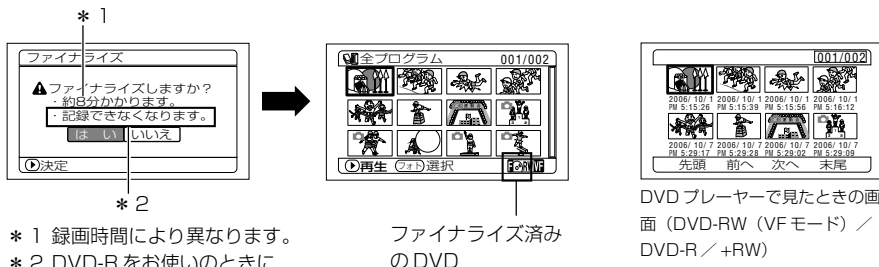
1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押してから、「メニュー」ボタンを押す

2 カーソルキーを使って「DVD設定」の「ファイナライズ」を選び、▶/II を押す
ファイナライズの確認画面が表示されます。

3 「はい」を選び、▶/II を押す
ファイナライズ中のメッセージが表示され、ディスクがファイナライズされます。
終了すると、全プログラムのディスクナビゲーション画面が表示されます。
ファイナライズされたDVDのディスクナビゲーション画面にはⒻと表示されます。

＊1 録画時間により異なります。
＊2 DVD-Rをお使いのときに表示されます。

ファイナライズ済みのDVD

DVDプレーヤーで見たときの画面（DVD-RW（VFモード）／DVD-R／+RW）

●ファイナライズボタンでファイナライズする

記録一時停止状態、もしくはディスクナビゲーション画面表示中にファイナライズボタンを押すと、ファイナライズの確認画面が表示されます。
「はい」を選び決定すると、ファイナライズが始まります。

ご注意

- 本機で記録/ダビングしたDVDは、本機以外でファイナライズしないでください。
- すでにファイナライズされたDVDが入っている場合は、「ファイナライズ」のメニューは表示されません。
- ファイナライズにかかる時間は目安です。
- 録画時間が短いと、ファイナライズに時間がかかります。
- 一度ファイナライズしたDVD-RW／+RWは、二度目以降のファイナライズが早く終わることがあります。

RW VF　+RW

ファイナライズ後のDVD-RW（VFモード）／+RWに追加記録をする（ファイナライズ解除）

本機でファイナライズしたDVD-RW（VFモード）／+RWのファイナライズを解除すると、もう一度記録できるようになります。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押してから、「メニュー」ボタンを押す

2 カーソルキーを使って「DVD設定」の「ファイナライズ解除」を選び、▶/IIを押す
ファイナライズ解除の確認画面が表示されます。

3 「はい」を選び、▶/IIを押す
ファイナライズ解除中のメッセージが表示され、ファイナライズが解除されます。

ヒント

- DVD-RW（VRモード）は、ファイナライズ後、ファイナライズ解除をしないでそのまま記録できます。

その他設定

RAM

動画または静止画別に表示する（表示分類）

本機以外の日立製DVDカメラで撮影した静止画の保存されているDVD-RAMを本機に入れた場合、撮影したシーンを、動画・静止画に関係なく、撮影順にディスクナビゲーション画面に表示します。この表示を動画だけや静止画だけの表示に切り替えることができます。
本機では、HDD/DVDに静止画の撮影はできません。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押してから、「メニュー」ボタンを押す

2 カーソルキーを使って「その他設定」→「表示分類」を選び、▶/II を押す

3 設定したい項目を選び、▶/II を押す
「全て」……… 動画・静止画に関係なく、撮影順にすべて表示されます
「動画」……… 動画のみ撮影順に表示されます
「静止画」…… 静止画のみ撮影順に表示されます

ディスクナビゲーション画面を終了させると、「表示分類」は「全て」に戻ります。

HDD RAM RW VR RW VF R +RW

繰り返し再生する（リピート再生）

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押してから、「メニュー」ボタンを押す

2 カーソルキーを使って「その他設定」→「リピート再生」を選び、▶/II を押す

3 「オン」を選び、▶/II を押す
設定しないときは、「オフ」を選んでください。

●リピート再生が設定されると

範囲を指定していないときは、最後のシーンの再生が終わると、最初のシーンからすべてのシーンの再生が繰り返されます。
範囲を指定していたときは、その範囲の再生が繰り返されます。
複数のシーンを選ぶときは、P.84、P.98 をご覧ください。

●リピート再生を解除するには

下記の３方法のどれかで解除してください。
- 手順 3 で「オフ」を選ぶ
- 一度電源を切る
- 「ディスク取出し」ボタンを押して、一度 DVD を取り出す

- 再生を終了するには ■（停止／キャンセル）ボタンを押します。ただし、リピート再生の設定が解除されるわけではありません。

ご注意
- 記録一時停止した状態から再生した場合は、リピート再生しません。

HDD RAM RW VR RW VF R +RW

4:3 表示のテレビでワイドモードの映像を再生する（TV 接続設定）

ワイドモードで記録したディスクの入った本機を、4：3 表示のみ対応のテレビにつないで再生すると、縦長の映像で表示されます。TV 接続設定で、「4：3」を設定すると、上下に黒帯がついた状態の、正常な映像を見られます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押してから、「メニュー」ボタンを押す

2 カーソルキーを使って「その他設定」→「TV 接続設定」を選び、▶/II を押す

3 「4：3」を選び、▶/II を押す

カード

連続再生する（スライドショー）

カードに録画してあるシーンを再生すると、1 枚再生するごとに再生一時停止状態になります。
スライドショーを設定すると、連続再生することができます。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押してから、「メニュー」ボタンを押す**

2 **カーソルキーを使って「スライドショー」→「スタート」を選び、▶/II を押す**

「スタート」……… スライドショーを開始します。

再生が終わると、最後の画像で再生一時停止状態になります。
■（停止／キャンセル）ボタンを押すと、ディスクナビゲーション画面に戻ります。

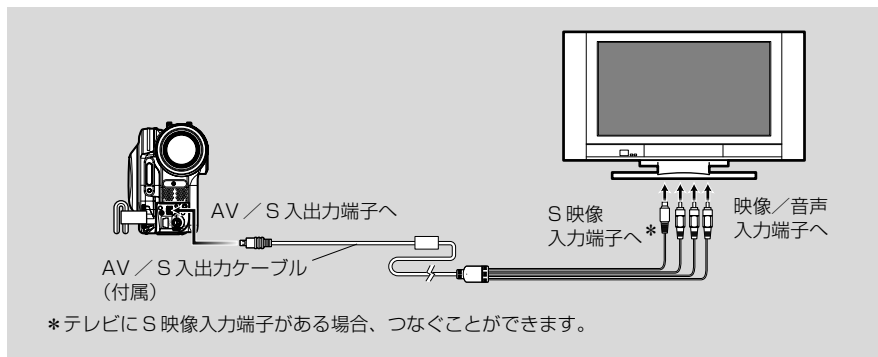
- カーソル位置や選択状態にかかわらず最初のシーンから再生を開始します。

ご注意
- ■（停止/キャンセル）ボタンを押したり、電源を切ったりすると、スライドショーは解除されます。

HDD RAM RW VR RW VF R +RW カード

テレビで見る

テレビにつなぐ

付属のAV／S入出力ケーブルを使って本機とテレビを下の図のように接続します。

- S端子を使うと、よりきれいな映像をお楽しみいただけます。

ご注意
- 接続する前に、必ずテレビの音量が下がっていることを確認してください。テレビのスピーカーから「ピーッ」という音（ハウリング）が出ることがあります。
- AV／S入出力ケーブルはななめに差し込むと端子を破損するおそれがあります。まっすぐに差し込んでください。

テレビで見る

1 テレビの電源を入れ、テレビの入力切替を「ビデオ」にする

テレビの入力切替の方法は、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

2 本機の電源スイッチを入れる

本機の映像がテレビに表示されます。
同時に本機の液晶モニターまたはビューファインダーでも映像を確認できます。

3 再生や撮影、編集をする

再生や撮影、ディスクナビゲーションでの編集など、テレビ画面で確認しながら操作できます。

ヒント

- 音量はテレビ側で調整してください。
- テレビで見ながら操作するときはリモコンを使うと便利です。ただし、当社製のビデオデッキをお使いの場合は、本機のリモコンで動作することがあるので、その場合はビデオのリモコンコードを「VTR2」以外に変更してお使いください。
- テレビの画面に再生中や録画中の情報も表示されますが、録画中の情報のみ表示しないようにすることもできます。P.73の「画面表示出力」の設定をご覧になり、切り替えてください。

- 複製禁止（コピーガード）処理されたDVDを再生すると、テレビに映像は表示されません。
- ワイドテレビ（画面比率16：9）をお使いで、テレビの設定がワイドモードに設定してあるとき、ディスクナビゲーション画面を表示すると表示が画面に収まらない場合があります。テレビのワイドモードの設定を解除してください（設定の方法はテレビの取扱説明書をご覧ください）。

RAM　RW VR　RW VF　R　+RW

DVDレコーダー／プレーヤーで見る

DVD-RAM／DVD-RW（VRモード）の場合

本機で記録したDVD-RAM／DVD-RW（VRモード）は8cmDVD-RAM／DVD-RW（VRモード）対応のDVDレコーダーや、8cmDVD-RAM／DVD-RW（VRモード）対応のDVDプレーヤーで再生できます。

1　DVDレコーダー／プレーヤーに入れて再生する

DVDレコーダー／プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

- 他の機器で再生するときは、本機のディスクナビゲーション表示とは異なることをご了承ください。
- DVD-RW（VRモード）はファイナライズが必要な場合があります。
- 本機で記録したDVD-RW（VRモード）は8cmDVD-RW（VRモード）に対応していない機器には入れないでください。DVDが使えなくなる場合があります。
- 本機で記録したDVD-RAM／DVD-RW（VRモード）は、DVDレコーダー／プレーヤーや他の8cmDVD-RAM／DVD-RW（VRモード）対応機器での再生に対応しておりますが、すべての再生を保証するものではありません。

DVD-RW（VFモード）／DVD-R／+RWの場合

1 **DVD-RW（VFモード）／DVD-R／+RWをファイナライズする**

DVDレコーダー／プレーヤーで見るには「ファイナライズ」が必要です。P.116をご覧ください。

ファイナライズしたDVDには、記録することができません。

本機で記録したDVDは、本機でファイナライズしてください。

2 **DVDレコーダー／プレーヤーに入れて再生する**

DVDレコーダー／プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

- ファイナライズしていないDVD-RW（VFモード）／DVD-RはDVDレコーダーに入れないでください。DVDが使えなくなる場合があります。
- DVDレコーダーなどで記録し、ファイナライズしていないDVD-RW（VFモード）／DVD-Rを本機に入れないでください。DVDが使えなくなる場合があります。
- +RWは、ディスクナビゲーション機能の「ファイナライズ」（P.116）をしなくても、本機から取り出すときに、自動的にファイナライズされます（オートファイナライズ）。オートファイナライズされた+RWはDVDレコーダー／プレーヤーで再生できますが、DVDビデオメニューが表示されません。DVDレコーダー／プレーヤーでDVDビデオメニューを表示したいときは、ディスクナビゲーション機能の「ファイナライズ」をしてから、DVDレコーダー／プレーヤーで再生してください。
- +RWの記録時間が短いと、DVDレコーダー／プレーヤーで再生できないことがあります。記録時間が短いときは、ディスクナビゲーション機能の「ファイナライズ」（P.116）をすることをおすすめします。
- 本機で記録したDVD-RW（VFモード）／DVD-R／+RWは、DVDレコーダー／プレーヤーや他の8cmDVD-RW（VFモード）／DVD-R／+RW対応機器での再生に対応しておりますが、すべての再生を保証するものではありません。
  ご使用いただくDVDレコーダー／プレーヤーやDVD-RW（VFモード）／DVD-R／+RWの記録状態によっては、再生できない場合もあります。この場合、DVD-RW（VFモード）／DVD-R／+RWは本機で再生してください。また、DVDレコーダー／プレーヤーで再生した場合、シーンの間で一瞬止まることがあります。

HDD RAM RW VR RW VF R +RW カード

他のビデオ機器を使って録画(ダビング)する

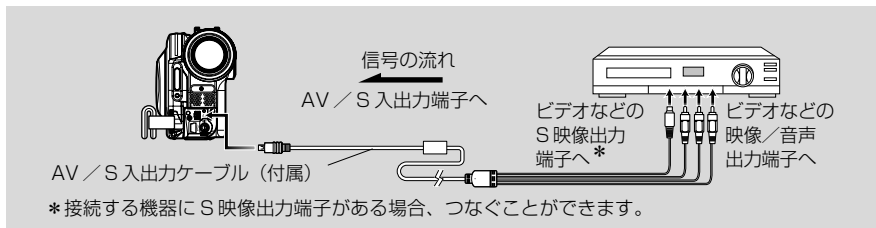
始める前に

- 本機と他の機器を接続するときは、両方とも電源を切って接続してください。
- 本機に記録可能なDVD＊1またはカード＊2を入れてください（☞ P.30、32)。
  ＊1 静止画の記録はできません。
  ＊2 静止画のみ記録ができます。動画の記録はできません。

- 途中で電池が切れないよう、必ずACアダプター／チャージャーを使って、コンセントから電源をとってください。
- 当社製のビデオデッキをお使いの場合は、本機のリモコンで動作することがあります。当社製のビデオデッキから映像を録画する場合は、ビデオのリモコンコードを「VTR2」以外に変更してお使いください。

他のビデオ機器から録画（ダビング）する

他のビデオ機器から本機のDVDまたはカードに録画（ダビング）することができます。
付属のAV／S入出力ケーブルを使って、本機と他のビデオ機器を下図のように接続します。

＊接続する機器にS映像出力端子がある場合、つなぐことができます。

1 本機の入力切替を「外部」にする

P.71「入力切替」を参照して、切り替えてください。
S入力をする場合は、「S外部」にしてください。

2 接続した機器の電源を入れ、再生を開始する

本機の液晶モニターに映像が映ります。

3 本機の「録画」ボタンを押す

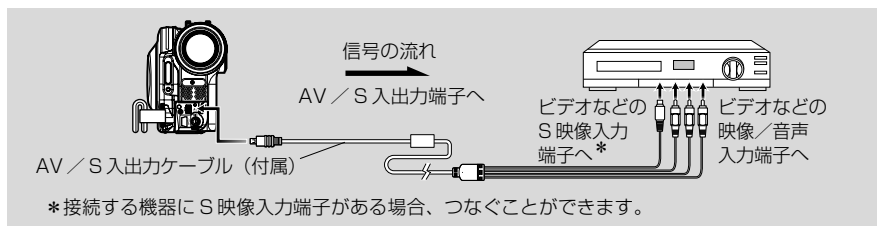
本機で録画が始まります。
録画するときの操作方法は、「動画を撮る」と同じです（☞ P.48)。
静止画を撮影する場合は「フォト/選択」ボタンを押してください。

- 録画した内容は、カメラで撮影した映像を再生するときと同様に再生することができます。
- 個人でビデオカメラに撮影した映像以外は、ほとんどの場合が著作権保護のための複製禁止信号（コピーガード信号）により録画が禁止されています。本機では“記録はできません”と表示され、録画できません。

  DVDビデオ・LD・ビデオソフトテープ・デジタル衛星放送（一部）などが著作権保護された代表的な映像です。
- 個人でビデオカメラに撮影した映像など複製禁止信号のない映像であっても、信号の状態によっては正常に録画できないことがあります。
- 録画した映像をパソコンで再生した場合、上下左右に黒帯が表示されることがあります。
- 記録中にテレビなどのチャンネルを切り替えたり、ビデオセレクターなどで信号を切り替えたりして入力信号が途切れると、正常に録画できません。
- CPRM対応のDVDを使っても、本機で「1回だけコピー可能」の映像を記録することはできません。
- 「入力切替」の設定は、電源を切ると「カメラ」に戻ります。

他のビデオ機器に録画（ダビング）する

本機で再生して他のビデオ機器に録画（ダビング）することができます。
付属のAV／S入出力ケーブルを使って、本機と他のビデオ機器を下図のように接続します。

＊接続する機器にS映像入力端子がある場合、つなぐことができます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 再生したいシーンを選ぶ

3 接続したビデオ機器のチャンネルを外部入力に合わせる

4 本機の再生ボタンと接続した機器の録画ボタンを押す

本機で再生が始まり、接続した機器に録画（ダビング）されます。

ヒント

- S端子を使うと、よりきれいな映像をお楽しみいただけます。
- スピーカーから音声がでます（音量が大きいと映像にノイズが入る場合があります）。
- ディスクナビゲーション機能のプレイリストで、あらかじめ本機で録画したシーンの中からダビングしたいシーンを集めたリストを作成すると便利です（☞ P.104）。

HDD RAM RW VR RW VF R +RW カード

パソコンと接続する

添付のソフトウェアについて

本機に同梱のPC接続ケーブルとソフトウェアCD-ROM、または市販のソフトウェアをお使いになると、本機で撮影した動画や静止画をパソコンでご利用になれます。
同梱のCD-ROMにはWindows用とMacintosh用に以下のソフトウェアがそれぞれ含まれています。

Windows用

ImageMixer 3
本機で撮影した映像をパソコンに取り込めます。
パソコンに取り込んだ映像のカット編集、タイトルやBGMの追加、画像の切り替え効果をつける等の動画編集ができます。
本機で撮影した映像をパソコンに取り込んで、DVD-Video(DVD-RW/DVD-R)やDVD-VR(DVD-RAM/DVD-RW)を作成できます。

Macintosh用

Pixe VRF Browser EX
本機でDVD-RAM/DVD-RW/DVD-Rに記録した映像をMPEGファイルとしてMacintoshに取り込めます。取り込む際には、取り込み範囲の指定ができます。
ImageMixer VCD/DVD2
Pixe VRF Browser EXでMacintoshに取り込んだ映像を使ってDVD-Video(DVD-RW/DVD-R)を作成できます。

●本機に同梱のソフトウェアでできること

OS		HDD	DVD	カード
Windows	パソコンへの取り込み	○	○	○
	パソコンからの書き出し	×	○※	○
Macintosh	パソコンへの取り込み	○	○※	○
	パソコンからの書き出し	×	○※	○

＊ +RWには対応しておりません。

- 本機に同梱のMacintosh用のソフトウェアは+RWに対応していません。
- 本機で撮影したDVD-RW/DVD-R/+RWをパソコンでご使用になる場合、本機でのファイナライズが必要です。
- Macintosh用のソフトウェアではDVD-VR(DVD-RAM/DVD-RW)の作成はできません。
- Pixe VRF Browser EXでMacintoshに取り込んだMPEGファイルは、音声形式がAC3オーディオのため、QuickTime MPEG-2再生コンポーネントを導入している場合でも音声は再生されず、映像のみ再生されます。
- 本機に同梱のソフトウェアはCPRMやCSSなど著作権保護されたDVDを扱うことはできません。
- 本機に同梱のソフトウェアでは、本機のHDDへの書き込みはできません。

添付のソフトウェアは日本語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、中国語（簡体字）に対応しています。

本書では、Windows版はWindows XP、Macintosh版はMac OS X 10.4の画面で説明しています。

ソフトウェアCD-ROMを開封する前に、P.178の「使用許諾契約書」をお読みください

使用できるパソコンの条件

[Windowsをお使いの場合]

- OS：Windows® 2000 Professional SP3以降／XP HomeEdition／XP Professional 日本語版
  ※Windows® 98およびMeには対応しておりません。
- コンピュータ：IBM® PC/AT® 互換機
- CPU：Intel® Pentium® Ⅲ 800MHz以上（Pentium® 4 1.7GHz以上推奨）
  ※CPUなどをオーバークロックなどでご使用の場合やDual CPUでご使用の場合、Intel®製、AMD®製以外のPentium®互換CPUでご使用の場合は、動作保証外になります。
- メモリ：Windows 2000の場合　128MB以上(256MB以上を推奨)
  Windows XPの場合　256MB以上(512MB以上を推奨)
- ＨＤＤ：インストールに必要なディスク容量：約３００ＭＢ
  DVDまたはディスクイメージの作成には、作成するDVDの3倍程度の空き容量が必要です。
- ＵＳＢ：本製品のために、ＵＳＢ 1.1または2.0の空きポートが一つ以上必要です。
  （ＵＳＢハブ経由では動作しない場合があります。）
- その他：1024×768ピクセル、16bit（High color）以上で表示可能なディスプレイ
  VRAM　４ＭＢ以上でDirect X®　9.0 c以降に対応したグラフィックアクセラレータ

[Macintoshをお使いの場合]

- OS：Mac OS X (10.2.8, 10.3.4～10.3.9, 10.4.1～10.4.7)
  ※Mac OS X Server には対応しておりません。
- CPU：USB2.0ポート標準装備のiMac G4、iMac G5、iBook G4、PowerBook G4、PowerMac G5、eMacシリーズ、Mac miniシリーズ
  ※Intel Macには対応しておりません。
- メモリ：256MB以上(512MB以上を推奨)
- HDD：インストールに必要なディスク容量：約200MB
  アプリケーション動作中は、起動ディスクに1GB以上の空き容量が必要です。
  DVDまたはディスクイメージの作成には、作成するDVDの３倍程度の空き容量が必要です。
- その他：1024×768ピクセル以上、32000色以上（フルカラー推奨）
  ：QuickTime 6以降が動作する環境

Macintoshに搭載されているスロットイン式のドライブは、8cmDVDに対応していません。誤って挿入した場合、DVDが取り出せなくなりますので、絶対に8cmDVDを挿入しないでください。

- ソフトウェアをインストールする場合、管理者権限が必要です。
- 以下の場合は動作保証しません。
  - USBハブを経由して接続した場合
  - マルチプロセッサ搭載のPCと接続した場合
  - 自作パソコンで使用した場合
- 使用できるパソコンの条件を満たしていても、お使いの他のソフトウェアや機器との組合わせにより、動作に不具合を生じたり、使用制限が生じたりすることがあります。
- 推奨環境を満たしたすべてのパソコンでの動作を保障するものではありません。

ソフトウェアのインストール

[Windows をお使いの場合]

1　パソコンの電源を入れる

パソコンを使用している場合には、使用しているソフトウェアをすべて終了してください。

2　同梱の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに入れる

インストーラーが自動的に起動し、「設定言語の選択」画面が自動的に表示されます。

「設定言語の選択」画面が表示されない場合は、Windowsのマイコンピュータまたはエクスプローラで CD-ROMが入っているドライブを開き、その中のsetup.exeアイコンをダブルクリックしてください（ご使用のPCによっては、「exe」の拡張子が表示されない場合があります）。

3　インストールする言語を選択する

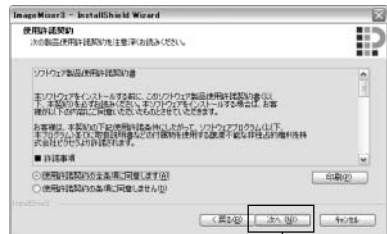
ImageMixer3 でご使用になる言語を選択し、「次へ」をクリックしてください。

クリック

4　「ImageMixer3」のインストール画面が表示されるので、「次へ」をクリックする

クリック

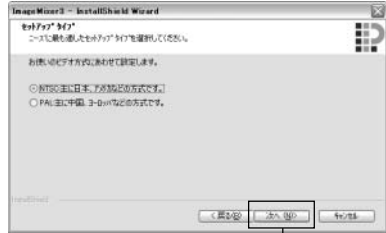
5　使用許諾契約の確認

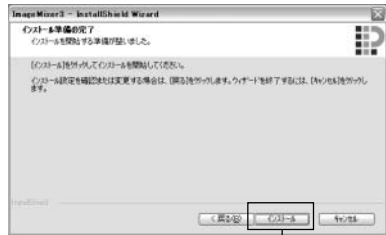
使用許諾契約をよくお読みいただき、同意いただく場合は「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

クリック

6 **インストール先の選択**

インストール先に変更がなければ、「次へ」をクリックしてください。
インストール先に変更がある場合には、「変更」をクリックし、インストール先を指定してから「次へ」をクリックしてください。

7 **ビデオ方式の選択**

ビデオ方式の設定画面が表示されるので、「NTSC」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

8 **インストールを実行する**

インストールの準備が完了しましたので、「インストール」をクリックしてインストールを実行してください。

重要 **Roxio社製Easy CD Creater 5をお使いのお客様へ**

本機に同梱されているImageMixer 3をインストールすると、Easy CD Creater 5が正常に動作しなくなる場合があるため、「インストール」をクリックした後、下図のような画面が表示されます。

Easy CD Creater 5をお使いになっている場合は、「はい」をクリックしてImageMixer 3のインストールを中止してください。
ImageMixer 3をお使いになる場合は、Easy CD Creater 5をアンインストールしてからImageMixer 3をインストールしてください。

9 **インストール終了後、再起動を促すメッセージが表示されるので、「完了」をクリックしてパソコンを再起動する**

再起動後、パソコンからCD-ROMを取り出してください。

以上でソフトウェアのインストールは完了です。

クリック

- ソフトウェアのインストール完了後、お使いのパソコンによっては、Direct Xのインストールが始まることがあります。その場合は、画面表示に従って、インストールしてください。

[Macintoshをお使いの場合]

1 **パソコンの電源を入れ、同梱のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる**

2 **デスクトップに表示される「DVDCAM3HS」アイコンをダブルクリックする**

3 **画面に表示されるImageMixer for DVDCAM.pkgのアイコンをダブルクリックする**

インストーラが起動されます。
「続ける」をクリックしてください。

4 **使用許諾契約を確認する**

使用許諾契約画面が表示されます。インストール時に使用する言語を設定してください。その後、使用許諾契約をよくお読みいただき、同意いただく場合は「続ける」をクリックしてください。使用許諾契約に同意いただける場合には、「同意します」をクリックしてください。
※同梱のMacintosh用ソフトウェアは、OSで使用している言語が自動的にインストールされます。

インストール時の言語の設定

クリック

5 **インストール先とインストールの種類を選択する**

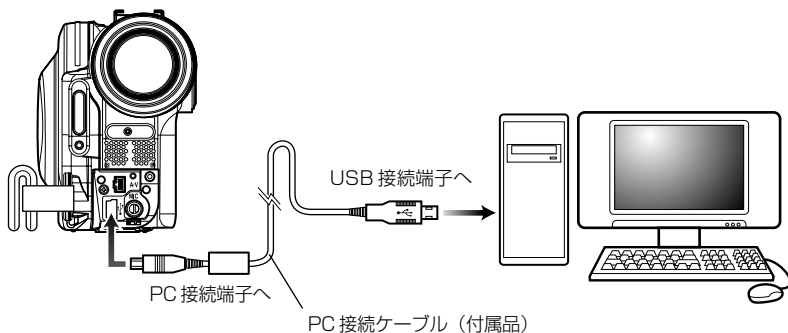
画面の指示に従って操作してください。インストールが開始されます。

6 **インストールが終了すると、終了画面が表示されるので「閉じる」をクリックする**

インストール画面が閉じてインストールが完了します。
CD-ROMを取り出してください。

カメラをパソコンにつないで認識させる

PC 接続ケーブルでパソコンと接続する

付属の PC 接続ケーブルを使って、本機とパソコンを下の図のように接続します。

- PC 接続ケーブルから本機へは電源が供給されません。電源は AC アダプター／チャージャーをお使いください。
- パソコンと本機を接続するときは、PC接続ケーブルとACアダプター以外のケーブルやカメラアクセサリー（外付けビデオフラッシュ、外部マイクなど）は外してください。
- 本機とパソコンを接続すると、ディスク／PC接続ランプが緑色に点灯します。また、HDD、DVDにアクセスしている間は、オレンジ色に点灯または点滅します。SDメモリーカードにアクセスしている間はカードアクセスランプが赤色に点灯または点滅します。
- 本機をパソコンに接続している間は、液晶モニターには何も表示されません。
- Windows をお使いの場合、本機は、パソコン側の USB 端子が USB1.1 でも接続できます。データの転送速度は USB2.0 端子に接続したときより遅くなるため、滑らかな再生ができなかったり、処理に時間がかかることがあります。
- P.150 の「パソコンと接続するときの注意事項」をお読みください。

本機は電源スイッチを「HDD」に合わせた場合のHDDモード、「DVD」に合わせた場合の DVD モード、電源スイッチを「SD」に合わせた場合のカードモードという三つのモードがあります。
※パソコン接続中のモード切替はできません。ＰＣ接続ケーブルをパソコンから取り外してから（☞P .133）、電源スイッチを切替えてください。

本機とパソコンをPC接続ケーブルで接続すると、自動的にパソコンから本機が認識されます。認識後、パソコンの再起動を要求されることがあります。そのときは指示に従い、再起動してください。

本機をパソコンに接続すると、ドライブとして認識されます。画面上には、以下のように表示されます。

[Windows をお使いの場合]

本機の電源スイッチを「HDD」または「DVD」に合わせてパソコンと接続した場合、光ディスクドライブとして認識され、本機にセットされているDVDにアクセスできます（アイコンの形状や、G:などのドライブ名はお使いのソフトウェア環境により異なります）。

本機の電源スイッチを「SD」に合わせてパソコンと接続した場合、リムーバブルディスクとして認識され、本機にセットされているSD メモリーカードにアクセスできます（G:などのドライブ名はお使いのソフトウェア環境により異なります）。

リムーバブル ディスク (G:)

[Macintosh をお使いの場合]

本機の電源スイッチを「HDD」または「DVD」に合わせてパソコンとUSB 接続すると、リムーバブルドライブとして認識され、右記のようなアイコンが表示されます。
（アイコンの形状や、ドライブ名はお使いのソフトウェア環境により異なります。）

カメラの電源を「SD」に合わせてパソコンとUSB 接続すると、リムーバブルドライブとして認識され、右記のようなアイコンが表示されます。
このアイコンをダブルクリックすると、カードの内容を確認できます。
（アイコンの形状や、ドライブ名はお使いのソフトウェア環境により異なります。）

●静止画の取り扱いについて

本機でSDメモリーカードに記録した静止画は、JPEG方式で記録されており、JPEG画像に対応したアプリケーションでお楽しみいただけます。パソコンへの取り込み方法は次の通りです。
静止画が記録されたSDメモリーカードを本機に挿入し、本機をパソコンに接続してください。画面に表示されたリムーバブルドライブアイコンをダブルクリックするとカードの内容が表示されます。
カードの中にある「DCIM」→「100*HPNX1」フォルダ内に本機で記録された静止画が記録されていますので、パソコン上にドラッグ&ドロップで取り込むことができます。
※他の DCF 対応機器で記録されている場合は、数字が変更になることがあります。

パソコンと接続中は本機で次の操作はできません

- 本機の操作ボタンを使ったカメラの操作
- 本機のディスク取り出しボタンでの DVD の取り出し
- 電源スイッチを使って電源を切る
- HDD/DVDに記録されているファイルのエクスプローラ／Finderからの操作（同梱のソフトウェアをお使いください。）
- HDD、DVD、カードへの同時アクセス

本機に入っているDVD/カードはパソコンの操作で取り出すことができます

・ 本機の電源を切ったり接続を外したりしなくても、DVDやSDメモリーカードを入れ替えることができます。

● DVD を取り出す場合

[Windows をお使いの場合]

Windows のエクスプローラまたはマイコンピュータで、本機のドライブアイコンを選ぶ
→ マウスの右ボタンをクリックする
→ [取り出し]を選ぶ
→ 本機の DVD 挿入部のふたが開きます。
別の DVD を入れて閉じると、DVD の認識をします。

[Macintosh をお使いの場合]

デスクトップ上に表示されている本機のドライブアイコンをゴミ箱に入れると、本機のDVD 挿入部のふたが開きます。別のDVD を入れてふたを閉じると、DVDの認識をします。

● SD メモリーカードを取り出す場合

[Windows をお使いの場合]

SDメモリーカードがパソコンのソフトウェアからアクセスされていないことを確認し、さらに本機のカードアクセスランプ（☞ P.25）が点灯または点滅していないことを確認して、SD メモリーカードを本機より取り出します。
SDメモリーカードにパソコンからファイルの書き込みを行なったあとは、しばらくの間、カードアクセスランプが点灯または点滅していることがありますので、カードアクセスランプが消灯するまでお待ちください。最大数分間かかる場合があります。

[Macintosh をお使いの場合]

デスクトップに表示されているリムーバブルドライブアイコンをドラッグしてゴミ箱へ入れてください。デスクトップからアイコン表示が消されたことを確認したあと、SDカードを本機カード挿入口から取り出してください。

パソコン内蔵の DVD ドライブで DVD を使用する

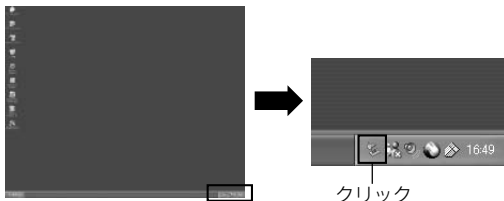
使用する DVD に合ったドライブの付いたパソコンとソフトウェアをお持ちの場合は、DVD を直接パソコンのドライブに入れて使用することができます。
DVD ドライブが対応する DVD は、DVD ドライブによって異なります。
それぞれの DVD に対応した DVD ドライブを使用してください。
ファイナライズしたDVD-RW／DVD-R／+RWは、DVD-ROM ドライブで使用できます（読み込み専用）。

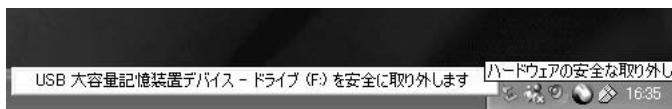
> Macintosh に搭載されているスロットイン式のドライブは、8cmDVD に対応していません。誤って挿入した場合、DVD が取り出せなくなりますので、絶対に 8cmDVD を挿入しないでください。

- パソコンで編集した映像を新しいDVD-RWに書き込む場合は、DVDを本機で初期化しないでください。
- 縦置きやスロットインタイプのパソコン用ドライブの中には8cmDVDが使用できないものがあります。
- 8cm CDを12cmの直径に変換するアダプタ（8cm CD用）は8cm DVD-RAM／8cm DVD-RW／8cm DVD-R／8cm +RWには使用できません。
- 本機で撮影したDVD-RW／DVD-R／+RWをパソコンで利用する場合は、DVDを本機でファイナライズしてください（☞ P.116）。
- ご使用のDVD-ROMドライブによっては、本機で記録したDVD-RW／DVD-R／+RWが読み込めない場合があります。

PC接続の終了（PC接続ケーブルの取り外し）・電源スイッチを切り替える前に

[Windowsをお使いの場合]

1 PC接続ケーブルをパソコンから抜く場合は、アプリケーションを終了し、Windows画面の右下のタスクトレイから「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックしてください

2 「USB大容量記憶装置デバイス」を選択してください

ドライブ名（F:など）はお使いのパソコンにより異なります。

3 「ハードウェアの取り外し」が可能である旨のメッセージが表示されますので
PC接続ケーブルを抜いてください

＊「ハードウェアの取り外し」がエラーになってしまう場合は、Windows®を一旦終了してから取り外してください。Windows® 2000 Professionalをお使いの場合は、Windows® 2000 SP3以降をインストールすると解決される場合があります。Windows® 2000 SP3の入手方法につきましては、お使いのパソコンの製造元、またはマイクロソフト社にお問い合わせください。

[Macintoshをお使いの場合]

カメラをパソコンから取り外す場合には、カメラのドライブアイコン（HDD、DVDもしくはカード）を選択し、「ファイル」メニューから「取り出し」を選択して取り外してください。

ソフトウェアの使い方

Macintosh をお使いの場合は P.144 をご覧ください。

[Windows をお使いの場合]

ImageMixer 3 の使い方

ImageMixer 3 は、本機で撮影した映像をパソコンに取り込み、その映像ファイルの編集や、映像ファイルから DVD-Video や DVD-VR の作成ができます。
ここでは、ImageMixer 3 の基本的な操作を説明します。
ImageMixer 3 の詳細な取扱説明書は、パソコンで閲覧できる電子取扱説明書でのご提供となります。ImageMixer 3起動中に「ヘルプ(H)」→「ImageMixerヘルプ(F1)」をクリックすると表示されます。映像ファイルの編集方法の説明などは、電子取扱説明書をご覧ください。

ImageMixer 3 を起動するには、インストール時にデスクトップに作成される ImageMixer 3 のショートカットをダブルクリックしてください。
※デスクトップにImageMixer 3のショートカットがない場合には、[スタート]→[プログラム]または[すべてのプログラム]→[PIXELA]→[ImageMixer 3]→[ImageMixer 3]を選択してください。

HDD/DVD に記録した映像をパソコンで見る

※本機で記録したDVD-RW/DVD-R/+RWは本機でのファイナライズが必要です(☞ P.116)。

1 本機をパソコンと USB 接続する
DVD の映像を見たいときは、再生したい映像の記録されたディスクを本機に入れてから、パソコンに USB 接続する

2 ImageMixer 3 を起動する
ImageMixer 3 が起動すると、右図のようなランチャーが表示されます。
ここで、「動画編集を起動する」をクリックします。

3 「新規に動画を編集する」をクリックする

4 プロジェクト設定画面が表示されるので「OK」をクリックする

HDD/DVDに記録した映像をパソコンで見る場合には、設定を変更する必要はありません。

クリック

「DVD」に合わせてあるとき

5 読み込み機器選択画面で、電源スイッチが「HDD」のときは「日立DVDカム（HDD)」、電源スイッチが「DVD」のときは「日立DVDカム」を選択する

「読み込み」をクリックします。
読み込み先を変更して、続けて読み込むときは、パソコンからPC接続ケーブルを外してから、電源スイッチを切り替えてください（☞P.130）。

「取り出し」ボタン　クリック

6 ImageMixer 3 Video Editor画面で再生したいタイトル/チャプターを選択し、「プレビュー」をクリックする

HDDまたはDVDに記録されている映像が表示されますので、再生したいタイトル/チャプターを選択して「プレビュー」をクリックすると、再生が始まります。

全画面表示ボタンをクリックすると、全画面で再生が行われます。全画面表示を終了する場合には画面をダブルクリックしてください。

クリック　全画面表示ボタン

DVDの映像を再生しているとき、別のDVDの映像を再生するときは「取り出し」ボタンをクリックしてください。本機のDVD挿入部のふたが開くので、DVDを取り出し、別のDVDを入れてください。

- 本機をパソコンのUSB1.1端子に接続した場合、データの転送速度が不足し、滑らかに再生されない場合があります。

HDD/DVDに記録した映像をパソコンに保存する

ImageMixer 3では、HDD、DVDに記録された動画ファイルをMPEGファイルとして取り込めます。また、カードに記録された静止画ファイルは、JPEGファイルとして取り込めます。パソコンに取り込んだ映像ファイルは、ImageMixer3でDVD-VideoやDVD-VRを作成するときにお使いになれます。

※本機で記録したDVD-RW/DVD-R/+RWは本機でのファイナライズが必要です(☞ P.116)。

お使いのパソコンのHDDのファイルシステムがFAT32の場合、ファイルシステムの制限により、4GB以上の映像ファイルを取り込むことはできません。
大容量の映像ファイルをご使用になる場合には、NTFSフォーマットのHDDでご利用ください。

1 **本機とパソコンをUSB接続する**
DVDの映像を保存したいときは、保存したい映像が記録されたDVDを本機に入れてから、パソコンにUSB接続する

2 **ImageMixer 3を起動する**
ImageMixer 3を起動すると、右図のようなランチャーが表示されます。ここで、「動画編集を起動する」をクリックします。

クリック

3 **「新規に動画を編集する」をクリックする**

4 **プロジェクト設定をする**
編集内容の保存場所や画質などを設定できます。
日本国内で再生する場合には、ビデオ方式は「NTSC」を必ず選択してください。
「PAL」は欧州などで使用されている映像方式のため、日本国内では再生できません。
また、本機の音声記録方式は、Dolby Digital方式となっております。オーディオ設定は「Dolby Digital」を選択してください。

クリック

プロジェクト設定後に[OK]ボタンをクリックします。

5 読み込み機器選択画面で、電源スイッチが「HDD」のときは「日立DVDカム(HDD)」、電源スイッチが「DVD」のときは「日立DVDカム」を選択する

「読み込み」をクリックします。
本機の電源スイッチが「SD」に合わせてあるときは、「リムーバブルディスク」を選択して、「読み込み」をクリックします。
読み込み先を変更して、続けて読み込むときは、パソコンからPC接続ケーブルを外してから、電源スイッチを切り替えてください（☞ P.130）。

「DVD」に合わせてあるとき

クリック

「SD」に合わせてあるとき

クリック

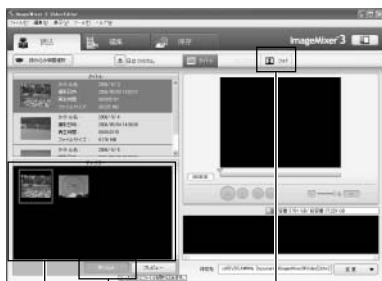
6 保存したいチャプターを選択し、「取り込み」をクリックする

HDDまたはDVDに記録されている映像が表示されますので、パソコンに取り込むチャプターを選択して「取り込み」をクリックすると、パソコンへの映像の取り込みが始まります。

クリック　「フォト」ボタン

チャプターを選択する

ヒント

- 映像ファイルの保存先は画面右下に表示されている「保存先」になります。
- 画面右下の「変更」をクリックすると保存先を変更できます。
- 取り込んだ動画や静止画には、自動的にファイル名が付きます。必要に応じて、ファイル名を変えられます。
- タイトル内のすべてのチャプターを一度に取り込む場合には、画面上部の編集メニュー内の「すべて選択」をクリックし、その後画面左下に表示される「取り込み」をクリックしてください。
- チャプターを複数取り込む場合は、ctrlキーを押しながらチャプターをクリックしてください。

本機をパソコンのUSB1.1端子に接続した場合、データの転送速度はUSB2.0端子に接続した場合より遅くなります。

HDD/DVDに記録した映像からDVD-RW/DVD-Rを作成する

本機で記録した映像から、DVDレコーダー／プレーヤーでお楽しみいただけるDVDを作成できます。

※本機で記録したDVD-RW/DVD-R/+RWは本機でのファイナライズが必要です（☞ P.116）。

1 **本機とパソコンをUSB接続する**
DVDの映像を保存したいときは、保存したい映像が記録されたDVDを本機に入れてから、パソコンにUSB接続する

2 **ImageMixer 3を起動する**
ImageMixer 3を起動すると、右図のようなランチャーが表示されます。
ここで、「DVD-Videoオーサリングを起動する」をクリックします。

3 **「新規にDVDを作成する」をクリックする**

4 **プロジェクト設定をする**
編集内容の保存場所や画質などを設定できます。
日本国内で再生される場合には、ビデオ方式は「NTSC」を必ず選択してください。
「PAL」は欧州などで使用されている映像方式のため、日本国内では再生できません。
プロジェクト設定後に[OK]ボタンをクリックします。

5 **読み込み機器選択画面で、電源スイッチが「HDD」のときは「日立DVDカム(HDD)」、電源スイッチが「DVD」のときは「日立DVDカム」を選択する**
「読み込み」をクリックします。
読み込み先を変更して、続けて読み込むときは、パソコンからPC接続ケーブルを外してから、電源スイッチを切り替えてください（☞ P.130）。

6 **DVD-Videoにしたい映像を選択し、「取り込み」をクリックする**

HDDもしくはDVDに記録されている映像が表示されます。パソコンに取り込むチャプターを選択して「取り込み」をクリックすると、パソコンへの映像の取り込みが始まります。

クリック　「取り出し」ボタン

DVDの映像取り込み終了後、さらに別のDVDの映像を取込むには、「取り出し」ボタンをクリックしてください。本機のDVD挿入部が開きますので、ディスクを取り出し、取り込みたい映像が記録された別のDVDを本機に挿入してDVD挿入部を閉じてください。
しばらくするとDVD内の映像が表示されますので、同じように映像の取り込み操作をしてください。
DVD-RW（VFモード）/DVD-R/+RWの映像を取り込んだ場合、撮影日時は表示されません。

ヒント

- タイトル内のすべてのチャプターを一度に取り込む場合には、画面上部の編集メニュー内の「すべて選択」をクリックし、その後画面左下に表示される「取り込み」をクリックしてください。
- チャプタを複数選択する場合は、ctrlキーを押しながらチャプタをクリックしてください。

7 **「オーサリング」をクリックし、DVD-Videoメニューを作成する**

「オーサリング」をクリックすると、DVD-Videoメニューの編集画面が表示されます。
「ソース」には、先程パソコンに取り込んだ映像ファイルが表示されます。映像ファイルを選択して「タイトル追加」をクリックすると、映像ファイルが登録されます。
ImageMixer3でパソコンに取り込んだ映像ファイル（取り込み方法☞P.136）を使用する場合には、「ファイル」をクリックして、映像ファイルが保存されているフォルダを選択してください。

クリック

「テーマ」や「タイトルメニュー設定」をクリックすると、DVD-Videoメニューのデザインや BGMの変更ができます。
「設定」→「環境設定」から作成するディスクの種類（8cm/12cm/2層）を選択してください。

8 「書込」をクリックし、DVD-Video を作成する

「書込」をクリックすると、書き込みの画面が表示されます。

「ディスクを作成」にチェックを入れ、DVD書き込みドライブの選択などの書き込み設定を行い、ドライブに何も記録していないDVD-RW/DVD-R をセットしてください。

「プレビュー」をクリックすると、作成されるDVD のイメージを確認できます。

「書き込み」ボタンをクリックすると、書き込み設定画面が表示されます。設定確認後に、「OK」をクリックしてください。書き込みが開始されます。

書き込みが終了すると、ドライブが開いてDVDが排出されます。これでオリジナルDVDの完成です。

ヒント

- 書き込みドライブに、書き込み済みのDVD-RWをセットすると「ディスクの内容を消去しますか？」というダイアログが表示されます。

  ディスクの内容を消去すると、ディスク上のデータはすべて消去されますので、ディスクの内容を十分確認してください。

  ここで「はい」を選択すると、ディスクの消去方法の選択画面が表示されますので、確認後、[OK]ボタンをクリックしてください。

  ディスクの内容を消去したあとに、本機のDVD挿入部のふたが開きます。メッセージに従ってセットしなおしてください。
- DVD-Video規格に準拠しない映像ファイルが含まれる場合には、映像が再エンコードされるため、画質が劣化します。
- 「ファイル」→「プロジェクトを保存する」を選択して、途中の作業状態をプロジェクトファイルとして保存できます。保存したプロジェクトファイルを読み込むことで、保存した状態から作業を再開できます。
- プロジェクトファイルは136ページの手順 **4** で設定したプロジェクトフォルダに保存されます。ファイル名は自動的に付きます。
- 本機でHDDに長時間記録した映像が1枚のDVDに収まらない場合、映像のカット編集をすると、1枚のDVDに収めることができます。
  映像のカット編集については、ImageMixer 3の電子取扱説明書をご覧ください。
  ImageMixer 3の電子取扱説明書はImageMixer 3を起動中に「ヘルプ(H)」→「ImageMixerヘルプ（F1)」をクリックすると表示されます（☞ P.134)。
- 撮影した映像にメニューなどを追加するため、もとの映像よりデータが大きくなります。

HDD/DVDに記録した映像からDVD-RAM/DVD-RWを作成する

本機で記録した映像から、DVDレコーダー／プレーヤーでお楽しみいただけるDVDを作成できます。DVD 作成後にも、DVD に映像の追加ができます。

※本機で記録した DVD-RW/DVD-R/+RW は本機でのファイナライズが必要です（☞ P.116）。

1 本機とパソコンを USB 接続する
DVD の映像を保存したいときは、保存したい映像の記録されたディスクを本機に入れてから、パソコンに USB 接続する

2 ImageMixer 3 を起動する
ImageMixer 3 を起動すると、右図のようなランチャーが表示されます。
ここで、「DVD-VR オーサリングを起動する」をクリックします。

クリック

3 「新規に DVD を作成する」をクリックする

4 プロジェクト設定をする
プロジェクトを設定します。編集内容の保存場所を設定できます。

日本国内で使用される場合には、ビデオ方式は「NTSC」を必ず選択してください。
「PAL」は欧州などで使用されている映像方式のため、日本国内では再生できません。
プロジェクト設定後に[OK]ボタンをクリックします。

クリック

「DVD」に合わせてあるとき

5 読み込み機器選択画面で、電源スイッチが「HDD」のときは「日立DVDカム(HDD)」、電源スイッチが「DVD」のときは「日立DVDカム」を選択する
「読み込み」をクリックします。
読み込み先を変更して、続けて読み込むときは、パソコンからPC接続ケーブルを外してから、電源スイッチを切り替えてください（☞ P.130）。

クリック

6 **DVD-VRにしたい映像を選択し、「取り込み」をクリックする**

HDDもしくはDVDに記録されている映像が表示されますので、パソコンに取り込むチャプターを選択して「取り込み」をクリックすると、パソコンへの映像の取り込みが始まります。

クリック　「取り出し」ボタン
チャプターを選択する

DVDの映像取り込み終了後、さらに別のDVDの映像を取り込むには、「取り出し」ボタンをクリックしてください。本機のDVD挿入部が開きますので、DVDを取り出し、取り込みたい映像が記録された別のDVDを本機に挿入してDVD挿入部を閉じてください。
しばらくするとDVD内の映像が表示されますので、同じように映像の取り込み操作をしてください。
DVD-RW（VFモード）/DVD-R/+RWの映像を取り込んだ場合、撮影日時は表示されません。

ヒント

- タイトル内のすべてのチャプターを一度に選択する場合には、画面上部の編集メニュー内の「すべて選択」をクリックし、その後「取り込み」をクリックしてください。
- チャプターを複数取り込む場合は、ctrlキーを押しながらチャプターをクリックしてください。

7 **「プログラム編集」をクリックし、登録する映像を選択する**

「プログラム編集」をクリックすると、DVD-VRのプログラム編集画面が表示されます。
「ソース」には、先程パソコンに取り込んだ映像ファイルが表示されます。映像ファイルを選択して「プログラムに追加」をクリックすると、映像ファイルがプログラムに登録されます。
ImageMixer3でパソコンに取り込んだ映像ファイル（取り込み方法☞P.136）を使用する場合には、「ファイル」をクリックして、映像ファイルが保存されているフォルダを選択してください。

プログラム一覧　新規プログラム

クリック

新しいプログラムを追加する場合には「新規プログラム」をクリックしてください。
「プログラム一覧」をクリックすると、登録したプログラムの一覧が表示され、作成するDVD-VRの内容をプレビューできます。

8 「書込」をクリックし、DVD-VR を作成する

「書込」をクリックすると、書き込みの画面が表示されます。
ドライブに書き込み可能なDVD-RAM/DVD-RW（VRモード）をセットし、「デバイス選択」をクリックしてDVD-VRを書き込むドライブを設定します。

書き込みドライブを設定すると、ドライブにセットされているディスク情報が表示されます。「ディスクの内容を消去して書き込む」にチェックを入れた場合、ディスク上のデータはすべて消去されますので、ディスクの内容を十分確認してください。
「ディスクの内容を消去して書き込む」にチェックを入れない場合には、映像の内容が追記されるため、映像ライブラリを作成できます。

「書き込み」ボタンをクリックすると、書き込み設定画面が表示されます。設定確認後に、「OK」をクリックしてください。書き込みが開始されます。

書き込みが終了すると、ドライブが開きます。DVDを取り出してください。

ヒント

- 「ファイル」→「プロジェクトを保存する」を選択して、途中の作業状態をプロジェクトファイルとして保存できます。保存したプロジェクトファイルを読み込むことで、保存した状態から作業を再開できます。
- プロジェクトファイルは136ページの手順 4 で設定したプロジェクトフォルダに保存されます。ファイル名は自動的に付きます。
- 本機でHDDに長時間記録した映像が1枚のDVDに収まらない場合、映像のカット編集をすると、1枚のDVDに収めることができます。

  映像のカット編集については、ImageMixer 3の電子取扱説明書をご覧ください。ImageMixer 3の電子取扱説明書はImageMixer 3を起動中に「ヘルプ(H)」→「ImageMixerヘルプ（F1）」をクリックすると表示されます（☞ P.134）。

[Macintoshをお使いの場合]

Pixe VRF Browser EXとImageMixer VCD/DVD2の使い方

Pixe VRF Browser EXは、本機で撮影したHDD/DVD-RAM/DVD-RW/DVD-Rの映像をパソコンにMPEGファイルとして取り込むことができます。また、ImageMixer VCD/DVD2は、Pixe VRF Browser EXで取り込んだ映像を使ってDVD-Video（DVD-RW/DVD-R）の作成ができます。

ここでは、Pixe VRF Browser EXとImageMixer VCD/DVD2の基本的な操作を説明します。
Pixe VRF Browser EXとImageMixer VCD/DVD2の詳細な取扱説明書は、パソコンで閲覧できる電子取扱説明書でのご提供となります。各ソフトウェアの詳細な使用方法は、電子取扱説明書をご覧ください。
Pixe VRF Browser EXの場合は、Pixe VRF Browser EX起動中に「ヘルプ」-「Pixe VRF Browser EXヘルプ」をクリックしてください。
ImageMixer VCD/DVD2の場合は、ImageMixer VCD/DVD2のフォルダ選択画面右上の？マークをクリックしてください。
Pixe VRF Browser EXとImageMixer VCD/DVD2を起動する場合は、Macintosh HD（起動ディスク）-「アプリケーション」（または「Applications」）-「ImageMixer for DVDCAM」内にある「Pixe VRF Browser EX for DVDカム」、「ImageMixerVCDDVD2」のアイコンをそれぞれダブルクリックしてください。

- 本機に同梱のソフトウェアはDVD-VR（DVD-RAM/DVD-RW）の書出しはできません。また、+RWにも対応しておりません。

HDD/DVD-RAM/DVD-RW/DVD-Rに記録した映像をパソコンに取り込み、DVD-Video（DVD-RW/DVD-R）を作成する

本機で記録した映像から、DVDレコーダー／プレーヤーでお楽しみいただけるDVDを作成できます。

※本機で記録したDVD-RW/DVD-Rは本機でのファイナライズが必要です（☞ P.116）。

1 **本機とパソコンをUSB接続する**
DVDの映像を保存したいときは、保存したい映像の記録されたディスクを本機に入れてから、パソコンにUSB接続する

2 **Pixe VRF Browser EXを起動し、ドライブ選択をする**
「ドライブ」アイコンをクリックすると、ドライブ選択画面が表示されます。本機の電源スイッチが「HDD」に合わせてあるときは「HITACHI DZ-USBHDD」、電源スイッチが「DVD」に合わせてあるときは「HITACHI DVD-RAM DZ-GBX3」を選択し、「OK」をクリックしてください。

読み込み先を変更して、続けて読み込むときは、パソコンからPC接続ケーブルを外してから、電源スイッチを切り替えてください（☞ P.130）。

3 取り込む映像ファイルを選択し、保存する

HDDもしくはDVDに記録されている映像が表示されますので、パソコンに取り込む映像を選択して「保存」をクリックすると、保存設定画面が表示されます。

ここで保存先などを設定した後で、「保存」をクリックすると、パソコンへの映像の取り込みが始まります。

DVDの映像を取り込んでいるときに、取り込み終了後、他のDVDの内容を取り込む場合には、ドライブアイコンの「取り出し」をクリックしてください。カメラのDVD挿入部のふたが開き、DVDを交換できます。

映像ファイルの取り込みが終わったら、次は、取り込んだファイルでDVD-Videoを作成するために、ImageMixer VCD/DVD2を起動します。

※映像をImageMixer VCD/DVD2で使用する場合は、動画の保存形式を「プログラムストリーム」に設定してください。

- DVD-RW（VFモード）／DVD-Rの映像を取り込む場合は、“チャプタ”タブをクリックして映像を選択してください。
- タイトル内のすべてのチャプターを一度に取り込む場合には、画面上部の編集メニュー内の「すべてを選択」をクリックし、その後「取り込み」をクリックしてください。
- HDD／DVD-RAM／DVD-RW（VRモード）の映像を取り込む場合、MPEGエディタを使用することで取り込み範囲を指定できます。

ご注意
- Pixe VRF Browser EXで取り込んだMPEGファイルをFinder上でダブルクリックするとPixe VRF Browser EXが起動しますが、取り込んだMPEGファイルの取り扱いはできません。
  ImageMixer VCD/DVD2でお使いください。

4 ImageMixer VCD/DVD2を起動し、取り込むファイルを設定する

ImageMixer VCD/DVD2を起動し、「DVD-Video」ボタンをクリックしてください。

クリック

ご注意 本機ではVideo CDの作成や再生はできません。また、DVD-Videoを作成するときも、+RW／+Rへの書き込みはできません。

5 登録する映像ファイルが保存されているフォルダを指定する

映像取り込みの際に指定した映像ファイルの保存先フォルダを選択し、「追加」をクリックしてください。

「オプション」をクリックし、作成するディスクの種類（8cmもしくは12cm）を選択してください。

日本国内でご使用になる場合には、ビデオ方式は「NTSC」を必ず選択してください。
「PAL」は欧州などで使用されている映像方式のため、日本国内では再生できません。
オプション設定後に[OK]ボタンをクリックし、そして「次へ」をクリックしてください。

保存先フォルダ選択　クリック

6 DVD-Videoメニューを作る

次に、DVD-Videoメニューの編集を行います。メニュースタイルの設定や表示するサムネイルの変更やメニューBGMの追加などができます。

メニュー画面の編集が終了したら「次へ」をクリックします。

クリック

ソフトウェアの使い方

7 **再生を確認する**

再生確認画面が表示され、作成するDVDのイメージを確認できます。再生確認が終わったら「次へ」をクリックします。

8 **ディスクに書き込む**

ディスクの書き込みの画面が表示されます。「ディスクを作成」にチェックを入れ、DVD書き込みドライブの選択などの書き込み設定をしてください。「書き込み」ボタンをクリックすると、「DVD ドライブにブランクメディアをセットしてください。」と表示されるので、ドライブに何も記録していないDVD-RW/DVD-Rをセットし、「OK」をクリックしてください。書き込み設定画面が表示されますので、設定を確認後、「OK」をクリックしてください。

ヒント

- 書き込みドライブに、書き込み済みのDVD-RWをセットすると「ディスクの内容を消去しますか？」というメッセージが表示されます。
  ディスクの内容を消去すると、ディスク上のデータはすべて消去されますので、ディスクの内容を十分確認してください。
  ディスクの内容を消去したあとに、本機のDVD挿入部のふたが開きます。メッセージに従ってセットしなおしてください。
- DVD-Video規格に準拠しない映像ファイルが含まれる場合には、映像が再エンコードされるため、画質が劣化します。

DVD に記録した映像をパソコンで見る

● DVD-RW（VF モード）/DVD-R/+RW の再生について

本機で記録し、ファイナライズしたDVD-RW（VF モード）/DVD-R/+RW はパソコンのDVD プレーヤーで再生できます。

1. 再生したいDVD-RW（VF モード）/DVD-R/+RW を本機に入れる
2. 本機とパソコンをUSB 接続する
3. DVD プレーヤーが自動的に起動しますので再生してください。

- 本機をMacintoshにつないでDVDプレーヤーなどで再生する場合、ドライブのリージョンコード設定画面が表示されます。お住まいの地域に合ったリージョンコードを設定してください（日本ではリージョンコード２になります）。

● DVD-RAM/DVD-RW（VR モード）の再生について

本機で記録されたDVD-RAM/DVD-RW（VR モード）は、OS に対応していないためそのまま再生はできません。Pixe VRF Browser EX で映像の確認はできますが、音声は再生されません。

● Pixe VRF Browser EX で取り込んだ MPEG ファイルの再生について

Pixe VRF Browser EX でパソコンに取り込んだ MPEG ファイルは、ImageMixer VCD/DVD2 に MPEG ファイルを登録し、ImageMixer VCD/DVD2 の再生確認画面で再生できます。
Pixe VRF Browser EXでパソコンに取り込んだMPEGファイルは、音声形式がAC3オーディオのため、QuickTime MPEG-2 再生コンポーネントを導入している場合でも音声は再生されず、映像のみの再生となります。

- DVD の記録状態によっては、正常に再生できないことがあります。

ソフトウェアのアンインストール

[Windows をお使いの場合]

「コントロールパネル」から「アプリケーションの追加と削除」を開き、表示されたアプリケーション一覧から該当項目を選択して「変更/削除」ボタンをクリックしてください。

- ソフトウェアをアンインストールしたときは、パソコンを再起動させてください。
- アンインストールには管理者権限が必要です。

[Macintosh をお使いの場合]

インストールされたフォルダ/ファイルを、手動でゴミ箱に移動させてください。
ゴミ箱に移動させるフォルダ/ファイルは以下の通りになります。

/アプリケーション/ImageMixer for DVDCAM
/使用ユーザ/ライブラリ/Preferences/IMxVCDDVD2Preference_HT
/使用ユーザ/ライブラリ/Preferences/ImageMixerVCDDVD2.plist
/使用ユーザ/ライブラリ/Preferences/com.PIXELA.Pixe VRF Browser EX for DVDCAM.plist
/ライブラリ/Receipts/ImageMixer for DVDCAM.pkg

- 「使用ユーザ」はログインしているユーザ名によって変わります。
- アンインストールには管理者権限が必要です。

パソコンと接続するときの注意事項

パソコンと本機を接続する場合、電源はACアダプター／チャージャーをご利用ください。

・ バッテリーパックでもご使用できますが、転送中に本機の電源が切れると、お客様の貴重な録画内容が失われたり、DVDに書き込み中の場合は、そのDVDが使用できなくなります。

パソコンから本機のHDD／DVDにアクセス中はケーブル類の抜き差しはしないでください。

・ アクセス／PC接続ランプや、カードアクセスランプが点滅しているときにPC接続ケーブル（同梱）や電源コードを抜き差しすると、お客様の貴重な録画内容が失われる原因となり、DVDに書き込み中の場合は、そのDVDが使用できなくなります。

パソコンと本機を接続するときは、PC接続ケーブルとACアダプター以外のケーブルやカメラアクセサリー（外付けビデオフラッシュ、外部マイクなど）は外してください。

パソコンと本機を接続しての動作は、約30℃以下の環境で約30分を目安に行なってください。

・ 本機が高温になると、本機側での読み取りや書き込みに支障が出る場合があります。特にDVD-Rに書き込み中にエラーが発生しますと、そのDVDは使用できなくなります。
本機が高温にならないよう、ご注意ください。

本機で設定したフェード設定、スキップ設定およびサムネイルは、同梱のソフトウェアでは反映されません。

USBハブを経由した接続や、パソコンのフロントパネルやキーボードにあるUSB端子に本機を接続した場合、パソコンから本機が認識されないなどの現象が発生することがあります。このようなときは、パソコンのリアパネルのUSB端子に接続してご使用ください。

本機の電源が「切」のときは、パソコンへは接続できません。

本機で撮影した、DVD-RW／DVD-Rは、パソコンのアプリケーションでファイナライズしないでください。DVDが使えなくなります。

本機に付属のソフトウェア以外のソフトウェアを使用して本機にデータを読み書きできることがありますが、動作保証はいたしません。

本機をパソコンに接続したままパソコンをサスペンド（またはスリープやスタンバイ）から起動した場合は、本機を認識できないことがあります。この場合は一度パソコンとの接続を外し、パソコンを再起動させてください。

パソコンに2台以上のDVDカメラを同時に接続することはできません。

本機に同梱のソフトウェアで作成したDVDは、DVDレコーダー／プレーヤー等それぞれのDVDに対応した機器での再生に対応しておりますが、全ての機器での再生を保証するものではありません。再生機器やDVDの記録状態により再生できない場合があります。

お問い合わせ先

● ImageMixer 3、Pixe VRF Browser EX、ImageMixer VCD/DVD2 に関するお問合わせ先

株式会社ピクセラ　ユーザーサポートセンター
TEL 06-6633-3900
FAX 06-6633-2992
受付時間 10：00 ～ 13：00　14：00 ～ 17：00
（土、日、祝日およびピクセラ社の休日を除く）

サポート WEB URL
http://www.pixela.co.jp/oem/hitachi/j/index.html

●パソコンと本機との接続等に関するお問い合わせ先

日立マルチメディアインフォメーションセンター
TEL 0120-147-226
受付時間 9：00 ～ 12：00　13：00 ～ 17：30
（土、日、祝日および弊社の休日は休ませていただきます）

別売品の紹介

●カメラアクセサリー

ビデオフラッシュ（DZ-FLH3）
ワイドコンバージョンレンズ （DZ-WL1）
テレコンバージョンレンズ（DZ-TL1）

・カメラアクセサリーをご使用になるときは、各アクセサリーの取扱説明書をご覧ください。

● DVD（日立マクセル製）

種類	両面／片面	DVD 形式
DVD-RAM	片面	DRM30HGPW.1P
	両面*	DRM60HG.1P A
DVD-R	片面	DR30HGCWP.1P
	両面*	DR60HG.1P A
DVD-RW	片面	DRW30HGPW.1P
	両面*	DRW60HG.1P A

*両面ディスクは汚れや傷がつきやすいので、十分に注意してください。

・パッケージに「キャノン・ソニーのDVDカメラに使える」と記載されていますが、本機でも使用できます。

●電　源

バッテリーパック（DZ-BP14SJ）7.2V ／ 1360mAh
バッテリーパック（DZ-BP21SJ）7.2V ／ 2040mAh

※詳しくは、カタログをご覧ください。
※本ページに記載の別売品は、形式や仕様が変更になったり、生産が中止になる場合があります。

海外で使うとき

本機は海外でもお使いいただけます。付属のACアダプター／チャージャーはAC100～240V・50／60Hzの電源で使用できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国では、コンセントの形状に合った市販の変換プラグアダプターをお求めのうえ、お使いください。各国のコンセントの形状については、旅行代理店などでおたずねください。

●コンセントの形状と変換プラグの種類

タイプ	A	B	BF	C	S
コンセントの形状	主に北米・南米・グアム・サイパン		イギリスなど	主にヨーロッパ	主にオーストラリア
変換プラグ	不要です。そのままコンセントに差し込んでください。				

●テレビについて

再生映像をテレビに接続してご覧になる際は、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC方式）で、映像・音声入力端子付きのテレビであれば、付属のAV／S入出力ケーブルを使って見ることができます。

日本と同じカラーテレビ方式（NTSC方式）を採用している国または地域（五十音順）

・アメリカ合衆国	・キューバ	・コロンビア	・チリ	・ハイチ	・パナマ	・ベネズエラ	・ミャンマー
・エクアドル	・グアテマラ	・スリナム	・ドミニカ	・バハマ	・フィリピン	・ペルー	・メキシコ
・エルサルバドル	・グアム	・大韓民国	・トリニダードトバゴ	・バミューダ	・プエルトリコ	・ホンジュラス	
・カナダ	・コスタリカ	・台湾	・ニカラグア	・バルバドス	・米領サモア	・ボリビア	

- 本機は国内仕様です。付属の保証書は国内のみ有効です。万一海外で故障や不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用の補償については、ご容赦ください。
- 外部入力は日本と同じカラーテレビ（NTSC方式）に対応しています。

メッセージが表示されたら

操作の途中でメッセージが表示されることがあります。
メッセージが表示されたときには、その内容に応じて、適切に対処してください。
メッセージは50音順に記載してあります。

<table>
<tr><th>メッセージ</th><th>メッセージの意味</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td>① 映像ファイルの一部にエラーを検出しました。修復を行いますか？</td><td rowspan="3">映像記録中や編集（シーン削除・シーン分割・結合・プレイリスト作成など）中に誤って電源を切るなどして、システムがファイル書き込み処理を正常に終了できなかった可能性があります。
「はい」を選択すると、自動的に映像ファイルの修復をします。「いいえ」を選択しても、次に電源を入れたときに再び同様のメッセージが表示されます（DVD認識中にDVDは取り出さないでください。ファイル修復機能が働きません）。
画面の指示に従ってください。このときに以下のような注意事項があります。
修復するときは、ACアダプター／チャージャーを使用してください。バッテリーパックを使用しての修復はできません。バッテリーパック使用時は、電源スイッチを一度切り、ACアダプター／チャージャーに接続してください。
HDDをお使いで① のメッセージが表示されたときはバッテリーパックでも修復できます（バッテリーパックの残量表示点滅時をのぞく）。
・修復は通常数分で完了しますが、長時間（1時間程度）かかる場合もあります。
・電源を切られたタイミングによっては、修復できない場合があります。
・他のレコーダーなどで記録されたデータが含まれると、正常に修復できない場合があります。
・不具合箇所の一部削除などにより、修復されたデータは元の記録内容と異なる場合があります。
・修復されたデータ（部分修復の場合は修正箇所のみ）については、修復実行時の日時情報が付加されるため、元の日時情報は失われます。
・全動画→全静止画の順で修復が行われるため、記録内容の前後関係が失われる場合があります（メッセージ ② ③の場合のみ）。
・P.160 注1参照。</td><td rowspan="3">—</td></tr>
<tr><td>② 映像ファイルにエラーを検出しました。修復を行いますか？</td></tr>
<tr><td>③ 映像ファイルの一部修復に失敗しました。全修復を行いますか？</td></tr>
<tr><td>① このDVDは初期化されていません。初期化しますか？</td><td rowspan="2">パソコンで初期化するなど、カメラ用に初期化されていないDVD-RW／+RWを挿入したときに表示されます。</td><td rowspan="2">P.47</td></tr>
<tr><td>② DVDを初期化します。記録フォーマットを選択してください。(DVD-RWをご使用のときのみ表示されます。)</td></tr>
<tr><td>AC アダプター／チャージャーを使用してください。</td><td>ダビング、HDD完全消去、DVDのファイナライズはバッテリーパックではできません。ACアダプター／チャージャーをお使いください。</td><td>P.33</td></tr>
<tr><td>AC アダプター／チャージャーを使用してください。電源を切ってください。</td><td>バッテリーパックを使っていると、映像ファイルの修復はできません。
手元にACアダプター／チャージャーがない場合は、DVDを取り出し、裏面または他のDVDをお使いください。取り出したDVDを修復するには、後で本機にDVDを挿入し、ACアダプター／チャージャーを接続するとできます。</td><td>P.33</td></tr>
<tr><td rowspan="2">DVD エラーが発生しました。</td><td>・別のDVDをお使いください。
・P.160 注3、注4参照。</td><td>—</td></tr>
<tr><td>・本機以外の機器で編集して記録情報の不整合が生じている可能性があります。DVDを初期化してからご利用になるか、別のDVDをお使いください。
・初期化するとDVDに記録されている内容はすべて消去されます。</td><td>P.112</td></tr>
</table>

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
DVDエラーが発生しました。 DVDを入れたまま電源を入れ直してください。	映像ファイル編集中にDVDエラーが発生した可能性があります。使用中のDVDを本機に入れたまま電源を切り、ACアダプター／チャージャーを接続後、再度電源を入れてください。映像ファイルの修復をします。	P.33
DVDエラーが発生しました。初期化しますか？	・パソコンなどで初期化したDVDではありませんか？初期化中に中断したDVDではありませんか？本機でこのDVDを使う場合は「はい」を選択して、初期化をしてください。初期化するとDVDに記録されている内容はすべて消去されます。 ・P.160注2参照。	P.112
DVDエラーが発生しました。 初期化できませんでした。	DVDが汚れているなどの可能性があります。DVDを取り出し指紋やほこりなどを落としてからご利用になるか、別のDVDをお使いください。 また、初期化が途中で中断されたDVDを再度入れたときにも、表示されることがあります。このようなときは、別のDVDをお使いください。	P.20 P112
DVDエラーが発生しました。電源スイッチを「DVD」に合わせてください。	ダビング時にDVDエラーが発生した場合に表示されます。ACアダプター/チャージャーに接続して電源スイッチを「DVD」にあわせてください。映像ファイルの修復をします。	P.38
DVDエラーが発生しました。ファイナライズできませんでした。	・ファイナライズ中にDVDエラーが発生し、ファイナライズに失敗したときに表示されます。DVDを交換してください。 ・P.160注3参照。	P.116
DVDエラーが発生しました。ファイナライズ解除できませんでした。	ファイナライズ解除中にDVDエラーが発生し、ファイナライズ解除に失敗したときに表示されます。DVDを交換してください。	P.117
DVDが初期化されていません。	DVDが初期化されていないか、壊れている可能性があります。 このメッセージが出たら、必ず本機で初期化してからお使いください。 それでも同じメッセージが表示される場合は、DVDが壊れている可能性があります。別のDVDを使用してください。 本機で使用したDVDでも、再度初期化が必要になる場合もあります（初期化するとDVDに記録されている内容はすべて消去されます）。	P.112
	P.160注2参照。	—
DVDが認識できません。DVDの傷や汚れ、裏表、正しく装着されているかを確認してください。	DVD認識中にエラーが発生しました。DVDに傷や汚れがないか、DVDの表裏が逆になっていないか、DVDがきちんとターンテーブルに押し込まれているかを確認してください。 P.160注3、注4参照。	P.20 P.45
DVDを入れてください。	本機、またはDVDを温度の低いところから温かいところへ移すと、カメラのレンズまたは本機の内部に露つきが発生してこのメッセージが表示されることがあります。 DVDを入れたまま、電源を切った状態でなるべく乾燥した場所に1～2時間以上、放置してください。	P.18
	DVDが入っていません。 DVDを入れてください。	P.45
	DVDが正しく入っていません。 DVDを中央のターンテーブルに「カチッ」と音がするまで押し込んでください。 P.160注3、注4参照。	P.45
	DVDが裏返しになっていませんか？ 表裏を確認して、DVDを入れ直してください。	P.45
DVD残量が不足しているため実行できません。	ダビング時に選択したシーンの容量がDVDの空き容量より大きい場合に表示されます。 シーンを選択しなおすか、別のDVDをお使い下さい。	P.87

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
DVD-R* の場合、一旦記録した後の動画画質、ワイドモードの変更はできません。	DVD-RW（VF モード）／DVD-R の場合、一度記録した後の記録画質およびワイドモードの変更はできません。 * DVD-RW（VF モード）をお使いの場合は「DVD-RW（VF)」と表示されます。	P.68 P.70
DVD-R* の場合、一旦ワイド記録した後の入力切替の変更はできません。	DVD-RW（VF モード）／DVD-R の場合、一度ワイド記録した後の入力切替の変更はできません。 * DVD-RW（VF モード）をお使いの場合は「DVD-RW（VF)」と表示されます。	P.70 P.71
DVD-R*の場合、動画画質、ワイドモードの混在はできません。	DVD-RW（VF モード）／DVD-R の場合、DVD の途中で動画画質やワイドモードの変更ができません。ダビングする動画を変更するか、または、DVD を DVD-RAM もしくは DVD-RW（VF モード）にかえてください。 * DVD-RW（VF モード）をお使いの場合は「DVD-RW（VF)」と表示されます。	P.68 P.70
DVD-R* の場合、動画画質 STD かつ 16:9 で記録されたシーンのダビングはできません。	DVD-RW（VF モード）／DVD-R ／ +RW の場合、動画画質「STD」とワイドモード「オン」の組み合わせの動画を記録することはできません。DVD を DVD-RAM または DVD-RW（VR モード）にかえてダビングしてください。 * DVD-RW（VF モード）をお使いの場合は「DVD-RW（VF)」、+RW をお使いの場合は「+RW」と表示されます。	P.87
DVD-R* の場合、動画画質がSTDのときはワイドモードの設定ができません。	DVD-RW（VF モード）／DVD-R ／ +RW の場合、動画の画質が STD のときはワイドモードの設定ができません。 * DVD-RW（VF モード）をお使いのときは「DVD-RW（VF モード)」、+RW をお使いのときは「+RW」と表示されます。	P.68 P.70
ＨＤＤエラーが発生しました。	ＨＤＤを初期化してからご利用ください。 初期化すると、ＨＤＤに記録されている内容はすべて消去されます。	P.112
ＨＤＤエラーが発生しました。 初期化しますか？	ＨＤＤの初期化を中断しませんでしたか？ 「はい」を選択して初期化してください。 初期化すると、ＨＤＤに記録されている内容はすべて消去されます。	P.112
ＨＤＤエラーが発生しました。 初期化できませんでした。	ＨＤＤの初期化を中断しませんでしたか？ リセットボタンを押して、システムリセットしてください。	P.167
ＨＤＤエラーが発生しました。 電源を入れなおしてください。	映像ファイル編集中にＨＤＤエラーが発生した可能性があります。本機の電源を切り、ＡＣアダプター／チャージャーを接続後、再度電源を入れてください。 映像ファイルの修復をします。	P.33
HDD が初期化されていません。	HDD が初期化されていないか、壊れている可能性があります。	—
HDD 残量が不足しているため実行できません。	不要な映像を削除してください。	P.90
HDD モードではファイナライズできません。DVD モードに切替えてから実行してください。	電源スイッチが「HDD」で、ファイナライズボタンを押した場合に表示されます。電源スイッチを「DVD」に合わせてから、DVD のファイナライズをしてください。	P.116
HDD/DVDが高温のため処理を継続できません。 しばらく間をおいてから実行してください。	本機内の温度が高温になっています。本機内の温度が高温になると正常に DVDへの書き込みやHDD/DVDからの読み込みができない可能性があります。電源を切って、しばらくお待ちください。	P.38
HDD/DVD残量がなくなります。	HDD/DVD の残量が、動画で 1 分以内になりました。不要なシーンを削除するか、別のディスクをお使いください。	P.90 P.172
HDD/DVDプロテクトされています。 HDD/DVDプロテクトを解除してください。	HDD/DVD がプロテクトされています。 ディスクナビゲーションのメニューからディスクプロテクトを解除してください。	P.113

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
いくつかの管理情報を追加できませんでした。	登録されているシーン数が登録可能な最大数に達しています。いくつかのシーンを結合するか、削除してください。	P.90 P.92
映像ファイルの修復に失敗しました。 DVDを交換してください。	修復しようとしているDVD-Rに異常が発生しました。DVDを交換してください。	—
映像ファイルの修復に失敗しました。DVDを初期化するか、交換してください。	・修復しようとしているDVD-RAM／DVD-RW／+RWに異常が発生しました。DVDを初期化してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、別のDVDをお使いください。初期化するとDVDに記録されている内容はすべて消去されます。 ・P.160注2参照。	P.112
映像ファイルの修復に失敗しました。HDDを初期化してください。	修復しようとしているHDDに異常が発生しました。HDDを初期化してください。 初期化するとHDDに記録されている内容はすべて消去されます。	P.112
オートファイナライズ中です。 しばらくお待ちください。	+RWをお使いのときに、記録した後や、最後に撮影したシーンを削除した後のディスク取り出しの際に表示されます。 オートファイナライズ後は、DVDレコーダー／プレーヤーで再生できます。	P.122
カードエラーが発生しました。	・カードの端子が汚れている可能性があります。汚れを落としてからご使用になるか、別のカードをお使いください。 ・静止画以外のデータが入っている可能性があります。別のカードをご使用ください。	P.32
カードエラーが発生しました。カードを入れたまま電源を入れ直してください。	映像ファイル編集中にカードエラーが発生した可能性があります。 使用中のカードを本機に入れたまま電源を切り、ACアダプター／チャージャーを接続後、再度電源を入れてください。	P.33
カードエラーが発生しました。 初期化しますか？	パソコンで初期化したカードではありませんか？ 初期化中に中断したカードではありませんか？ 本機で使用する場合は「はい」を選択して、初期化してください。	P.112
カードエラーが発生しました。 初期化できませんでした。	カードが壊れている可能性があります。別のカードをご利用ください。	P.32
カードがロックされています。	誤消去防止スイッチがロックされたカードが入っています。ロックを外してください。	P.32
カードがロックされています。 ロックを解除してください。		
カード残量がなくなりました	これ以上の記録はできません。不要な画像を削除するか、別のカードをご利用ください。	P.90 P.172
カード残量がなくなります	カードの残量が静止画で残り10枚未満になりました。 不要なシーンを削除するか、別のカードをお使いください。	P.90 P.172
カード残量が不足しています	不要な画像を削除するか、別のカードをご利用ください。	P.90 P.172
管理情報エラーが発生しました。	記録されている映像と、シーン情報の不整合が生じている可能性があります。管理情報更新をしてください。	P.114
	・別のDVDをお使いください。 ・P.160注3、注4参照。	—
記録データがありません。	1シーンも記録されていない状態で、ナビゲーションからの再生、編集を実行しようとした場合に表示されます。	—
結合するシーンが複数選択されていません。 シーンを複数選択してから結合してください。	結合したいシーンを2シーン以上範囲選択してから結合してください。	P.84

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
高温/低温のためHDDを使用できません。電源を切ってください。	本機のHDDの温度が動作温度内にない場合に表示されます。 なお、このメッセージが表示された場合でも、DVDに記録できる場合があります。	P.8 P.171
このDVDには記録できません	本機で使用できないDVDが入っているか、HDD/DVDが壊れている可能性があります。 DVDの種類が正しいか確認してください。また、HDD/DVDが書き込み禁止になっていないか確認してください。	P.30 P.113
このHDDには記録できません		
このDVDはPAL方式で記録されています。DVDを交換してください。	本機はNTSC方式で記録したDVDのみ使用できます。 PAL方式で記録されたDVDは使用できません。	—
このDVDは使用できません。DVDを交換してください。	本機で使用できないDVDが入っています。DVDの種類が正しいか確認してください。	P.30
このカードには記録できません。	本機で使用できないカードが入っています。別のカードをお使いください。	P.32
このカードは初期化されていません。 初期化しますか？	パソコンで初期化したカードではありませんか？ 本機で使用する場合は「はい」を選択して、初期化をしてください。	P.112
コピーガードされています	本機に入力されている映像信号にコピーガードがかかっている可能性があります。 映画などの映像ソフトやデジタル放送には、コピー防止のためのガードがかかっているものがあります。このような映像は、本機で録画することはできません。	P.124
削除できるシーンはありませんでした。	ディスクナビゲーションで複数のシーンを削除したとき、選択されているシーンがすべてロックされている場合に表示されます。削除を実行する場合にはロックを解除してください。	P.90 P.97
処理を中断しました。	複数のシーンを処理しているときに ■(停止／キャンセル)ボタンを押して中断したときなどに表示されます。	—
シーンNo.xxxは記録時間が長いため1枚のDVDに入りません。シーンを分割してください。	全シーンダビングのときに、ダビングするシーンの容量がDVD1枚の空き容量（約1.4GB・ FINEモード時で約30分）より大きい場合に表示されます。シーンを分割してからダビングをしてください。	P.87
シーンを削除できません。	分割などの編集をしたシーンを削除する際に起こる可能性があります。分割したシーンを結合してから削除してください。	P.92
シーンを分割できません。	分割などを繰り返し、シーンが極端に短い場合に表示されます。	P.91
静止画の記録はできません。	・電源スイッチが「HDD」「DVD」のときに「フォト／選択」ボタンを押すと表示されます。 ・HDD/DVDには静止画の記録はできません。 本機で静止画を記録する場合は、カードをお使いください。	P.38 P.172
静止画のサムネイルは変更できません。	静止画のサムネイルを変更することはできません。 動画を選択してください。	P.95
選択可能なシーン数を超えました。 これ以上、選択できません。	選択可能なシーン数は最大999シーンです。	P.84
選択シーンが連続していないため、結合できません。	選択シーンが連続していないときシーンの結合はできません。	P.92
選択範囲に静止画が含まれているため結合できません。	動画のみを選択してから結合してください。	P.92
ダビングできませんでした。	ダビングに失敗したときに表示されます。	—

メッセージが表示されたら

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
登録可能なシーン数を超えています。 シーンを登録できません。	プレイリストに登録されているシーン数が登録可能な上限に達しています。別のシーンをいくつか削除してください	P.104 P.107
登録可能なシーン数を超えています。 シーンを分割できません。	登録されているシーン数が登録可能な上限に達しています。別のシーンをいくつか削除してください。	P.104 P.107
登録可能なプレイリスト数を超えています。	登録されているシーン数が登録可能な上限に達しているときに、プレイリスト作成で新規または編集が選ばれた場合に表示されます。	P.104
登録シーンが全て削除されたため、編集されたプレイリストを削除しました。	プレイリストのシーンがすべて削除されました。 規格上、シーンのないプレイリストを保持できていないので、登録シーンがすべて削除されたプレイリストは削除されます。	P.108
動画画質 / ワイドモードの設定が異なるシーンの結合はできません。	HDD モードでは、動画画質 / ワイドモードの設定が異なるシーンの結合はできません。	P.92
動画の記録はできません。	電源スイッチが「SD」のときに録画ボタンを押すと表示されます。	P.48
表示分類が “全て” の場合のみ実行可能です。	表示分類が動画／静止画のときに、シーンの結合や並べ替えを選んだ場合に表示されます。	P.117
秒撮モードに入れません	記録一時停止状態以外では秒撮モードに入れません。 以下の状態が考えられます。 ・ 電源スイッチが「DVD」のときに本機に DVD が入っていない ・ 電源スイッチが「SD」のときに本機にカードが入っていない ・HDD/DVD/ カードの残量がない ・HDD/DVD にプロテクトがかかっている　など	P.50
ファイナライズが途中で中断された可能性があります。ファイナライズしますか？	ファイナライズ途中に停電などで電源が切れたあとに、電源投入・DVD 挿入をすると表示されます。 ファイナライズをするときは「はい」を選び、再度ファイナライズをしてください。	P.116
複数シーン選択時には実行できません。	複数シーン選択時に、分割や、サムネイル変更を実行した場合に表示されます。	P.84 P.98
プレイリストが登録されていません。	プレイリストが1つも登録されていない状態で、プレイリスト切替を選んだ場合に表示されます。	P.105
プレイリスト中の関連シーンも削除されます。シーンを削除しますか？	シーン削除の際に表示されます。 DVD 内にプレイリストがある場合に、プログラムでシーン削除を実行すると表示されます（プレイリストでシーン削除をしてもメッセージは表示されません）。	P.90
プログラムが異なるため結合できません。プレイリストを作成し、結合してください。	プログラムが異なるシーンの結合はできません。結合したい場合は、プレイリストを作成してください。	P.92 P.104
プロテクトされたシーンが含まれます。シーンを削除しますか？	本機以外の機器でソフトウェアプロテクトがされている可能性があります。その場合はソフトウェアプロテクトをかけた機器でソフトウェアプロテクトを解除してください。	—
他の DVD 機器で再生する場合、ファイナライズが必要です。	ファイナライズしていないDVD-RW（VFモード）／DVD-Rを取り出したときに表示されます。 P.160 注5参照。	P.116

注 1）・DVDに汚れが付着したときにこのメッセージが出ることがあります。もし、映像を記録済みのDVDを入れた直後のDVD認識動作後にこのメッセージが表示されたときは、修復をせず、DVDを取り出して、DVDの汚れを付属の DVD クリーニングクロスでふき取ってからご使用ください。
・結露した場合にこのメッセージが出ることがあります。この場合は、修復をせず、電源を切り、乾いてから再び電源を入れてください。
・カメラで記録後、カメラからDVDを取り出さないで、電源を切→入して、修復メッセージが出た場合は、修復を選択してください。
・他の DVD だと正常に記録再生できる場合で、結露も DVD の汚れもないのに修復メッセージが出る場合は、修復を選択してください。
注 2）・DVDに汚れが付着したときにこのメッセージが出ることがあります。この場合は、初期化をせず、DVDを取り出して、DVD の汚れを付属の DVD クリーニングクロスでふき取ってからご使用ください。
・結露した場合にこのメッセージが出ることがあります。この場合は、初期化をせず、電源を切り、乾いてから再び電源を入れてください。
・初期化すると DVD に記録されている内容は消去されます。
注 3）・DVDに汚れが付着したときにこのメッセージが出ることがあります。DVD を取り出して、DVD の汚れを付属の DVD クリーニングクロスでふき取ってからご使用ください。
・結露した場合にこのメッセージが出ることがあります。乾いてからご使用ください。
注 4）・片面DVDの場合、DVD の裏表が逆になっているとこのメッセージが出ます。DVD を正しい向きに入れ直してください（レーベル印刷面を外側にして挿入してください）。
注 5）・ファイナライズしていないDVD-RW（VFモード）／DVD-RはDVDレコーダーに入れないでください。DVD が使えなくなる場合があります。

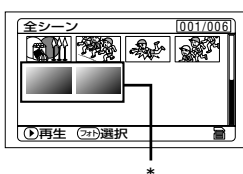
故障かな…と思ったら

修理を依頼する前に、下記のことをお調べください。それでも動作に支障が出たときは、ご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、アフターサービスについては、P.168 をご覧ください。

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
電源について	バッテリーパックが充電されない	AC アダプター／チャージャーに DC パワーコードが接続されていませんか？ 外してください。	P.33 P.34
	＊ 右の対処で解決しない場合は、バッテリーパックの寿命が考えられます。新しいバッテリーパックをご用意ください。	バッテリーパックが異常に熱くなっていませんか？ バッテリーパックを外して、しばらく放置し、温度が低くなってから充電してください。 周囲の温度が低い、または高くなっていませんか？ 気温が 10 ～ 30℃の環境で充電してください。	P.34
		長期間使用しなかったバッテリーパックではありませんか？ 一度バッテリーパックを外し、取り付けなおしてください。	P.37
	バッテリーパックの消耗が早い	気温が低い場所で使用しませんでしたか？ 満充電されたバッテリーパック（DZ-BP14S/DZ-BP14SJ/DZ-BP21SJ）は、気温の低い場所などでは通常よりもバッテリーの消耗が早くなることがあります。 気温の低い場所でご使用になるときは、バッテリーパックを多めにご用意ください。	P.36
		バッテリーパックの寿命が考えられます。 バッテリーパックは、長期間あるいは頻繁に使用すると、性能が劣化します。新しいバッテリーパックをお買い求めください。	P.37
	ACアダプター／チャージャーの CHARGE ランプが点滅している	バッテリーパックが過剰に放電している可能性があります。そのまましばらく充電を続けると、規定の電圧まで充電され、充電ランプが点灯します。その後、正常に充電されます。 周囲の温度が低い、または高くなっていませんか？ 充電は気温が 10 ～ 30℃の環境でしてください。	P.34
	電源を入れてもすぐに切れる	バッテリーパックは充電されていますか？ バッテリーパックを充電してください。	P.34
	電源を入れると、液晶モニターがついたり消えたりする		
	液晶モニターに何も表示されないのにアクセス／PC接続ランプが点滅している		
	途中で電源が切れる	パワーセーブの設定が「オン」になっていませんか？ 「オン」に設定してあると、電源を入れたままの状態で撮影や再生をしないで５分以上経過すると、自動的に電源が切れてしまいます。電源スイッチを「切」に合わせて、再度電源を入れてください。自動で電源を切らないようにするためには、パワーセーブの設定を「オフ」にしてください。	P.41
		秒撮モードになっていませんか？ 秒撮モードのまま、30 分以上経過すると自動的に電源が切れてしまいます。 電源スイッチを「切」に合わせて、再度電源を入れてください。	P.50

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
	電源が切れない	バッテリーパックまたはACアダプター／チャージャーを抜いてください。その後、本機のRESETボタンを押し、再度電源を入れてください。	P.33 P.35 P.167
	電源を切っているのに、ふたを開けると、アクセスランプが点滅する	DVDを認識するために自動的に電源が入ります。ふたを閉めると自動的に電源が切れます。	P.46
撮影・録画時	「録画」ボタンを押しても録画が始まらない	正しい種類のDVDが入っていますか？ 電源スイッチは「HDD」「DVD」に合わせてありますか？ 入力されている映像にコピーガードがかかっていませんか？ HDD/DVDプロテクトがかかっていませんか？ ファイナライズ済みのDVDが入っていませんか？ HDD/DVDの残量がありますか？	P.30 P.38 P.113 P.116
	録画を開始しても、すぐ止まってしまう	DVDに傷や汚れ、指紋はありませんか？ DVDをクリーニングしてください。それでも改善されない場合は、DVDを交換してください。	P.20
		他のAV機器から直接本機の映像／音声入力端子に接続していませんか？ AVセレクタなど多くの機器を経由して接続すると、映像信号がうまく伝わらない場合があります。その場合は、映像信号が経由する機器の数を減らすか、直接接続してください。	P.123
		テレビゲーム機やパソコンの映像を録画しようとしていませんか？テレビゲーム機やパソコンの機種によっては、映像を本機で録画できない場合があります。	—
	静止画が撮影できない	正しい種類のカードが入っていますか？ 電源スイッチは記録メディアに応じたところに合わせてありますか？ 「SD」に合わせてください。 カードロックがかかっていませんか？ カードに残量がありますか？	P.32 P.38 P.113
	液晶モニターが見にくい	液晶モニターの明るさは調節しましたか？ 撮影や録画を停止し、液晶モニターの明るさを調節してください。	P.44
		屋外で使用していますか？ ビューファインダーをお使いください。液晶モニターをお使いになる場合は、液晶モニターに直射日光が当たらないように、角度を調節してみてください。	P.39
	液晶モニターに表示ムラができる	液晶モニターやそのまわりを押しませんでしたか？ 液晶モニターを圧迫すると映像ムラが生じます。手を離して、しばらく放置すると元に戻ります。	—
	ピントが合わない	オートフォーカスが働きにくい被写体ではありませんか？ 手動でピントを合わせてください。	P.59
		フォーカスアイコンが表示されていませんか？ マニュアルフォーカスになっています。手動でピントを合わせるか、マニュアルフォーカスを解除してください。	P.58
		ビューファインダーの場合は、視度調節が合っていますか？ 視度調節をしてください。	P.39
		上記以外の場合は、一度電源を切り、入れなおしてください。	P.38

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
	修復エラーメッセージが出たとき	画面表示にしたがい、修復をしてください。 修復は AC アダプターでしかできません。 HDDをお使いで、映像ファイルの一部にエラーを検出した場合には、バッテリーパックでも修復できます（バッテリーパックの残量表示点滅時をのぞく）。 修復には、数分から、場合によっては数時間かかることがあるので、すぐに録画を始めたいときには、DVDを取り出し、別のDVDを入れてお使いください。取り出したDVDは、後でACアダプターをつないで修復できます。	P.33
再生時	DVD認識が終了しない	DVDが汚れていませんか？ 付属のディスククリーニングクロスでふきとってください。	P.21
	再生ボタンを押しても再生できない	本機以外で記録した映像ではありませんか？ 本機以外で記録した映像は、本機で再生できないことがあります。	P.78
		本機以外で映像を編集しませんでしたか？ 本機以外で本機の映像を編集すると、本機では再生できないことがあります。	P.78
	テレビに再生映像が出ない	テレビの入力切替は正しく設定されていますか？ テレビによってはビデオ入力が複数あるものがあります。接続した端子に対応する入力になっているか、確認してください。 ビデオデッキに接続しているときは、ビデオデッキの入力切替を「外部入力」（LINE）にしてください。	P.120
		テレビと正しく接続されていますか？ 接続を確認してください。	P.120
	ワイドモードで記録した映像が、縦長に表示される	4：3表示のみ対応のテレビと接続していませんか？ 「TV接続設定」を「4：3」に設定した本機とテレビを接続してください。	P.118
	再生画面が一瞬途切れることがある	DVDに傷や汚れ、指紋はありませんか？ DVDをクリーニングしてください。	P.20
	再生している動画の画質が悪い	アナログ方式のビデオ（VHSや8mm）からのAV入力映像を録画した映像ではありませんか？ 再生側にTBC回路を搭載したビデオデッキを用いると改善される場合があります。	—
	再生している静止画にぶれが多い	外部入力で「フレーム」を選択して撮影しませんでしたか？ 記録機能設定の「外部静止画入力」を「フィールド」に設定してください。	P.72
	音声が出ない	テレビの音量は正しく設定されていますか？ テレビの音量を調節してください。	P.121
	ディスクナビゲーションのサムネイルが表示されない	AV／S入出力端子に接続して録画したときに、映像が乱れていませんでしたか？ ノイズや乱れのない映像を録画してください。	—

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
	カードの静止画が再生できない	本機では、SDメモリーカードに記録されDCF規格に対応した他のデジタルカメラの画像データを再生することができます。ただし、再生できる画素数は、水平方向80画素×垂直方向60画素から水平方向4000画素×垂直方向3000画素までです。この画素数の範囲外の場合、青色のサムネイル（右図*）が表示され再生できません。 上記画素数内であっても、他のデジタルカメラの記録状態によっては、再生できない場合があります。 DCF(Design rule for Camera File system)とは、デジタルカメラの統一画像ファイルフォーマットです。DCF対応のデジタル機器では、相互に画像ファイルを利用することができます。	—
	カードの静止画再生に時間がかかる	静止画を再生すると、“再生を開始します。”と表示されますが、画素数の大きな静止画では表示されるまでに時間がかかります。	—
パソコンと接続しているとき	パソコンにドライブアイコンが表示されない	カメラの電源は入っていますか？ 電源を確認してください。	P.38
		パソコンの電源を切ってからPC接続ケーブルを一度外してください。再度パソコンの電源を入れて、PC接続ケーブルで本機と接続してください。	—
		ＰＣ接続ケーブルが本機に根元まで挿入されているか、確認してください。	P.130
	本機のパソコン再生で再生異常が発生する	USB接続で発生する場合は、転送レートが十分で無い場合に発生します。USB2.0に対応したUSB端子に接続することをおすすめします。	P.126
	パソコンのアプリケーションが正常に動作しない	一度パソコンと本機の電源を切り、再度試してください。	—
	DVDへの書き込み中にエラーが出る	本機が連続動作により、高温になっています。 一度パソコンと本機の接続を外し、本機からDVDを取り出したあと本機の電源を切ってください。しばらくしてから再度接続し、新しいDVDに書き込みをしてください。	P.133
	映像を転送している間に停止してしまう	お使いのパソコンの別のUSB端子に接続してください。デスクトップ型パソコンの場合、リアパネルのUSB端子をおすすめします。USB2.0の拡張カードをお使いの場合は、各USB2.0のメーカーが提供する、最新版のドライバをインストールされることをおすすめします。	P.126
		DVDに傷や汚れ、指紋はありませんか？ DVDをクリーニングしてください。	P.20
	添付のソフトウェアをインストールしたら、パソコンに内蔵しているDVDドライブが使えなくなった	お使いのパソコンのDVD編集／作成ソフトウェアをバージョンアップすると解決することがあります。	—

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
パソコンと接続しているとき	ImageMixer3 を起動するとエラーが表示される。またはパソコンが応答しなくなる	お使いのパソコンのディスプレイアダプタ（ビデオカード）が DirectX® 9.0c に対応しているかご確認ください。	P.126
	パソコンのアプリケーションから動画が認識されない	本機の電源スイッチが「HDD 」または「 DVD 」になっていることをご確認ください。	P.38
	パソコン接続中にディスク取出しボタンが効かない	パソコン接続中の DVD の取り出しは、各アプリケーションのイジェクトボタンをクリックするか、エクスプローラから本機のドライブアイコンを右クリックして「取り出し」を実行してください。	P.131
	Macintoshに取り込んだ MPEG ファイルを MPEG 2 再生コンポーネントを適用した QuickTimeで再生しても音が出ない	Macintosh に Pixe VRF Browser EX で取り込んだ MPEG ファイルは、音声形式がＡＣ３オーディオのため、QuickTimeMPEG-2 再生コンポーネントを導入している場合でも音声は再生されず、映像のみの再生となります。再生には、ImageMixer VCD/DVD2 をお使いください。	P.148
	パソコンで DVD-RAM 内のファイルのタイムスタンプを見ると、撮影時刻とずれている	本機のファイルシステムはGMT(グリニッジ標準時)で動作しており、時差情報は未設定となっています。2006 年 1 月現在の Windows® では、エクスプローラから見えるファイルのタイムスタンプは撮影時刻と差があるように見えます。なお、再生画面上の日付表示は実際の撮影時刻で表示されます。	—
	ImageMixer3 の動画編集で、編集した動画の保存に時間がかかる	プロジェクト設定と異なる内容の映像ファイルを編集した場合、映像ファイル全体が再エンコードされるため、時間がかかります。プロジェクト設定を再確認してください。	—
	「ハードウェアの取り外し」がエラーになってしまう	Windows® を一旦終了してから、取り外してください。 Windows® 2000 Professional をお使いの場合は、Windows® 2000 SP3 以降をインストールすると解決する場合があります。	P.134
	USB2.0 カードを使っているのに、USB2.0 HS（高速）モードで接続されない	USB2.0カードに付属しているドライバをインストールされたかご確認ください。USB2.0 カードをHS（高速）モードで動かすためには、USB2.0 カードの製造元が提供するドライバが必要です。	—
その他	カメラが動作しない	十分に充電されたバッテリーパックを取り付けてありますか？ または、コンセントから電源がとってありますか？	P.33 P.34
	電源が入らない、ボタンを押しても操作を受け付けない	システムリセットをしてください。	P.167
		カメラに強い衝撃を与えませんでしたか？ 本機が壊れている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	日付・時刻が合わなくなった	使用しない期間が長期に及びませんでしたか？ 内蔵電池がなくなっている可能性がありますので、充電してください。	P.40
	秒撮ボタンを押しても秒撮モードにならない	正しい種類の DVD またはカードが入っていますか？ HDD/DVD/ カードの残量はありますか？ 再生中ではありませんか？ ディスクナビゲーションの画面が表示されていませんか？	P.50
	シーンの削除ができない	削除したいシーンにカーソルが合っていますか？ 黄色のカーソルで任意のシーンを選んでも選択済のシーン（赤ワクのあるシーン）があるとそのシーンが削除されてしまいます。 サムネイル画面でカーソルとバーグラフの色を確認してください。	P.84 P.90

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
その他	ＤＶＤ が取り出せない（ふたが開かない）	電源を切る前にバッテリーパックやACアダプター／チャージャーを外しませんでしたか？ バッテリーパックは充電されていますか？ バッテリーパックまたはACアダプター／チャージャーをもう一度接続して「ディスク取出し」ボタンを押してください。 バッテリーパックの残量がなくなり、電源が切れていませんか？ 電源スイッチを「切」にして、「ディスク取出し」ボタンを押してください。 電源スイッチが「HDD」「SD」になっていませんか？ 電源スイッチを「DVD」または「切」に合わせてから、「ディスク取出し」ボタンを押してください。	P.33 P.34 P.38
	リモコンで操作できない	リモコンをカメラの受信部に向けていますか？ カメラの受信部に向けて操作してください。	P.29
		カメラの受信部に直射日光や蛍光灯の強い光が直接当たっていませんか？ 受信部に強い光が当たっていると、操作できません。 カメラの置き場所や角度を調整してください。	P.29
		リモコンに電池は入っていますか？ 電池の向きも確認してください。電池がなくなっている可能性もあります。電池を交換してみてください。	P.28
		カメラの電源は入っていますか？ カメラの電源を入れてください。	P.38
	ふたが閉まらない	DVD が正しく挿入されていますか？ DVD を取り出して、もう一度挿入してみてください。	P.45
		充電されたバッテリーパックまたはACアダプター／チャージャーを接続し、カメラの電源を入れてください。	P.33 P.35
	周期的に動作音がする	DVDを周期的に動作させているために出る音です。故障ではありません。	—
	手に振動を感じる、本機から小さな音がする	HDD/DVDドライブの動作により発生しています。故障ではありません。	—
	アクセス /PC 接続ランプがいつまでも点灯または点滅していて、操作ができない DVDを入れてから撮影できるようになるまで、時間がかかる	以下のような場合は、操作ができるようになるまで通常より時間がかかります。 ・DVD を入れた直後 ・最後に電源を切ってから長時間経過したとき ・前回撮影した状態から気温が大きく変わったとき ・傷・汚れ・指紋のある DVD を入れたとき ・激しい振動が加えられたとき ・電源スイッチで電源を切らずに、いきなりバッテリーや DC パワーコードを外したとき	P.18 P.45
	ビューファインダーに映像が映らない	液晶モニターが開いていませんか？ 液晶モニターが本機にしっかりロックされるまで閉じていないと、ビューファインダーに映像は映りません。 秒撮モードになっていませんか？	P.39 P.50
	液晶モニターに映像が映らない	PC 接続ケーブルでパソコンと接続していませんか？ PC 接続ケーブルを抜いてください。 ワイプアウトを設定して再生したシーンの最後で停止していませんか？ ディスクナビゲーションボタンを押してください。 秒撮モードになっていませんか？	P.50 P.93 P.130

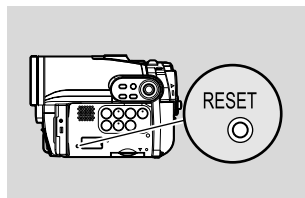
システムリセット

本機が正常に動作しないときは、システムリセットをすると、回復することがあります。システムリセットをすると、すべての設定値が工場出荷時の状態に戻り、日付もリセットされます。使用開始前に日付を設定しなおしてください。

1 電源を切る

電源スイッチを「切」に合わせてください。
バッテリーパック、ACアダプター／チャージャーも外します。

2 先の細いペンなどで RESET ボタンを数秒間押す

システムがリセットされます。

- RESET ボタンは強く押さないでください。
- RESET ボタンを押す前に、必ず DVD を本機から取り出してください。DVD が挿入されている状態で、RESET ボタンを押した場合、DVD に記録した映像が消失することがあります。

●設定項目一覧

	設定項目	初期設定	設定方法
カメラ機能設定	プログラム AE	オート	P.63
	ホワイトバランス	オート	P.65
	手振れ補正	オン	P.66
	デジタルズーム	40x	P.56
	マイクフィルター	オフ	P.67
	内蔵フラッシュ	オート	P.62
記録機能設定	動画画質	FINE	P.68
	静止画画質	FINE	P.71
	ワイドモード	オン	P.69
	入力切替	カメラ	P.71
	静止画外部入力	フィールド	P.72
	セルフタイマー	オフ	P.72
	画面表示出力	オン	P.73
	HDD 落下検出	オン	P.73
日付機能設定	日付設定	2006/ 1/ 1 AM0:00	P.40
	表示モード	年 / 月 / 日	P.40
LCD／EVF 設定	LCD 明るさ	< >	P.44
	EVF 明るさ	< >	P.44
	色のこさ	< >	P.44
	EVF 表示	オート	P.44
初期設定	操作音	オン	P.41
	パワーセーブ	オフ	P.41
	録画ランプ	オン	P.43
	言語切替	日本語	P.42
	デモモード	オート	P.43

※ 使用する HDD ／ DVD ／カードによっては表示されない項目もあります。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書（別添）	保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。 保証期間は、お買い上げ日から１年です。
補修用性能部品の保有期間	当社はこのDVDカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年間保有しています。 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
ご不明な点や修理に関するご相談は	修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または取扱説明書に記載の「ご相談窓口」にお問い合わせください。
転居されるときは	ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店をご紹介させていただきます。
修理を依頼されるときは（持込修理）	本機が正常に動作しないときは、「故障かな…と思ったら」（☞P.161～166）に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、お買上げの販売店にご連絡ください。 保証期間中は保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。 なお、DVDカメラ本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害（記録内容の喪失など）の責については、ご容赦ください。 アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。 品名：DVDカメラ 形名：DZ-HS303 故障の状況：（できるだけ具体的に）

修理を依頼されるときは（持込修理）

修理料金のしくみ	
技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張費	商品のある場所への技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

主な仕様

項目		仕様
CCD		1/3 型インターレース 総画素数 　約 331 万画素 有効画素数 　動　画 ：約 218 万画素 　　　　　：約 164 万画素（ワイドモード時） 　静止画 ：約 305 万画素
レンズ		F1.8-3.0 f=6.1-61mm、10 倍 フィルター径 37mm、ネジピッチ 0.75mm
フォーカス		オートフォーカス／マニュアルフォーカス
ズーム		光学 10 倍／デジタル併用 240 倍、 静止画時は 40 倍
必要最低照度		オート 24 ルクス（1/30） ローライトモード時 1 ルクス（1/4）
ビューファインダー		0.2 型カラー TFT（約 20 万画素相当）
液晶モニター		2.7 型ワイドカラー TFT（約 12 万画素）
手ぶれ補正方式		電子式
シャッター速度		1/4 ～ 1/4000（動画）
セルフタイマー撮影		あり （カード使用時）
外部マイク端子		ステレオミニジャック φ 3.5mm プラグインパワータイプのマイクはご使用できません。
内蔵 HDD 容量		8GB
撮影モード		動画（音声つき）
		静止画（SD メモリーカード）
動画最大記録時間	HDD	(XTRA)約 110 分／(FINE)約 180 分／ (STD)約 360 分
	DVD （片面あたり）	(XTRA) 約 18 分／(FINE) 約 30 分／ (STD) 約 60 分
静止画最大記録枚数	カード （32MB カード使用の場合）	約 18 枚（FINE モード時） 外部入力時→約 180 枚（FINE モード時） ただし画質やカードの種類により異なります（☞ P.172）。

記録方式	DVD-RAM／DVD-RW（VRモード）	動　画：DVDビデオレコーディング（DVD-VR）規格 音　声：ドルビーデジタル
	DVD-R／DVD-RW（VFモード）	動　画：DVDビデオ規格 音　声：ドルビーデジタル
	+RW	動　画：DVD+RWビデオ規格 音　声：ドルビーデジタル
	カード	静止画：JPEG規格 2,016×1,512画素、外部入力→640×480画素
音声再生方式		ドルビーデジタル、リニアPCM、MPEGオーディオレイヤー２
記録可能なDVD		8cmDVD-RAM（DVD-RAM Ver. 2.1準拠） 8cmDVD-RW（DVD-RW Ver. 1.1準拠2倍速[2x／1x]） 8cmDVD-R (DVD-R for General Ver. 2.0準拠) 8cm+RW（+RW Ver.1.2準拠） ※丸型ホルダーやカートリッジなどに入っていないDVD専用
記録可能なカード		SDメモリーカード
端子		映像音声入出力×1、外部マイク入力×1、PC接続端子（パソコンのUSB端子へ接続）×1
バッテリーパックシステム		リチウムイオン
消費電力		液晶モニター切/録画時（DVD-RAM使用時） 約5.1 W (FINE)
外形寸法（幅×高×奥行）		約66x92x143mm(バッテリーパック含む、グリップベルト含まず)
許容動作温度（湿度）		0～40℃（80%以下） ただしパソコンとの接続時は、0～30℃
許容動作高度（HDD使用時）		海抜3000m以下
本体質量		約485g（バッテリーパック、DVD等含まず）
撮影時総質量		約560g (バッテリーパックDZ-BP14S使用時)
付属品		ACアダプター／チャージャー、バッテリーパック、AV／S入出力ケーブル、リモコン、リモコン用リチウム電池、レンズキャップ、レンズキャップひも、ショルダーストラップ、電源コード、DCパワーコード、PC接続ケーブル、CD-ROMディスク、ディスククリーニングクロス

HDD/DVD/カードの記録容量

● HDDの記録時間

記録画質	動画の記録時間	こんなときにお使いください
XTRA	約110分※1	より高画質
FINE	約180分	高画質
STD	約360分	標準画質

● DVDの記録時間

ディスク1枚（片面）の動画の記録時間（動画のみを記録した場合）

記録画質	動画の記録時間	こんなときにお使いください
XTRA	約18分※1	より高画質
FINE	約30分※2	高画質
STD	約60分※3	標準画質

※1： 可変ビットレート（撮影する被写体により約3Mbps～約10Mbpsの間で自動的に変わります。HDDでは110分以上、DVDでは18分以上記録できることもあります）

※2： 固定ビットレート約6Mbps

※3： 固定ビットレート約3Mbps

- 高温の環境でXTRAモードをご使用し記録した場合、FINE相当の画質(約6Mbps)となることがあります。

● 1枚のDVDに記録/ダビングできる最大シーン数

DVD	最大シーン数
DVD-RAM/DVD-RW	999
DVD-R	930
＋RW	254

● 1枚のDVDに記録/ダビングできる最大プログラム数

DVD	最大プログラム数
DVD-RAM/DVD-RW	99
＋RW	49

●静止画の記録枚数（カード）

容量＼記録画質	FINE	NORM	ECO
32MB	約18枚	約24枚	約37枚
64MB	約38枚	約50枚	約75枚
128MB	約75枚	約100枚	約150枚
256MB	約150枚	約200枚	約300枚
512MB	約300枚	約400枚	約600枚
1GB	約600枚	約800枚	約1,200枚

（枚数は目安です）

外部入力の場合

容量＼記録画質	FINE	NORM	ECO
32MB	約180枚	約240枚	約370枚
64MB	約380枚	約500枚	約750枚
128MB	約750枚	約1,000枚	約1,500枚
256MB	約1,500枚	約2,000枚	約3,000枚
512MB	約3,000枚	約4,000枚	約6,000枚
1GB	約6,000枚	約8,000枚	約12,000枚

（枚数は目安です）

●静止画のサイズと画質について

カードをお使いのときの静止画（JPEG）1枚のファイルサイズおよび記録画質は、以下の通りです。

画　質	ファイルサイズ		こんなときにお使いください
	カメラ	外部入力時	
FINE	約1,600KB	約160KB	画質重視のとき
NORM	約1,024KB	約120KB	標準画質
ECO	約640KB	約80KB	枚数重視のとき （画質はやや劣ります）

画質を切り替えることができます（☞ P.71）。

ご注意
- HDD/DVDには、静止画は記録できません。

主な仕様

索引

索引の見かた
見出し言語と同一のものは「～」で省略してあります。

英数字

ア行

カ行

索引

サ行

索引

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行

同梱の CD-ROM の開封前に必ずお読みください

本契約は、本製品に同梱されているCD-ROMのパッケージの開封によってご同意いただいたものとさせていただきます。
本契約にご同意いただけない場合には、ただちに未開封の記録媒体のパッケージと同封物（印刷物、外装パッケージ、その他一切のもの）をお買い上げの販売店にご返却いただくか、記録媒体のパッケージのみをお買い上げの販売店にご返却ください。
未使用の製品についての代金の返還手続きに関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。ただし記録媒体のパッケージのみご返却の場合は、代金の返還には応じかねます。

この使用許諾契約書は、お客様が適法に使用許諾を受けたことの証明となります。

使用許諾契約書

■許諾事項
・お客様に本プログラムを1台のコンピュータにインストールして利用する権利を非独占的に許諾いたしますが、この権利を第三者に譲渡することはできません。
・本プログラムは、バックアップの目的でのみ、著作権に関する表示が元の状態のまま残されることを条件に、コンピュータ読み取り可能な形態でプログラムを 1 部複製できます。

■禁止事項
・本プログラムをネットワーク上で使用することはできません。ネットワーク上の複数のコンピュータで使用する場合は、別途、株式会社ピクセラからコンピュータごとの使用権を取得することが必要です。
・お客様は、本プログラムを再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用もしくは利用させせることはできません。
・お客様は、本プログラムおよび付属物の全部または一部を修正、改変、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。または第三者にこのような行為をさせてはなりません。

■契約の終了
お客様が、本プログラムまたは付属物を許可なく複製したり、上記許諾条件に違反した場合には、本契約は自動的に終了するほか、株式会社ピクセラにより他の法的な措置がとられることがあります。契約終了の場合、お客様は、本プログラム、付属物、複製物一切を廃棄または株式会社ピクセラに返還するものとします。

■保証と免責
本プログラムおよび付属物は、明示黙示を問わず、商品性、お客様の特定の使用目的への適合性と合致するものではありません。また、株式会社ピクセラは、本プログラムの機能がお客様の要求と合致すること、あるいは本プログラムの作動に中断やエラーのないことを保証するものではありません。株式会社ピクセラは、本プログラムの使用に付随または関連して生じる直接的または間接的な損失、損害などについて、いかなる場合においても一切責任を負わず、また本プログラムの使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

お出かけ前に機材のチェック

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的とされていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87
（受付時間）365日／9:00～19:00

DVD カメラ商品情報

http://av.hitachi.co.jp/cam/

DVD カメラパソコンソフトサポート情報

DVDCAM PC Software Support Center in English and French.
http://dvdcam-pc.support.hitachi.ca/
（日本語で表示されていない場合、ページ右上の日本語ボタンをクリックしてください。）

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34
（受付時間）9:00～17:30（月～土）、9:00～17:00（日・祝日）
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHS からもご利用できます。

本機に同梱のソフトウェアに関するお問い合わせは

株式会社ピクセラ ユーザーサポートセンター
TEL 06-6633-3900
FAX 06-6633-2992
（受付時間）10：00～13：00 、14：00～17：00
土、日、祝日およびピクセラ社の休日を除く。

パソコンとの接続に関するお問い合わせは

日立マルチメディアインフォメーションセンター
0120-147-226
（受付時間）9:00～12:00、13:00～17:30
携帯電話、PHS からは、ご利用できません。
土、日、祝日および弊社の休日は休ませていただきます。

愛情点検

長年ご利用のDVDカメラの点検をぜひ！

DVDカメラの補修用性能部品の保有期間は、8年です。

このようなことはありませんか？

- 電源コード・プラグが異様に熱くなる。
- 画像が乱れたり、きれいに映らない。
- その他の異常や故障がある。

▶ 故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて販売店にご連絡を。点検・修理についての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

お客さまメモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名	電話 （　　）　－
ご購入年月日	平成　　年　　月　　日

製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際には、製品本体と保証書の製品番号が一致しているかご確認ください。

株式会社 日立製作所

〒244-0817　神奈川県横浜市戸塚区吉田町 292 番地

QR68138©Hitachi,Ltd.2006　Printed in Malaysia OR-Y (I)